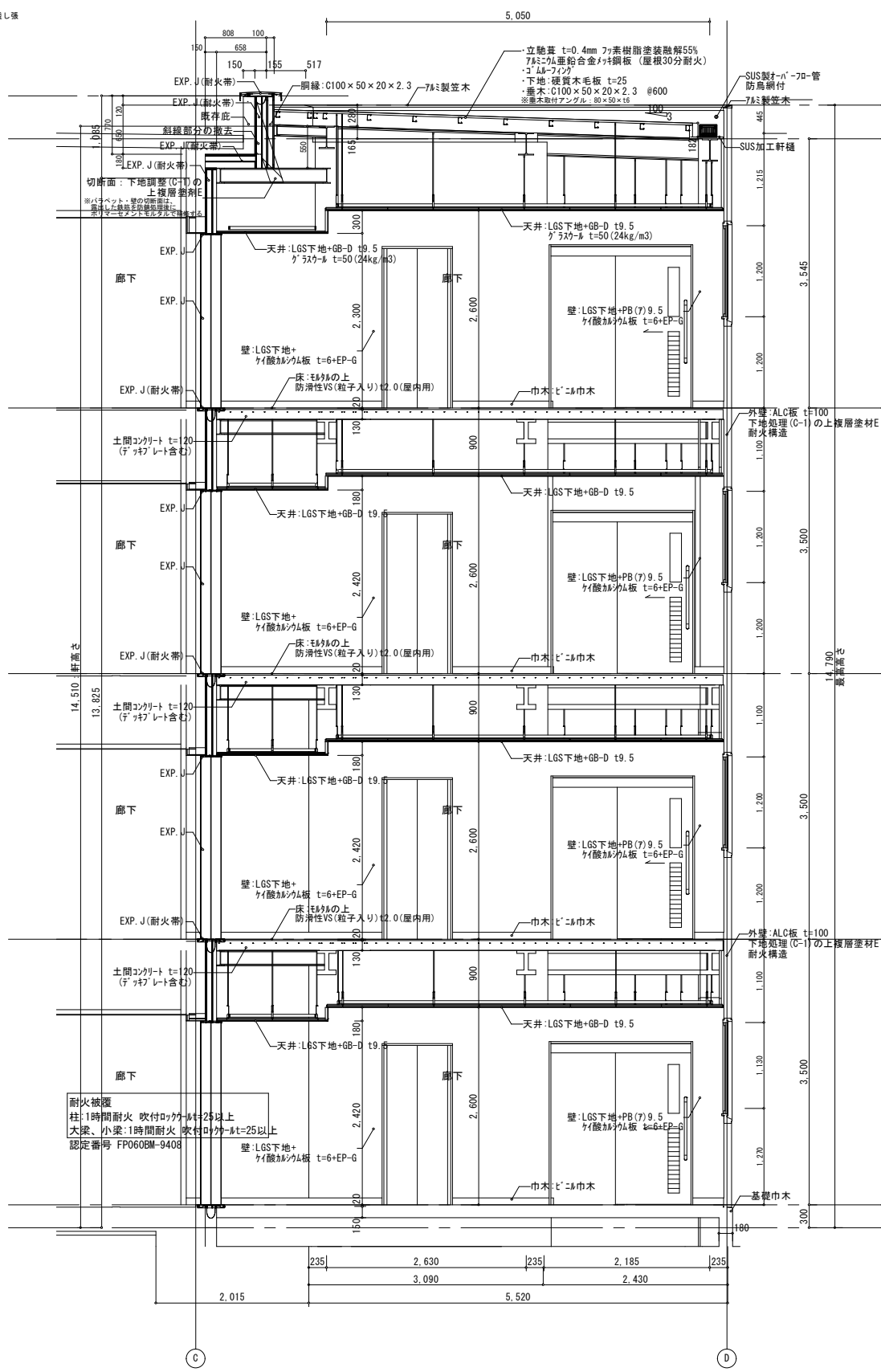
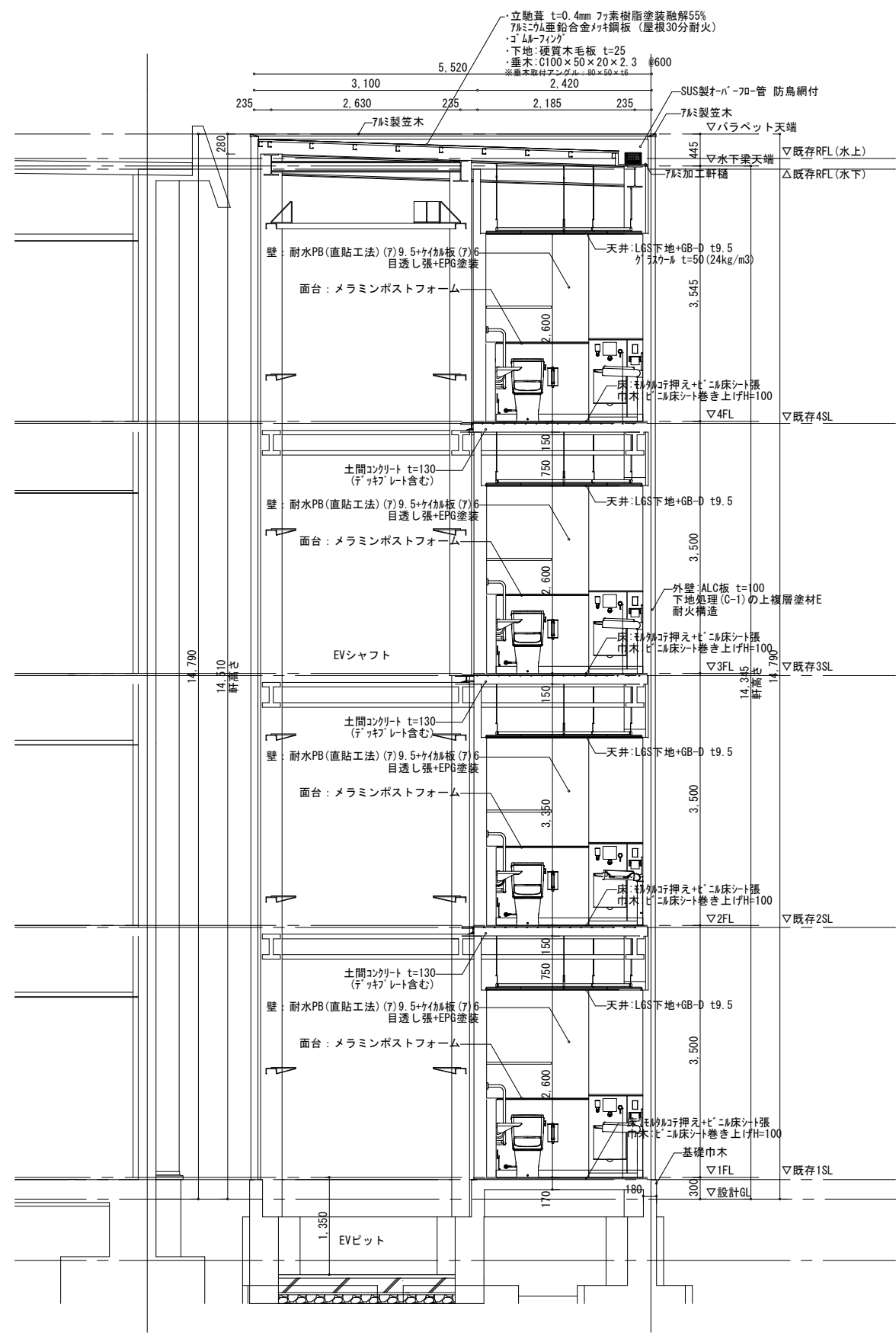


断面方向 1:150

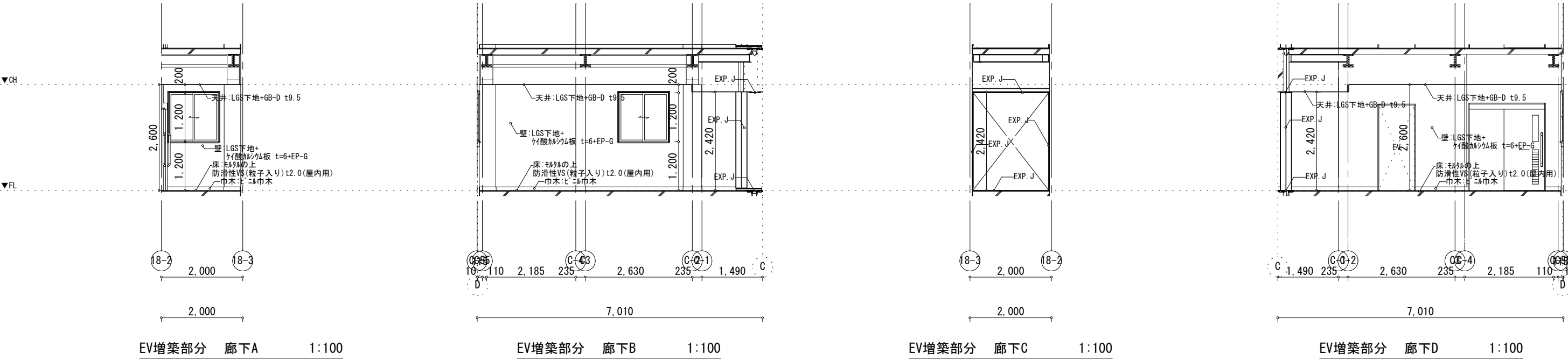


A断面 1:80

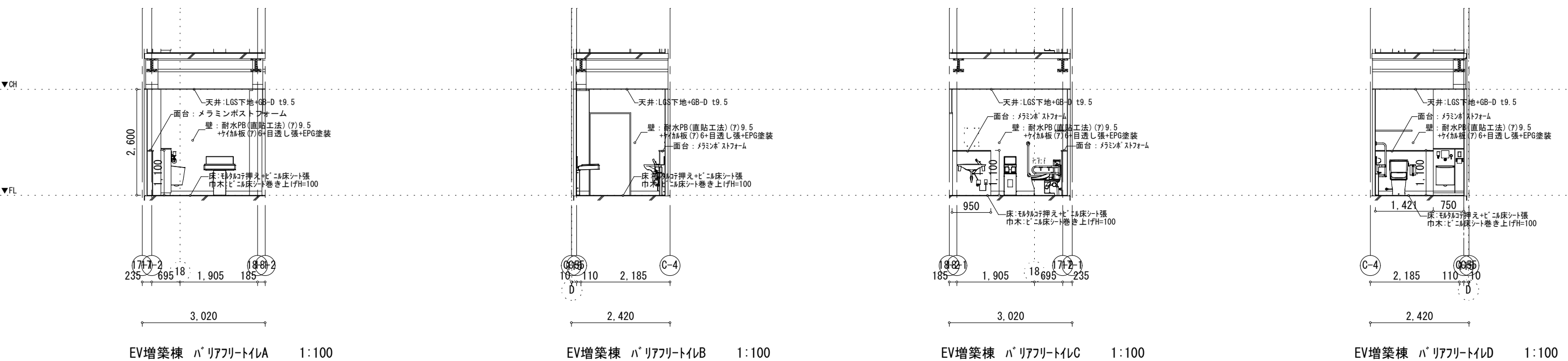


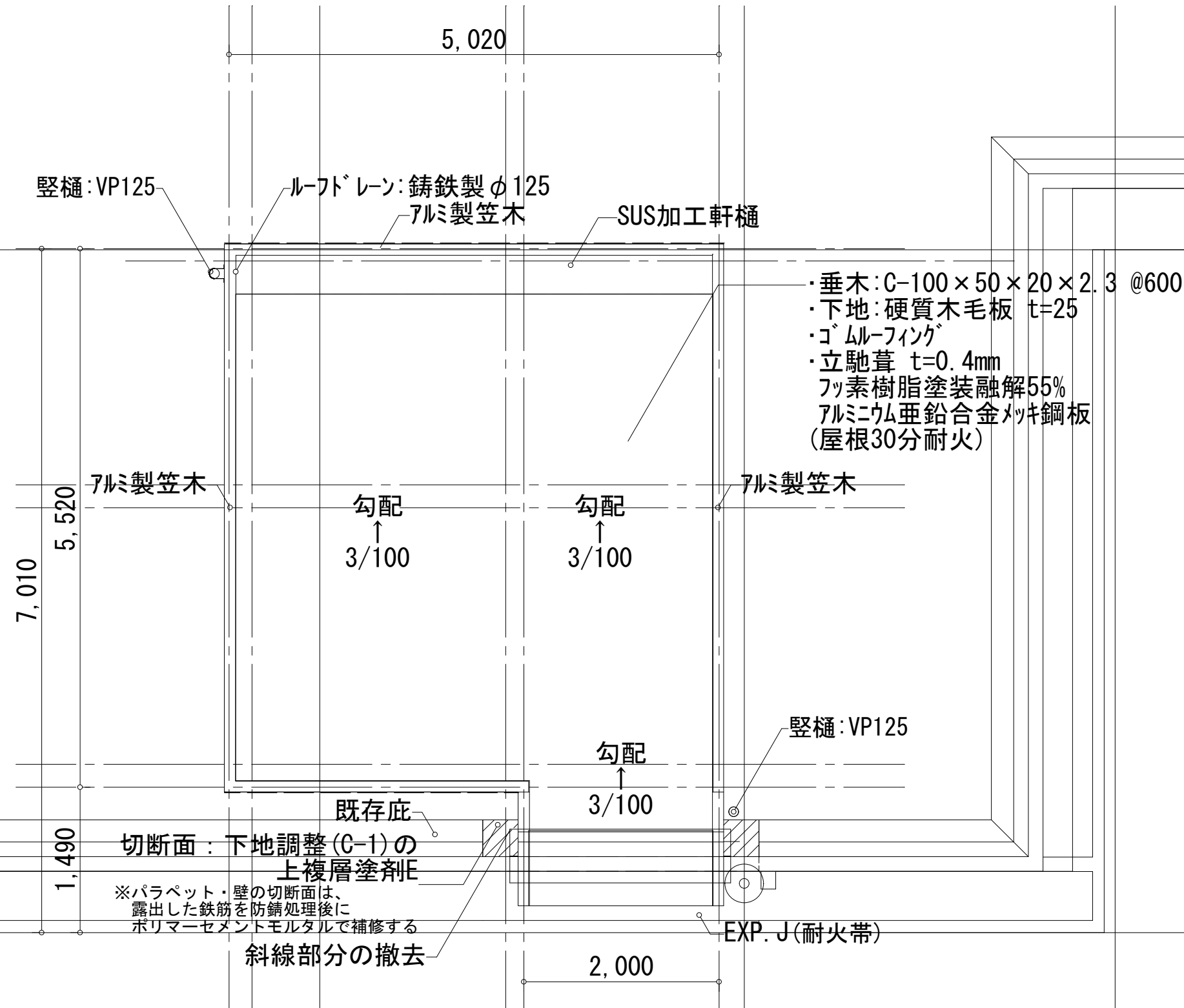
B断面 1:80

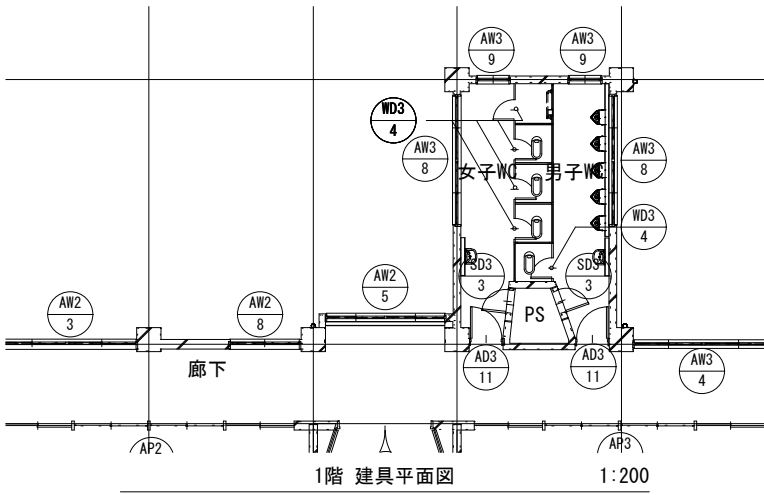
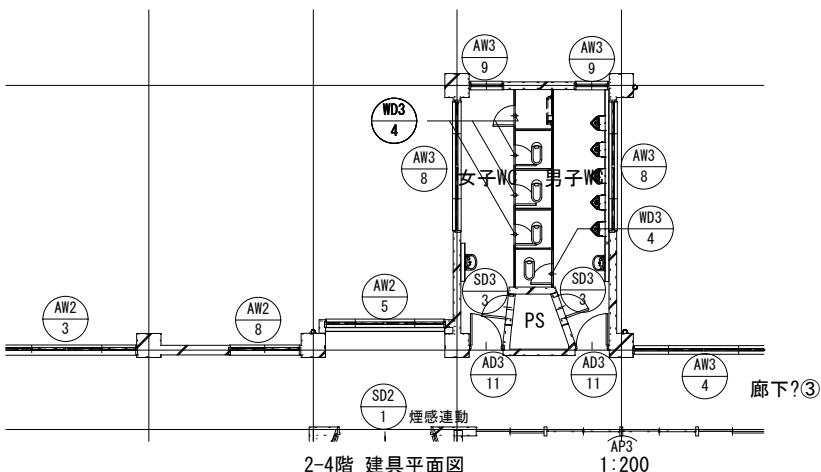
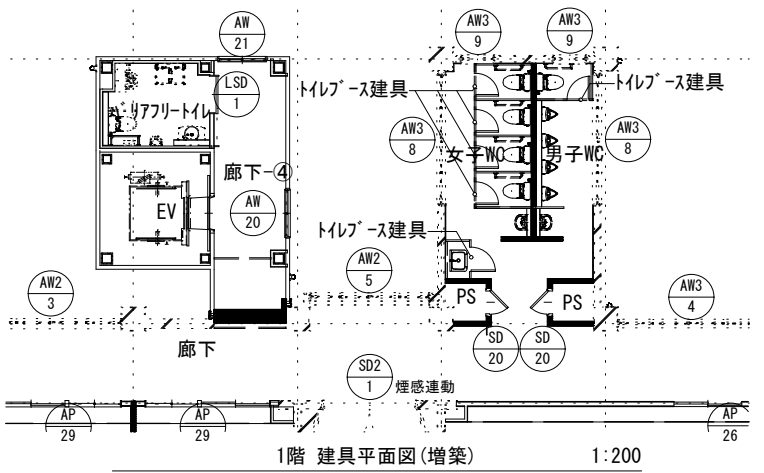
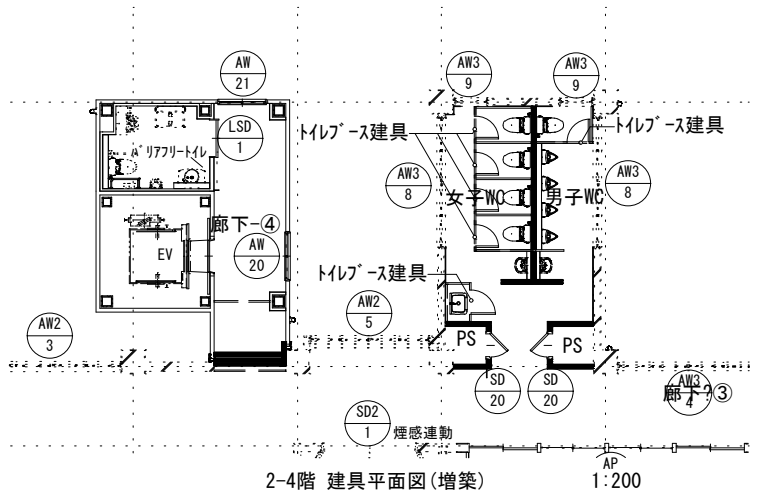
展開図 EV増築棟 廊下



展開図 EV増築棟 バリアフリースイレ

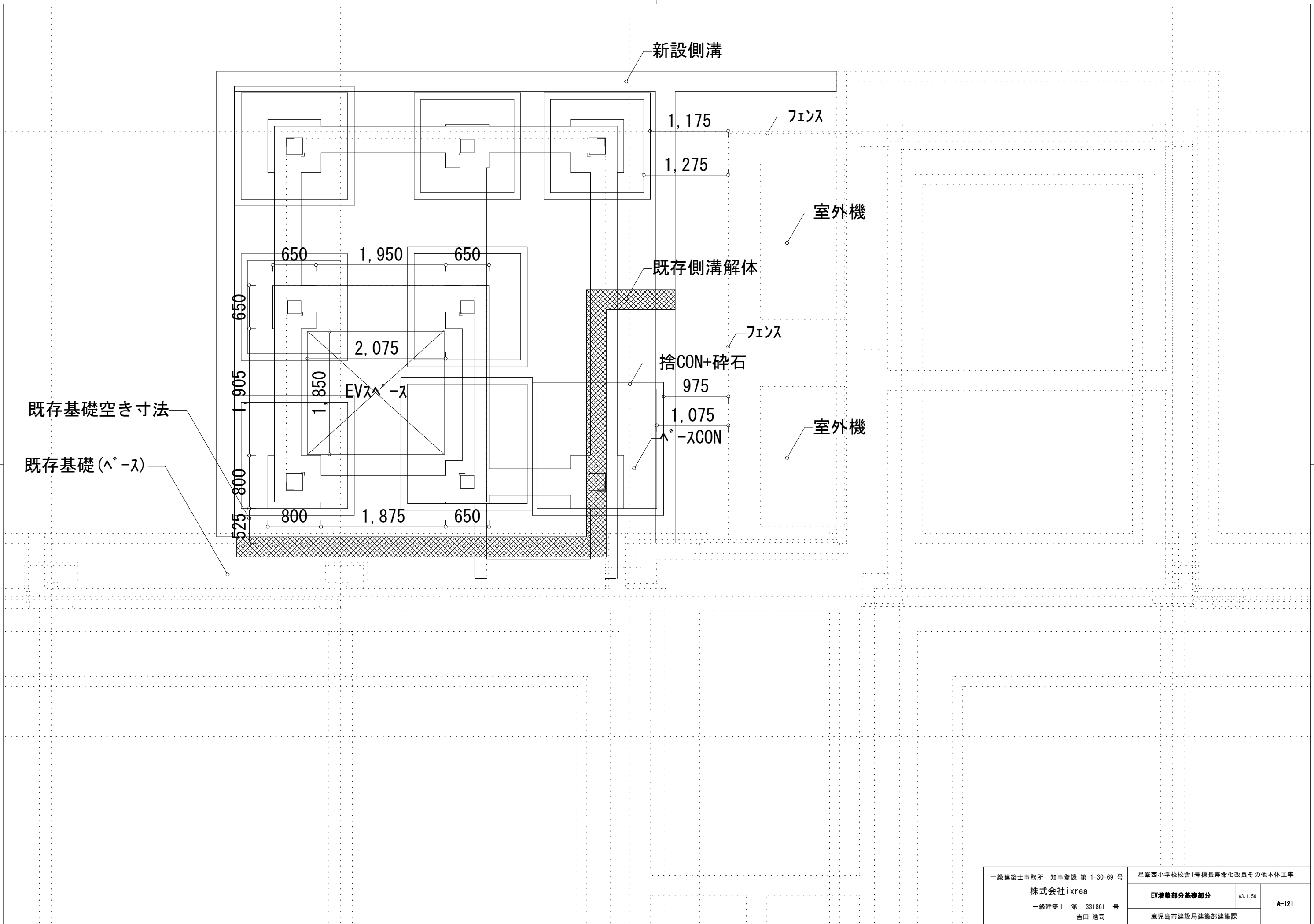






建具	種類	AW	AW	LSD
	番号	20	21	1
数量		4	4	4
形式		引違い	引違い	上吊り片引込み戸 (半自動自閉式)
法規制				
姿図				
寸法 (WxH)		1,200×1,200	1,200×1,200	970×2,000
FLからの高さ		1,200	1,200	0
扉	材質仕上			スチール (扉:溶融亜鉛メッキ鋼板焼付塗装品)
	厚さ			36
ガラス		Low-E3mm+A6+透明普通ガラス4mm	Low-E3mm+A6+透明普通ガラス4mm	強化型板ガラス t4.0
枠	材質仕上	AL	AL	スチール (枠:溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装)
	見込	100	100	150
	額縁	木製	木製	スチール (枠:溶融亜鉛メッキ鋼板 SOP塗装)
鍵前		クレセント	クレセント	表示錠
金物特記		標準一式	標準一式	ハンガーレールSUS製: 付属金物一式: 自閉装置式、エレクトロニクス制御装置・樹脂製引手、ハンガー戸車 (樹脂製) ※ガラスはメッキ仕上品
備考				ガラス

建具	種類	AW2
	番号	8
数量		4
形式		引違い
法規制		
姿図		
寸法 (WxH)		1,790×1,360
FLからの高さ		1,100
扉	材質仕上	
	厚さ	
ガラス		FL3
枠	材質仕上	AL
	見込	70
	額縁	AL
鍵前		クレセント
金物特記		標準一式
備考		解体撤去



外装仕上げ表

屋根	・垂木: C-100×50×20×2.3 #600 ・下地: 硬質木毛板 t=25 ・ゴ-ム&-フィン	巾木	コ-クリ-ト打放補修		
	・立軸葺 t=0.4mm フ素樹脂塗装融解55% 7%に-AL重鉛合金/チ鋼板 (屋根30分耐火)				
庇		外部床			
軒天		フェンス・手摺			
外壁	ALC板 t=100	その他	SUS加工野縫、&-フド-レーン: 鋼鉄製 φ125、SUS製&-バー-フロ-管 防鳥網付、壁縫VP125		
	下地処理 (C-1) の上被層塗材E 耐火構造				

内装仕上げ表

階	番号	室名	内装	排煙	FL	SL	床		巾木		壁				天井			天井高	備考 【 】は別途工事を示す。	
							下地	仕上	材質	高さ	下地	腰壁	腰壁高さ	仕上	下地	仕上	廻縁			
1SL																				
	90	バリアフリートイレ			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え ビニル床シート張（トイレ用） t=2.0	ビニル床シート巻き上 げH=100	100	ALC、LGS	-			耐水PB（直貼工法）(7)9.5+ケム板(7)6 目透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600	面台：天井点検口（450角）：ビニルサッシ：棚板：【洗面、鏡、手摺】
	91	廊下			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え 防滑性ビニル床シート張 t=2.0	ビニル巾木	75	ALC、LGS	-			ケム板(7)6目透し張+EPG塗装 一部PB(7)9.5+ケム板(7)6目透し張 +EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600・2.420	誘導避難標識
2SL																				
	90	車いす対応トイレ			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え ビニル床シート張（トイレ用） t=2.0	ビニル床シート巻き上 げH=100	100	ALC、LGS	-			耐水PB（直貼工法）(7)9.5+ケム板(7)6 目透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600	面台：天井点検口（450角）：ビニルサッシ：棚板：【洗面、鏡、手摺】
	91	廊下			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え 防滑性ビニル床シート張 t=2.0	ビニル巾木	75	ALC、LGS	-			ケム板(7)6目透し張+EPG塗装 一部PB(7)9.5+ケム板(7)6目透し張 +EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600・2.420	誘導避難標識
3SL																				
	90	車いす対応トイレ			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え ビニル床シート張（トイレ用） t=2.0	ビニル床シート巻き上 げH=100	100	ALC、LGS	-			耐水PB（直貼工法）(7)9.5+ケム板(7)6 目透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600	面台：天井点検口（450角）：ビニルサッシ：棚板：【洗面、鏡、手摺】
	91	廊下			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え 防滑性ビニル床シート張 t=2.0	ビニル巾木	75	ALC、LGS	-			ケム板(7)6目透し張+EPG塗装 一部PB(7)9.5+ケム板(7)6目透し張 +EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600・2.420	誘導避難標識
4SL																				
	90	車いす対応トイレ			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え ビニル床シート張（トイレ用） t=2.0	ビニル床シート巻き上 げH=100	100	ALC、LGS	-			耐水PB（直貼工法）(7)9.5+ケム板(7)6 目透し張+EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600	面台：天井点検口（450角）：ビニルサッシ：棚板：【洗面、鏡、手摺】
	91	廊下			対象外	+30	±0	モルタルコテ押え 防滑性ビニル床シート張 t=2.0	ビニル巾木	75	ALC、LGS	-			ケム板(7)6目透し張+EPG塗装 一部PB(7)9.5+ケム板(7)6目透し張 +EPG塗装	LGS	(7)9.5化粧PB（準不燃）		2.600・2.420	誘導避難標識：※ガラスパネル厚50mm(24kg/㎡) 敷込み

■乾式壁下地、床下地、天井下地凡例					
一般A	LG5下地FB12.5#5、5 FL~天井)	遮音AA △V6-A	TLD隔75相当乾式壁 吉野石90ヶ/㎡ + リー7/55 遮音構造SG-0096) 同程度 (SL~SL) - 耐火構造F606N-0166	■床下地 雷皿 UL-45): 直取 LH-50): RC天井下地	
一般B	LG5下地耐火FB12.5 FL~天井)	遮音A △V6-A	TLD隔75相当乾式壁 吉野石90ヶ/㎡ + リー6/55 遮音構造SG-0096) 同程度 (SL~SL) - 耐火構造F606N-0166		
耐火A △V6	LG5下地GB-F15#15隔断板 SL~SL) -耐火構造F606N-0174	遮音B △V6-B	TLD隔75相当乾式壁 吉野石90ヶ/㎡ + リー9/90 遮音構造SG-0032) 同程度 (SL~SL) - 耐火構造F606N-0166		
耐火B △V6C1	押出成形セメント板 60 (内壁用) -耐火構造F606N-0070	遮音C △V6-C	TLD隔75相当乾式壁 吉野石90ヶ/㎡ + 200×40 遮音構造SG-0040) 同程度 (SL~SL) - 耐火構造F606N-0166	■天井下地 特記欄を 限り、LG5下地 防振 吊材防振 M/LGS	
耐火B2 △V6C2	押出成形セメント板 60 (外壁用) -耐火構造F606N-0037	遮音D △V6-D	LG5下地FB12.5#5、5 (GW 50~24ヶ/m ² 充填) ※仕上が90ヶ/㎡の場合にLG5下地耐火FB12.5 下地耐火		
RC	エクストラ下地				

■内装制限凡例	
不	下地仕上共不燃材使用
準不1	壁、天井の仕上を準不燃材以上
準不2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を準不燃材以上
難1	壁、天井の仕上を難燃材以上
難2	FL+1.2m以上の壁、天井の仕上を難燃材以上
難3	天井の仕上を準不燃材、壁の仕上を木材等又は難燃材以上（国土交通省告示1439号）

■塗装凡例					
OS	外板アツ	EP-G	ツヤ有合成樹脂エポキシ・イン	EP-N	超耐候エポキシ・イン
OC	外板オシロシ	EP-M	多彩模様塗料	ET	複層塗料(E/アクリル)
SCP	合成樹脂両面合・イン	EP-T	合成樹脂エポキシ・模様塗料	FP	薄塗料(E/アクリル)
FE	外板樹脂両面合	NKD	合成樹脂系非水分散形塗料	A-FE	外板樹脂両付
UE	ウレタン樹脂両付	EXP	木片樹脂両付	U-FE	ウレタン樹脂両付
UC	ウレタン樹脂アス	TEXP	木・木片 木片樹脂両付	F-FE	フッ素樹脂両付
LE	ラッカー樹脂	QP	塩化ビニル系アス	QWP	ウレタン面漆(水溶性)
CL	クリアカラー	ASE	アクリル樹脂両付	ZP	溶剤系亜鉛ナマノの上・被処理
VE	塩化ビニル樹脂両付	ASC	アクリル樹脂アス		
AE	アクリル樹脂両付	FLE	常温乾燥性粉末樹脂両付		
AC	アクリル樹脂アス	FUC	常温乾燥性粉末樹脂アス		
EP	合成樹脂エポキシ・イン	WP	無公害木材保護着色塗料		

[illegible]

■認定番号一覧表									
認定番号		品名	規格	認定番号	品名	規格	認定番号	品名	規格
QF-R0.5	石膏ボード	12.5	QF-R0.5	強化石膏ボード	12.5, 15, 21	NM-R015	GW	グラスウール保温板	NM-R005
QF-R12.5	石膏ボード	12.5	NM-R019	硬質石膏ボード	9.5, 12.5, 15	NM-R045	GW-D	グラスウール断熱保温板	NM-R006
QF-R15	石膏ボード	15	NM-R021	吸音用六あき石膏ボード	9.5	QF-R027		吹付けロックウール	NM-R001
QD-R5	化粧石膏ボード	9.5	QF-R024	スグ石膏ボード	8	NM-R035		不燃化粧板	NM-R239
QD-R12.5	化粧石膏ボード	12.5	NM-R014	ロウケル板吸音板	9~19	NM-R099		ガラスウール	NM-R006
QD-R15	化粧石膏ボード	15	NM-R013	FR	ガラスウール板	6, 8	NM-R078	有孔繊維強化石膏板	NM-R028
QD-R19	不燃化粧石膏ボード	9.5	NM-R164	FR-K-D	化粧繊維強化石膏板	6	NM-R077	突板塗装不燃化粧板	NM-R179
QD-R24	化粧石膏ボード	(木目)	QF-R024	FR-K-F	硬質化粧繊維強化石膏板	5	NM-R077	ビニル板	QF-R011
QD-R5	ジツジ 石膏ボード	9.5, 12.5, 15	QF-R026	F	セメント板		NM-R076	不燃セメント板	NM-R004
QD-R12.5	不燃ジツジ 石膏ボード	12.5	NM-R039	WB15	木毛セメント板	15	建告1401	準不燃化粧板	QF-R027

■排煙設備凡例		
目録	自然排煙	
機械	機械排煙	
①	建設省告示第1436号 四-バ(1)	31m以下 内装部不燃 防火区画以上の非居室
②	建設省告示第1436号 四-バ(2)	31m以下 100m以下 防煙区分間の非居室
③	建設省告示第1436号 四-バ(3)	31m以下 100m以内 内装部不燃、防火設備以上の居室
④	建設省告示第1436号 四-バ(4)	31m以下 100m以内 耐火地盤不燃の居室
令126	令126条の2 第二 第三号	階数室、PS、EPS

■略号凡例					
FL	床仕上面の基準レベル	AL	アライ	VS	ビニル床シート
SL	FLからのスラブ面基準レベル	SLS	スラース	TC	タイルカーペット
CH	天井高	LQS	軽量鉄骨	OP	カーペット
t	材厚	V	塩化ビニル	QA	クアークスリッパ
		CB	コンクリートブロック	SF	置き床
RC	コンクリート	TB	タイルブロック		
LC	軽量コンクリート				
MT	モルタル	ALC	ALCパネル		
S	サール	EGP	押出成形セメント板		
W	木	PC	プレキャストコンクリート		

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社 xrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	EV増築部仕上表	A3:	A-122
	鹿児島市建設局建築部建築課		

エレベーター仕様		
基本仕様	号 機 名	NO.1
	型 式	機械室レス標準型エレベーター
	用 途	乗用車用いす用
	定格積載質量/定員	750kg/11人乗
	定 格 速 度	45m/min
	運 転 方 式	乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制 御 方 式	インバータ制御方式（マイコン制御）
	停 止 階	4箇所（1～4 階）
	か 寸 寸 法	間口1400mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm
	出入口寸法	幅800mm 高さ2100mm
	戸 型 式	2 枚戸中央開き
	電 動 機	AC 3.5kW
	動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz	
連絡装置	同時通話式インターホン	
設置場所	設置場所：（ ）	
監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります）	
管制運転	地 震	有り（P 波およびS 波感知）（リスタート機能付）
	火 災	有り（火報と連動した接点による自動式）
	停 電	有り
	自家発電	無し
乗場仕様	三 方 枠	1～4階 大枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗 場 戸	1～4階 鋼板塗装仕上（5分ツヤ）
	幕 板	1～4階 無し
	数 居	1～4階 ステンレス製
	ホールランタン	1～4階 無し
	インジケーター	1～4階 縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1～4階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S I A A 認証） インジケーターに組込
かご仕様	天 井	スタンダード（メーカー標準1天井照明白色：白色）
	前 側 板	化粧鋼板
	側 板	化粧鋼板
	戸	化粧鋼板
	出入口上部	化粧鋼板
	床	荷重用樹脂タイル（2T）
	幅 木	化粧鋼板
	数 居	ステンレス製
	操作盤 ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（S I A A 認証）
	操作盤 カバー	ステンレスヘアライン仕上
	インジケーター	カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（S I A A 認証）
	操作盤 カバー	ステンレスヘアライン仕上
	気くばりボタン	無し
	操作盤 カバー	無し
	鏡	ステンレス製
	ハンドレール	ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上（2方向）
	監 視 盤	無し
	耐震クラス	A14

- ・三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、幕板高が1250mm以上を超える時は別途見積りとなり
- ・工事使用有：10日未満（10日以上使用の場合、また積載量：1000kg以上場合は別途見
- ・エレベーター出入口側の壁がALCの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、ALC留め金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工をお願いします。

勞基法適用（本設用）： 有（設置届 ☒ 設置報告）・ 無

耐震クラス：A 1 4

ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	P X	P Y	P X	P Y
NO.1	4800	2900	7550	3800

注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは
5 mm以下になるよう部材を設計のこと

地震時建物に掛る荷重

標準型エレベーターの荷役制限について

特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設

特記仕様

NO.1
昇降機技術基準の解説 2016年版対応
ビット冠水退避運転（基本仕様）
可変速ドライブシステム
音声案内装置付（緊急時4カ国語）
煙感性能付乗場戸（大目認定品）（火災、停電付）（1～4階）
点字注意銘板付（横型）
車いす仕様付
視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
運転休止スイッチ（1階に取付）
インジケーターに全階休止灯付
戸当り目地付（かご戸）（ひも挟まれ検知機能用）
フェッシャプレート付
メンテナンスサービス提供用カメラ付
昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
車いす呼び戸開き時間延長
一般呼び戸開き時間延長
発音式ボタン（かご）
多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）
乗り場側利用者検知機能付
かご戸袋引き込まれ低減機能付
空気清浄機能付（イオン発生機能同等品）
戸開き時間延長ボタン付
非常放送・一般放送用スピーカ付（かご天井上）
スピーカ用アッテネータをかご上に設置
ひも挟まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様）
かご内荷留り（ステンレスヘアライン仕上、床からH=300mm）
かご側板保護ネット（高さ：床面から1800mm（取付範囲は荷留り上端から））付
かご床マット付
かご内操作盤スイッチボックス内の波型スイッチによるサービス切離（ホール対階）（各階個別）
乗場キースイッチによるホールボタン自動登録（設置階：1～4階）（各階個別）
煙感知点検扉用ドアスイッチ付
公共建築工事標準仕様書（R4）適用
4mレール使用
ステンレス材一式：SUS304
枠幅特殊幅

-Ⅱ-

	電気設備			
号機名	NO.1			
	AC 3φ 210V 60Hz 40回路 (CV) / 台			
	線サイズ 10mm	8	14	22
	最大引込距離 (m)	74	128	196
動力用電源	MCB容量	40A/台		
	トランス容量	4kVA/台		
	起動KVA	14kVA/台		
	AC 1φ 100V 60Hz 5x5回路 / 台			
	3.5mm (D種) / 台			
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 5x5回路 / 台			
アース線	3.5mm (D種) / 台			
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-5P/台 (200mまで)			
リモートメンテナンス用配管配線 (電話線)	FCPEV0.9-1P. 配管サイズφ25/台 (MDF→昇降路間)			
ビット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上 x1個/台			
	(最下層FL・20の出入口付近に設置)			
火災警報信号無電圧a接点支給及び配管配線	同軸電線DC024V 接点容量1A以上 / 台			
非常解放放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-3C/台			
防犯カメラ用配管配線 (昇降路外)	同軸ケーブル 50-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設備館で引込み			

メンテナンスサービス提供用カメラ

※ 標準型機械室レスエレベータ（型式：P、R、B）対応

The diagram shows a vertical control panel with a camera lens at the top (1), a display area in the middle (2), and a control area at the bottom (3). The display area shows a small camera icon and an upward arrow. The control area has several circular buttons.

- 1 かご内カメラ
- 2 かご内カメラ映像表示
(かご内液晶インジケータに表示)
- 3 かご内カメラ映像制御装置

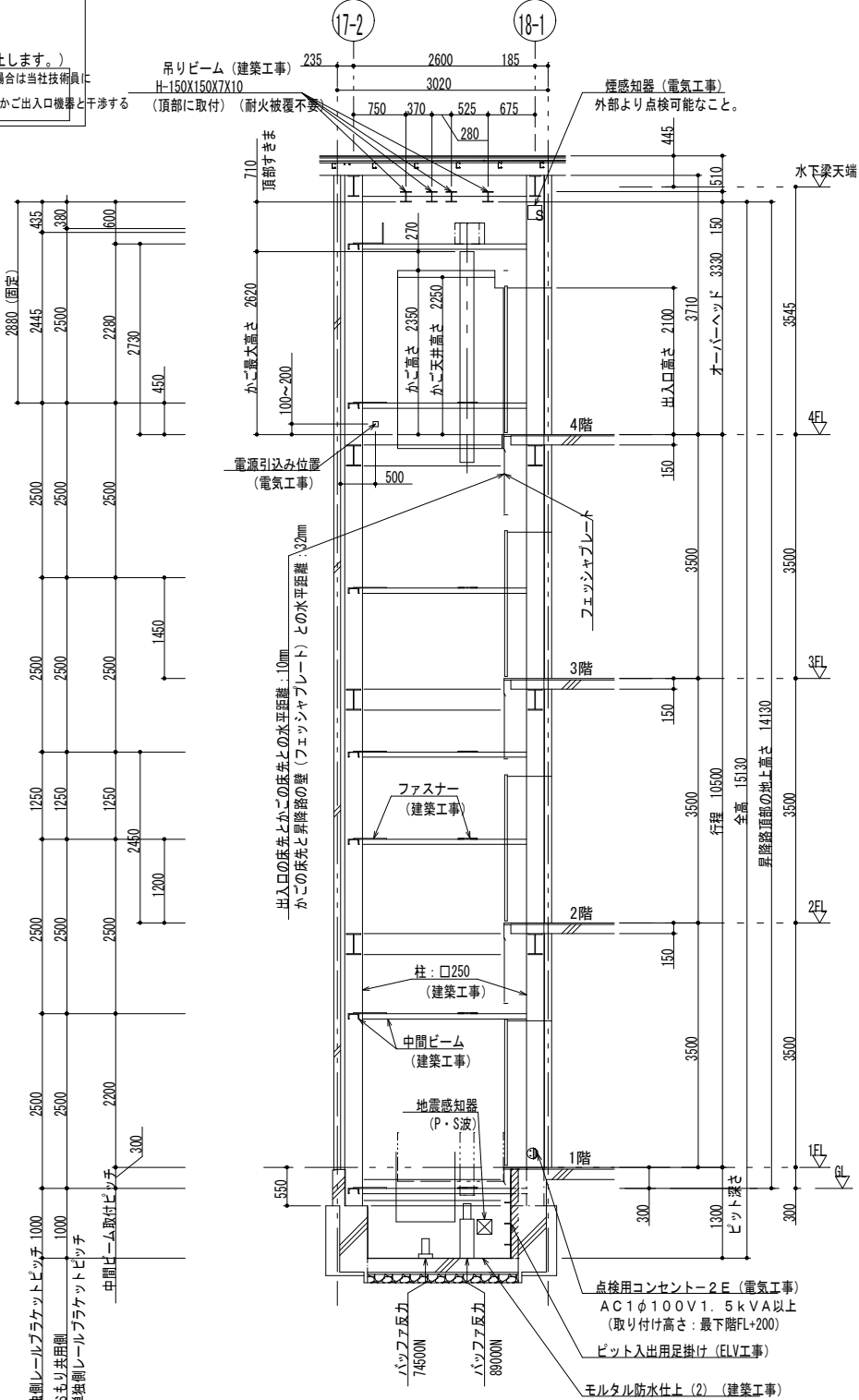
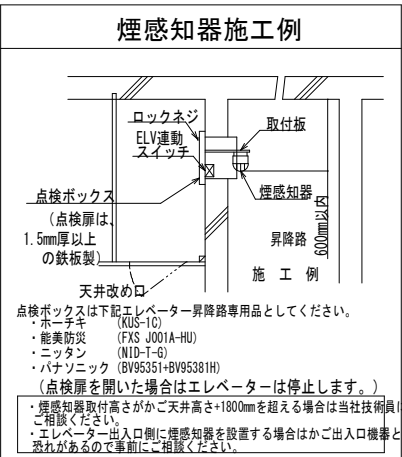
※ 1 かご内カメラ、2 カメラ映像表示、3 カメラ映像制御装置のご利用には昇降機メーカーとの保全契約が必要となります。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件

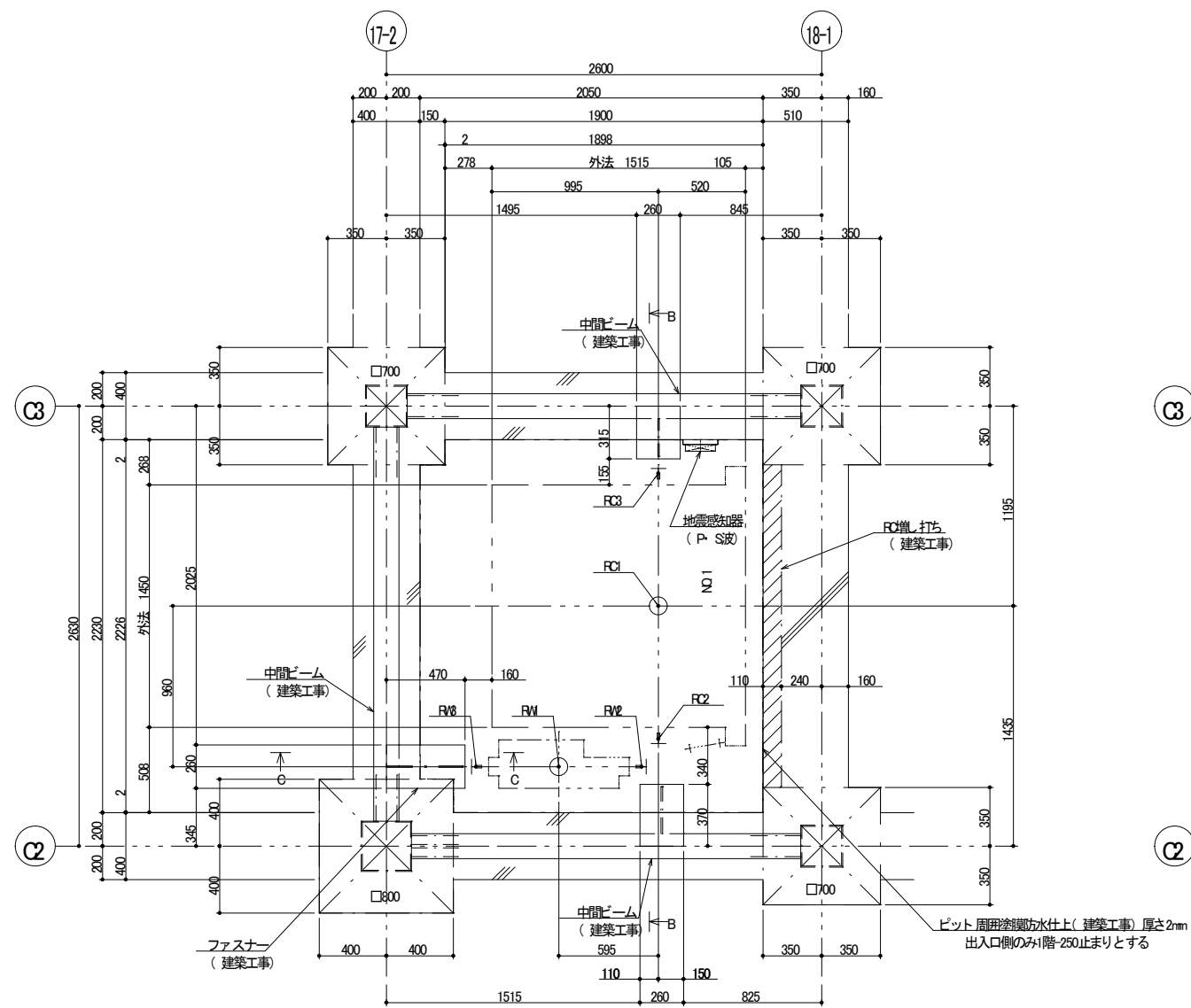
・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。

自動火災報知設備の設置義務が無い建物の場合は、遮煙性能付乗場戸設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、火災感知信号を自動火災警報器を介してエレベーター制御盤に供給してください。

工事区分				
号機名	NO. 1	項目	工事名	建築 電気 空調 ELV
昇降路	1	昇降路の築造と原差修正工事		
		1) 壁または囲いは隙間なきものとする。		
		昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸(扉)面は意の5cm		
		これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合		
		において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと		
		3) コンクリート厚さは150mm以上とする		
		4) コンクリート基準圧縮強度 21N/mm ² 以上とする		
		昇降路内鉄骨構造階の構造耐火処理工事および補修工事	○	
		各階出入口まわり壁の穴あけ工事		
		(出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど)		
		エレベーター据付後の出入口壁		
		および床その他建築仕上及び補修工事	○	
		三方枠、インジケータなどとは壁間の防火区画処理		
		三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事		
		(ふさぎ板またはラスタ材)		○
		ビット内防水仕上工事 (ビット仕上の水平度は1/200以下)		
		並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の		
		ビット間仕切り工事 (H=1800以上)		○
		オーバーヘッド・ビットす法が図面と異なる場合の		
		はつり、埋め戻し工事		○
ビット点検用タラップまたは梯子の設置工事				
ビット点検用コンソント設置工事 (1ヶ台)				
		○		
インターホンならびにその他の機器 (放送 (一般・非常)				
自家発電用電源識別接点・火災警報用接点・防犯カメラ等				
配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備仕様による)				
昇降路最上階の受電制御室への動力電源、照明用電源および				
アース線の引き込みならびにつなぎ込み工事				
(配線サイズ、本数は電気設備仕様による)				
監視室がある場合の監視設備配管配線工事				
(監視設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み)				
昇降路頂部の感知器の設置工事 (昇降路外部から保守点検可能な構造				
(点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製)				
昇降路頂部の感知器検知点検扉ELV運動停止スイッチ取付				
リモートメンテナンス用として電話中継室から				
昇降路最上階までの配管 (最小直径25mm)、配線工事				
(配線サイズ、本数は電気設備仕様による)				
○				
昇降路出入口側内壁 (数階下および出入口上部) とかご前端が				
125mm以上離れる場合のフェッシャープレート取付用下地設置工事				
昇降路出入口側内壁 (数階下および出入口上部) とかご前端				
が125mm以上離れる場合のフェッシャープレート設置工事				
昇降路内配管工事に伴う区画直通部の耐火処理工事				
昇降路頂部への吊りビーム設置工事				
○				
昇降路内の中間ビーム、ファスナープレート、立柱設置工事				
レール、三方枠、数階・ホールボタン、インジケータなどの				
固定用鋼材設置工事および脂差正工事				
不燃不燃の昇降路救出口扉の設置工事 (施行令123条の7の1による)				
かごドレン式クレーン設置時のビット排水管工事				
昇降路内温度が40℃超過の場合のガリ付設置工事				
昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事				
○				
昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事				
○				
エレベーター部品搬入経路の確保				
(必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事)				
エレベーター重要部品搬入の際の仮設搬運重機の貸与				
○				
エレベーター据付工事員現場諸所および材料置場の確保				
○				
エレベーター据付工事に電力の供給 (動力用および照明用電源)				
○				
エレベーター運転調整用電力の供給				
(動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに)				
本設電源配管経路で引き込み)				
医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの				
電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事				
○				
昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防火工事				
○				
昇降路内建築工事事故対策 (水平養生) 用の				
金網・デッキプレートなどの撤去工事				
○				
エレベーター着工前の各階出入口開口部の裏材支給および施工				
○				
出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事				
(庇、水切り等)				
昇降路内仮設足場の設置および解体工事				
○				
エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し				
○				
昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事				
○				
ALCの継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパルト (Pコ)				
の撤去				
非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事				
○				
非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工				
○				
監視室用電源の監視設備までの引き込み工事				
○				



NO.1 昇降路断面図 (1:50)			
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事		
	EV参考図1	A3:1:100	A-123
	鹿児島市建設局建築部建築課		



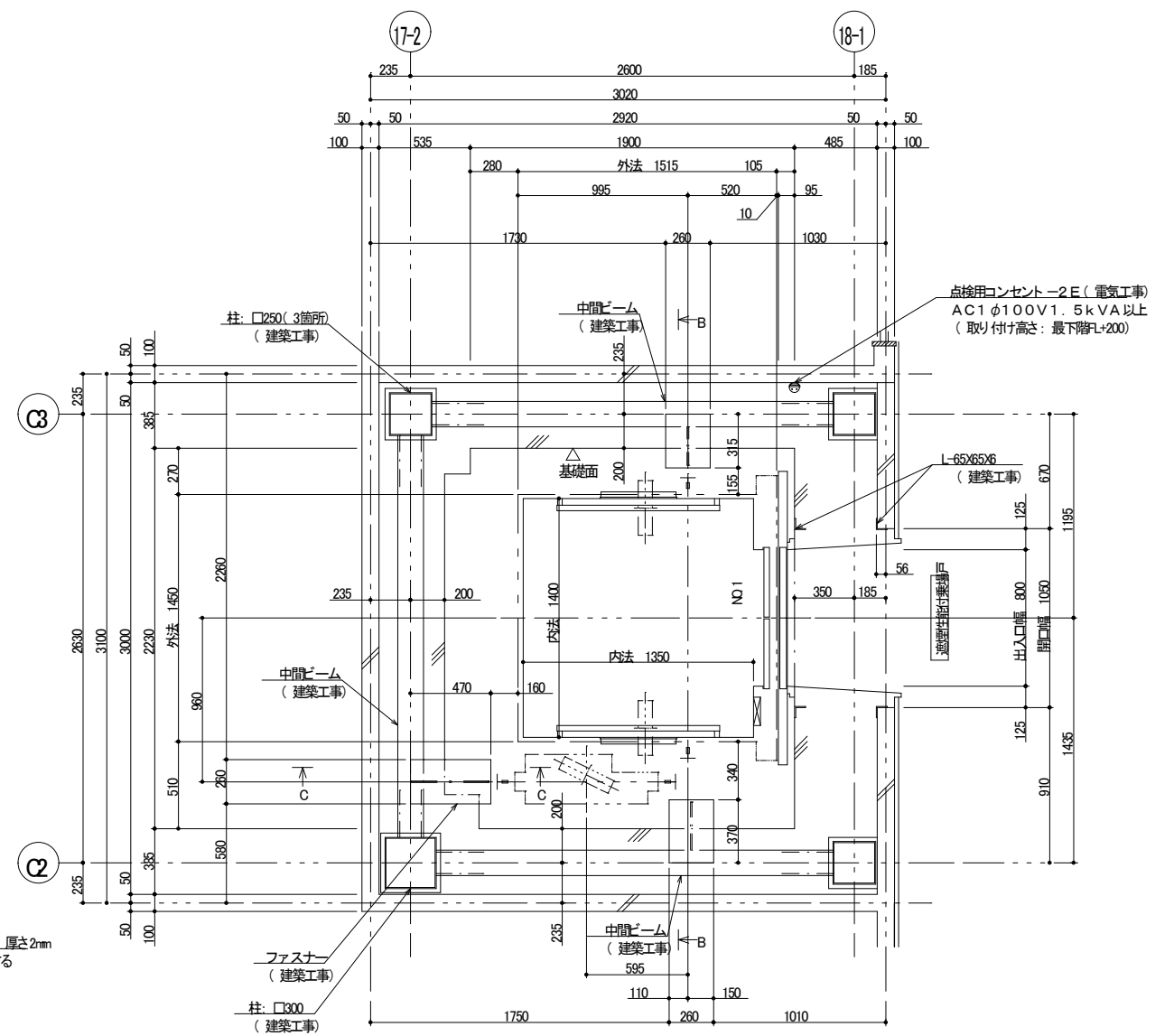
ピット平面図(1: 20)

ファスナー: 12T、補強リブ: 9T(建築工事)
中間ビーム: U-150X75X9-3列(建築工事)

ピット反力値(N)

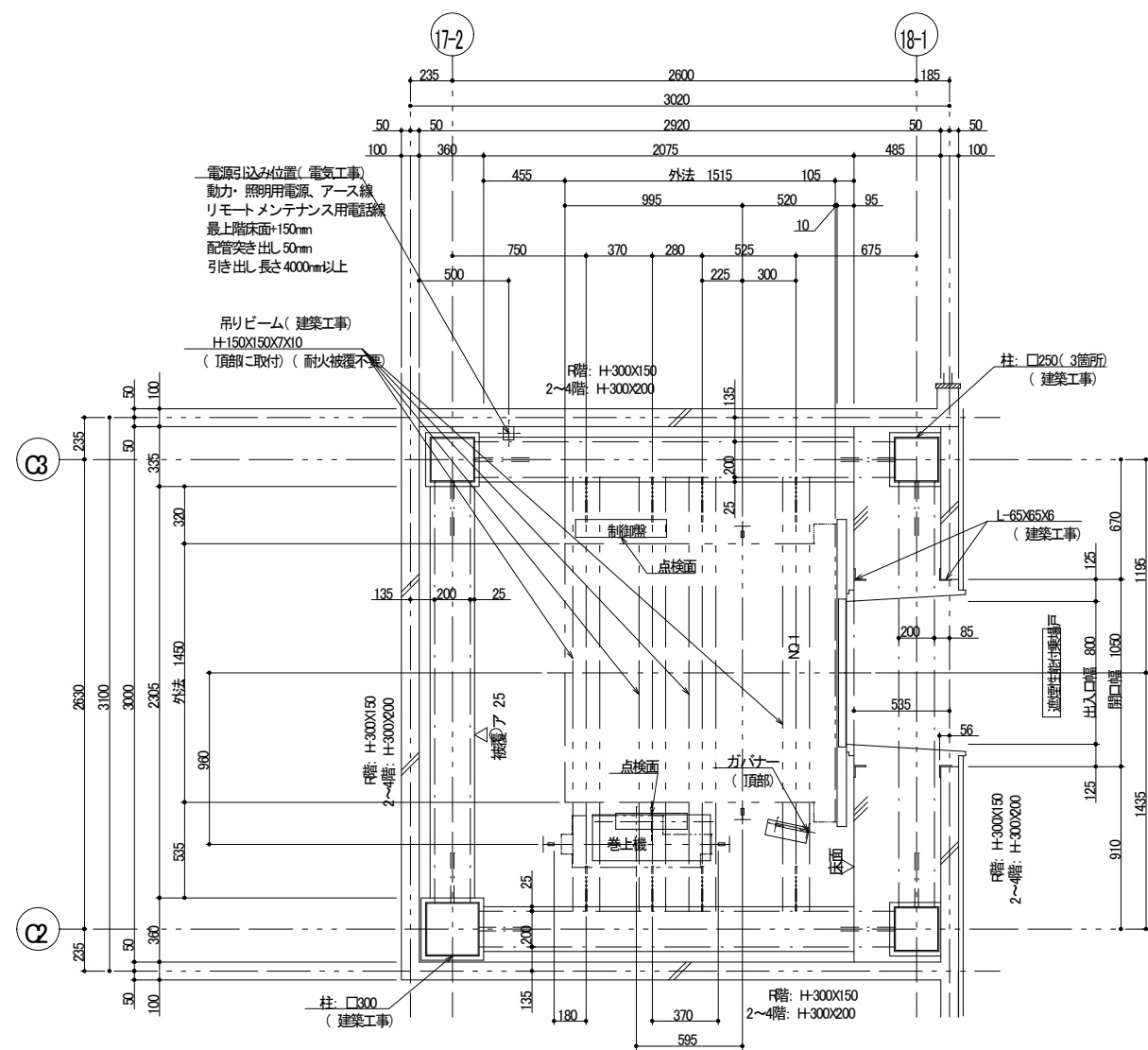
号機名	短期荷重		長期荷重			
	RC1	RM	RC2	RC3	RV2	RV8
NO 1	89000	74500	6000	26000	40000	29000

コンクリート 厚さは150mm以上とする
コンクリート 基準圧縮強度は25N/mm²以上とする

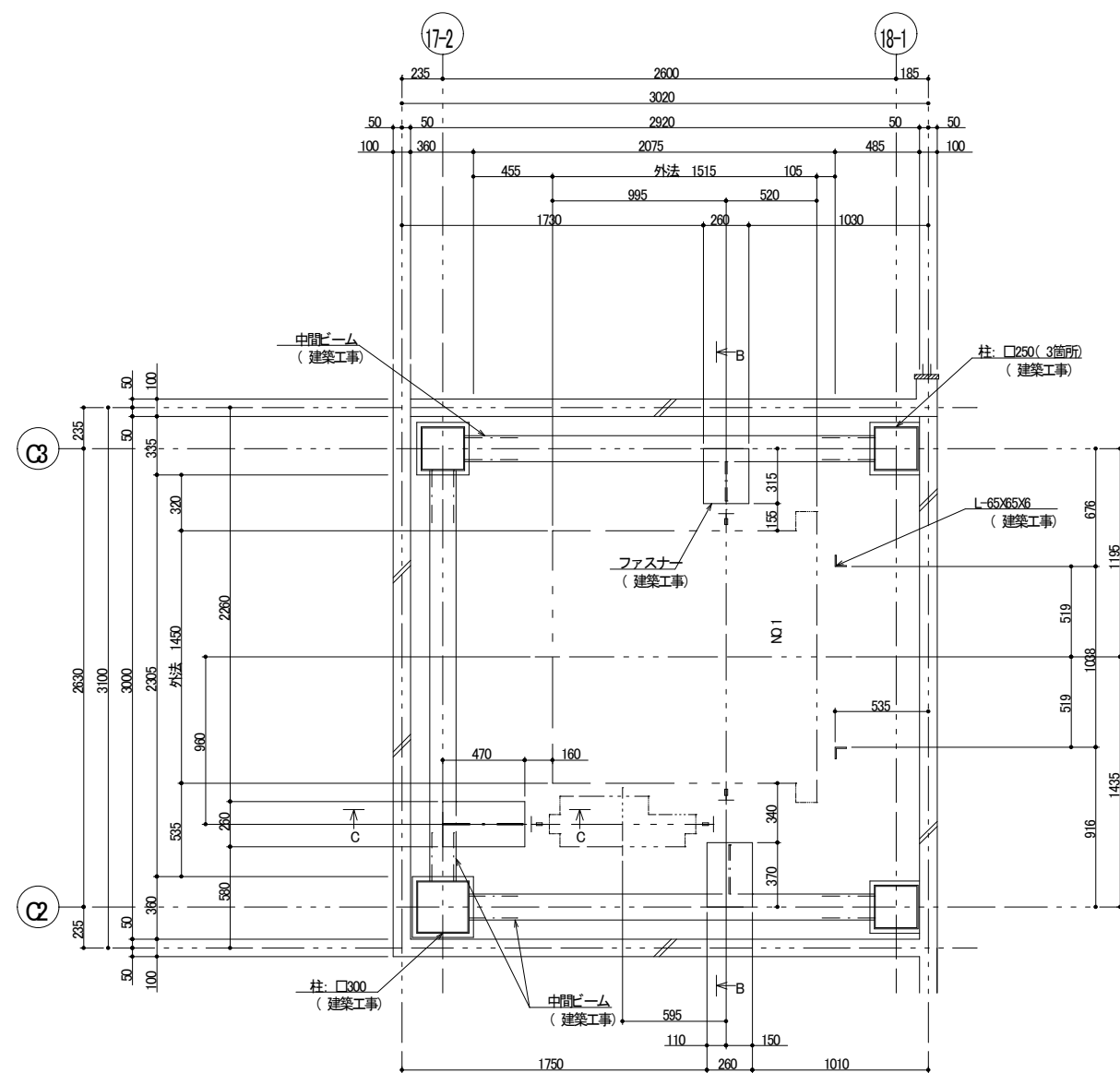


1階 昇降路平面図(1: 20)

ファスナー: 12T、補強リブ: 9T(建築工事)
中間ビーム: U-150X75X9-3列(建築工事)

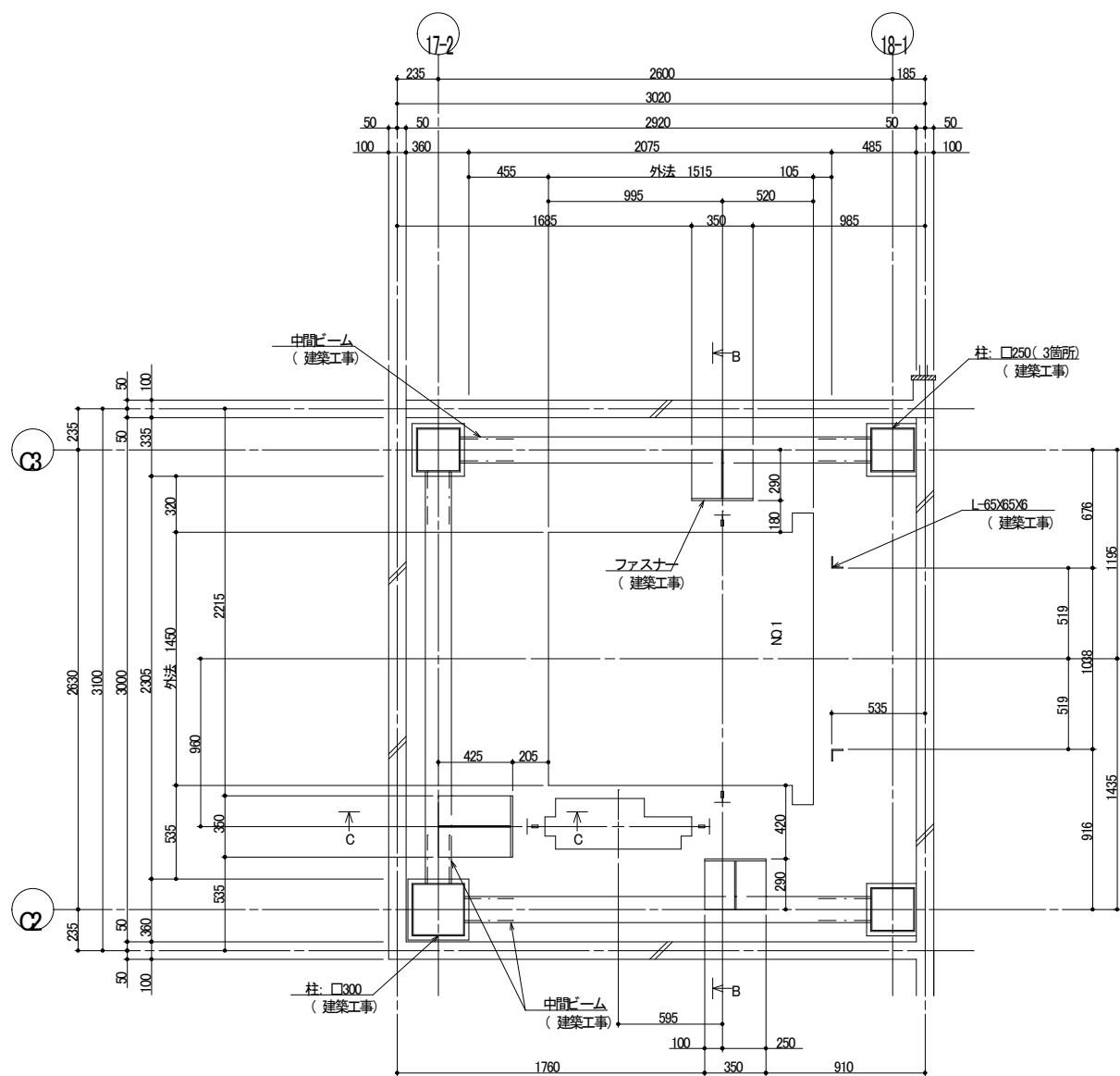


2~4階 昇降路平面図(1: 20)



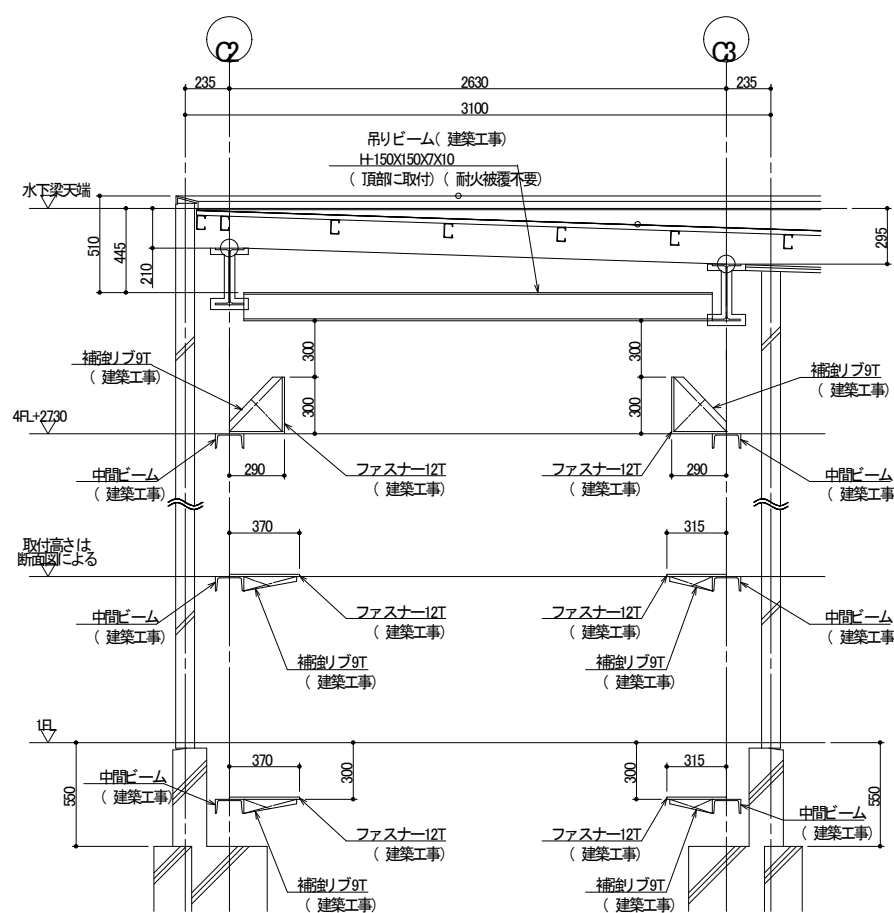
中間ビーム取付部 昇降路平面図(1: 20)

ファスナー: 12T、補強リブ: 9T(建築工事)
中間ビーム: U-150X75X9-3列(建築工事)

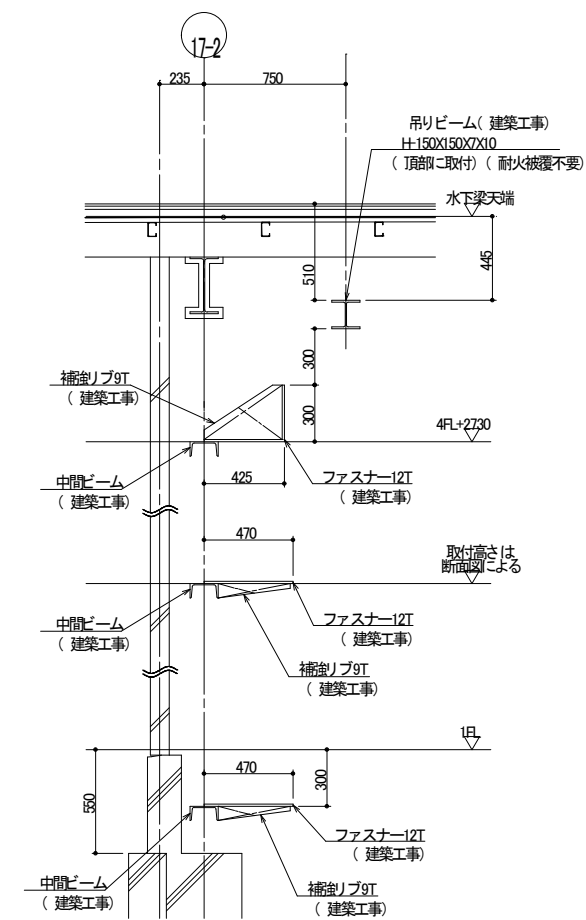


中間ビーム取付部 昇降路平面図(1: 20)
(4FL+2730)

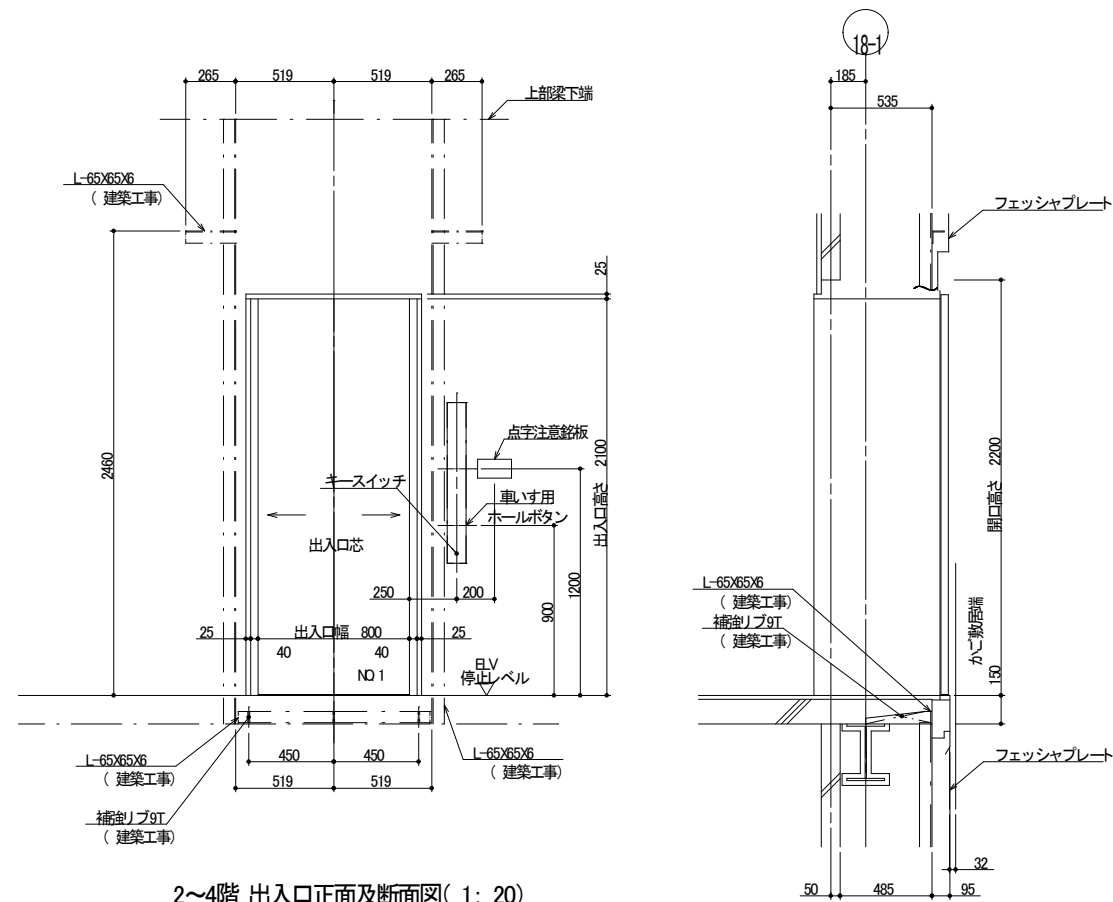
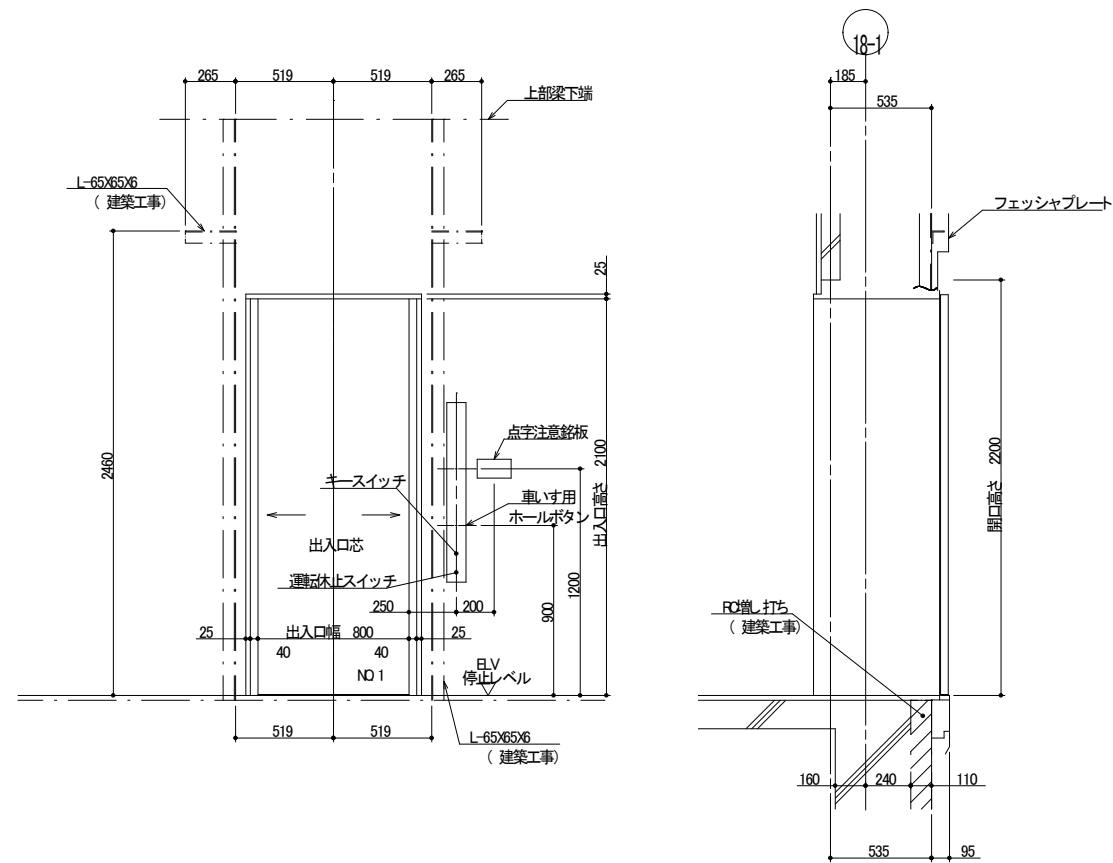
ファスナー: 12T, 補強リブ: 9T(建築工事)
中間ビーム: U-150X75X9-3列(建築工事)

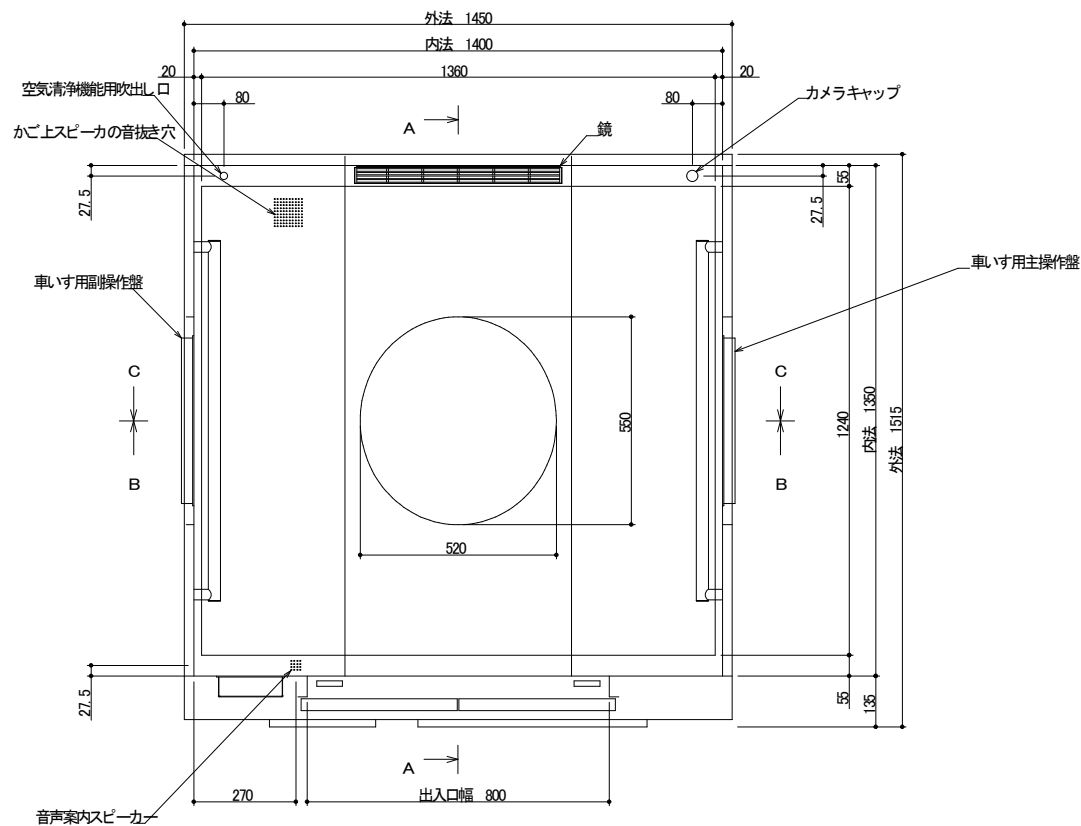
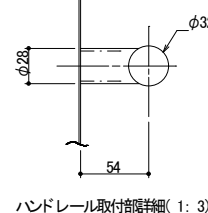
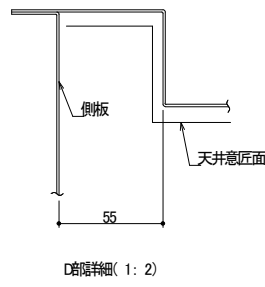
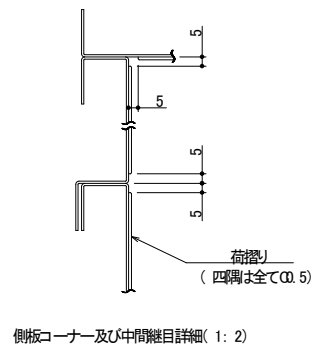
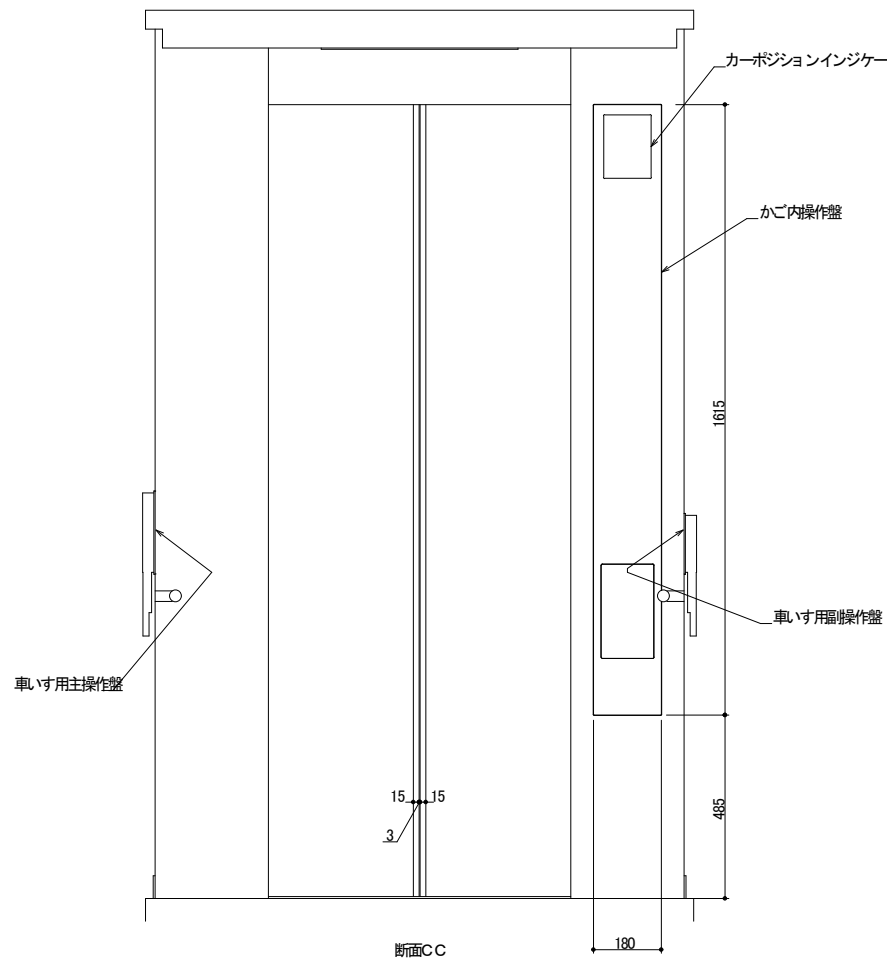
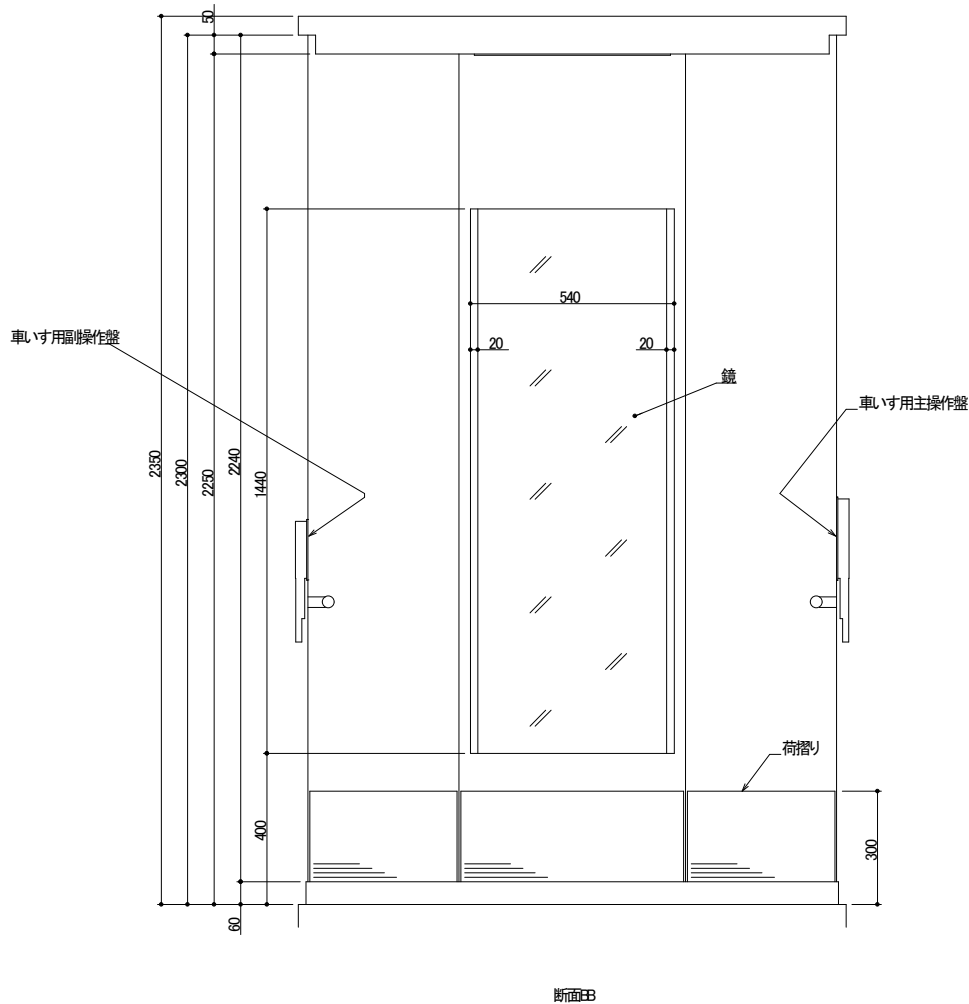
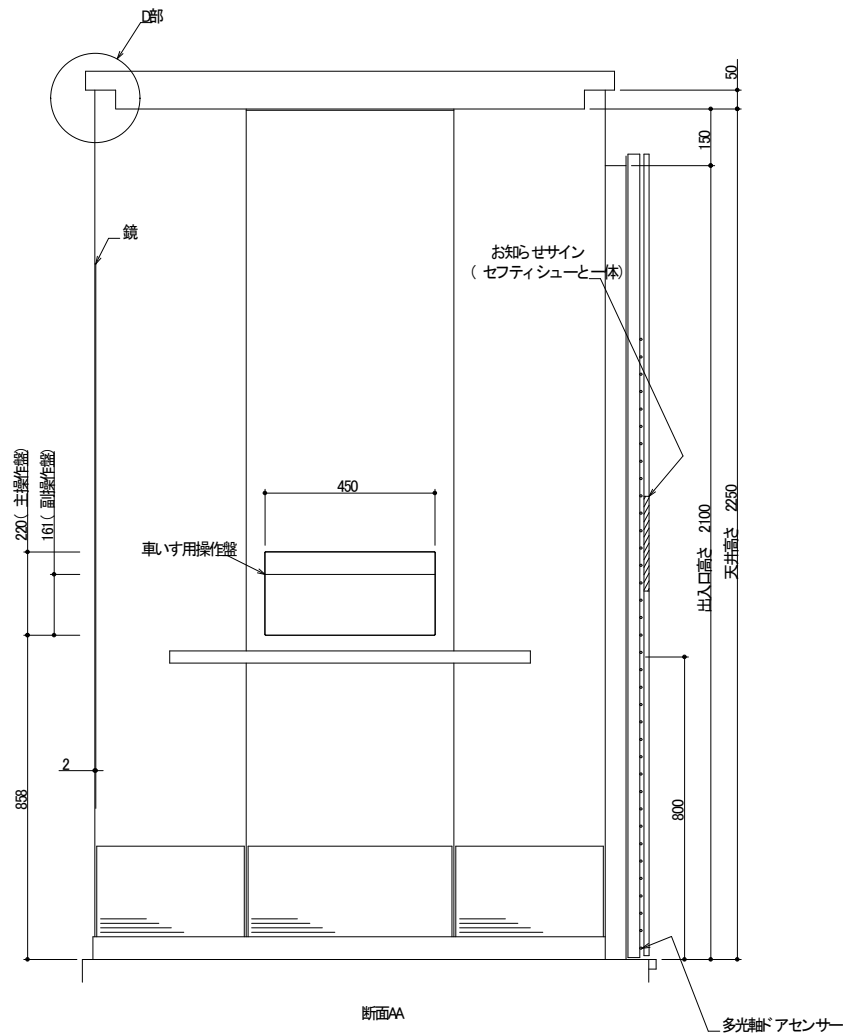


断面 BB



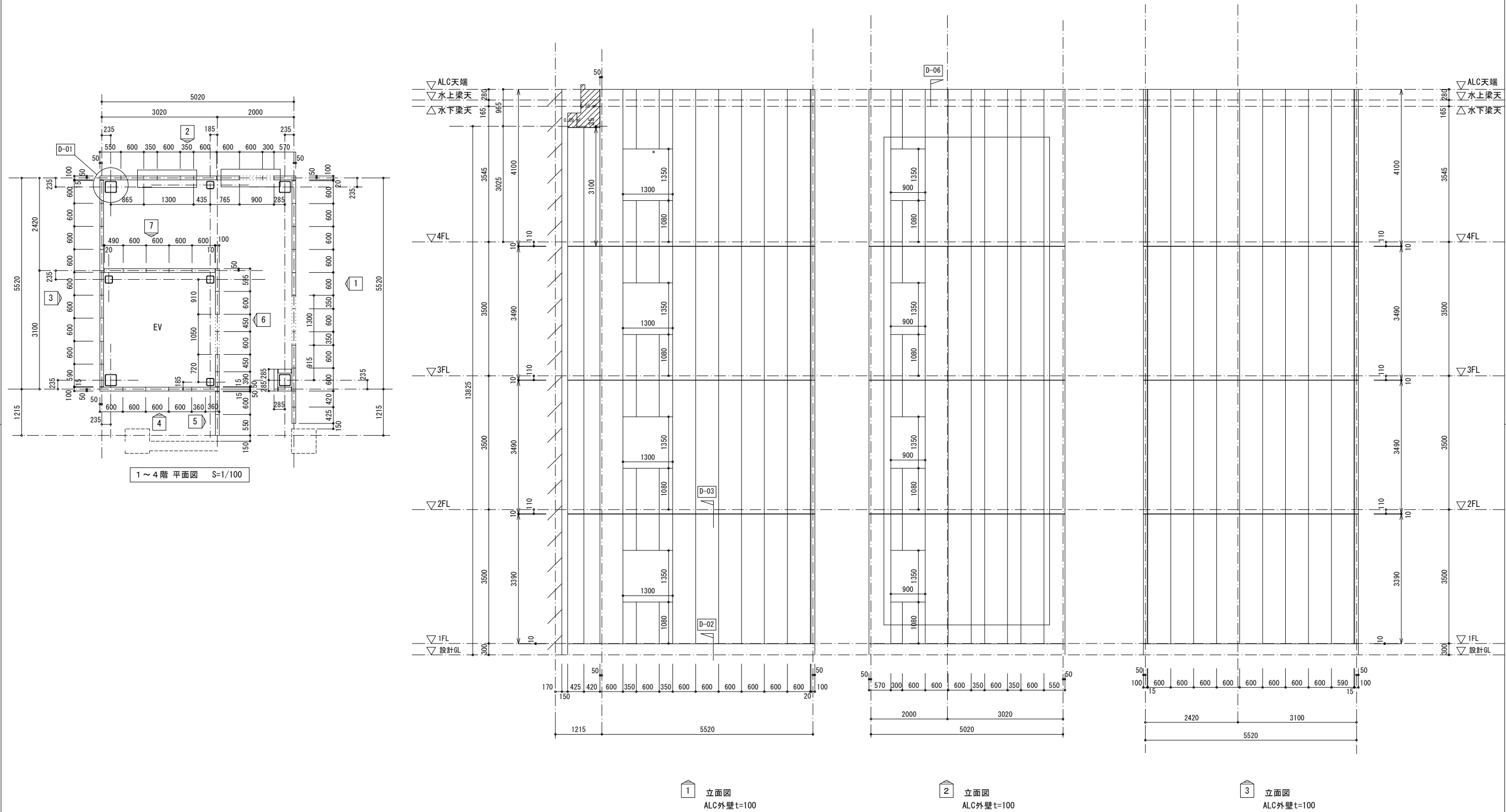
断面 CC

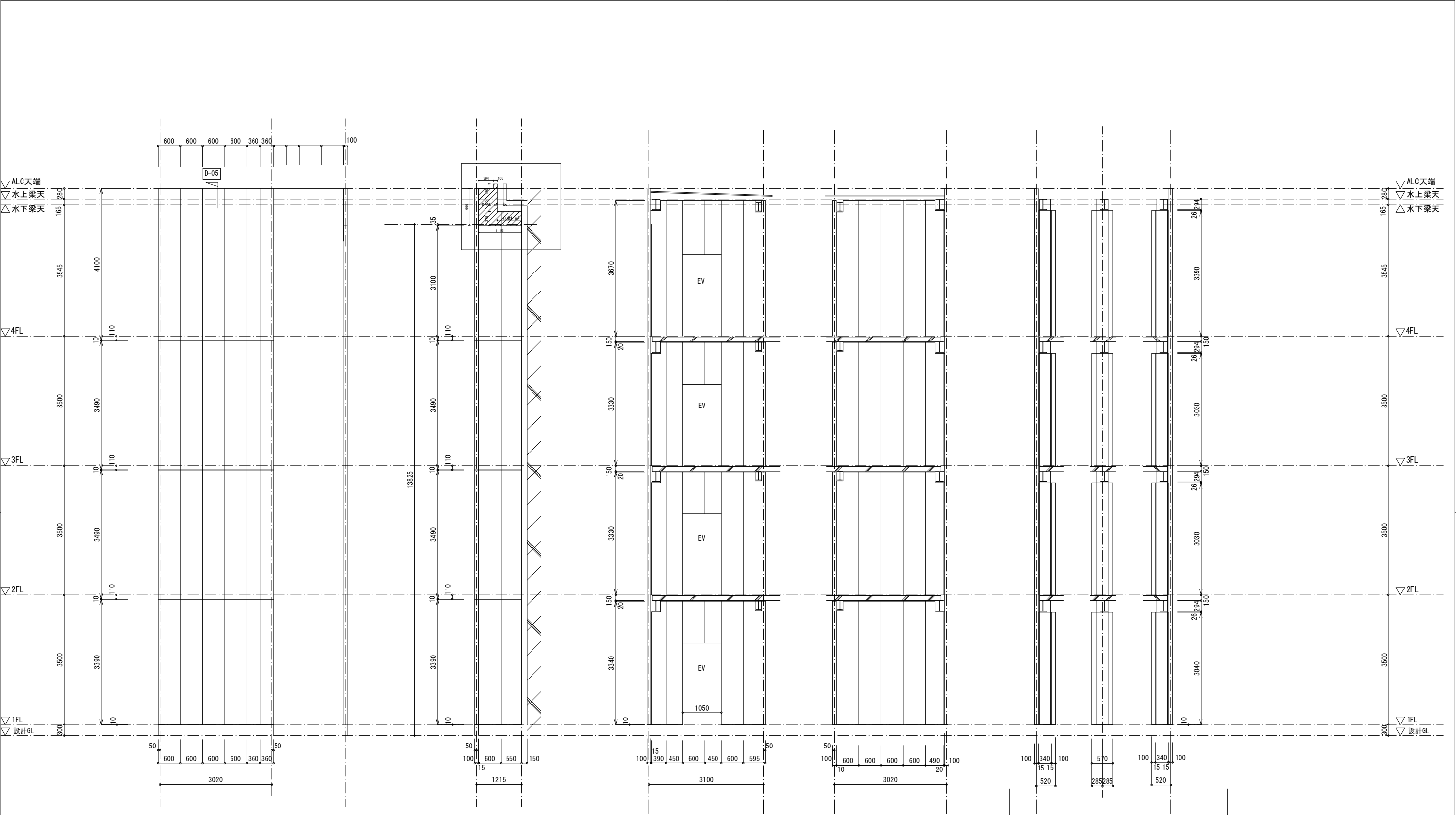




品名	仕様
前側板 出入口上部枠	化粧鋼板
幅木	化粧鋼板
側板 戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照り色: 白色)
停電灯	LED
換気	ファン
床	荷重用樹脂タイル(2T)
敷居	ステンレス製
鏡	ステンレス鏡面(両壁へアライン仕上)
ハンドル	ステンレスパイプ(ヘアライン仕上)
光電装置	多光線センサー(お知らせサイン付)
天井換気ルーバー、 カメラキャップ	ABS樹脂
荷置き	ステンレスヘアライン仕上(床から300mm)
付属品	車いす仕様付、視覚障がい者仕様付 ひも挟まれ検知機能付(3mm以上のひも検知仕様) (かご戸当り部にステンレスヘアライン仕上 フォーミング目地付) 乗り場側利用者検知機能付(戸袋引き込まれ低減機能付 空気清浄機能付(イオン発生機能)同等音声案内装置付 非常放送・一般放送用スピーカー付 かご側板保護マット付、かご床マット付

AI(原寸)時=1:10, A3(縮小)時=1:20





4 立面図
ALC外壁 t=100

5 立面図
ALC外壁 t=100

6 立面図
ALC間仕切壁 t=100

7 立面図
ALC間仕切壁 t=100

<div>D-01</div> <div>コーナー部分 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-02</div> <div>立上り部分 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-03</div> <div>ジョイント部分 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-04</div> <div></div>
<div>D-05</div> <div>バラベット部分 (水上) 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-06</div> <div>バラベット部分 (水下) 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-07</div> <div>開口部 詳細図 S=1/5</div>	<div>D-08</div> <div>A L C 間仕切 上下部 詳細図 S=1/5</div>
<div>一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号</div> <div>株式会社ixrea</div> <div>一級建築士 第 331861 号</div> <div>吉田 浩司</div>			<div>星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体工事</div> <div>EV参考図8ALC)</div> <div>鹿児島市建設局建築部建築課</div> <div>A3:1:100</div> <div>A-131</div>

1 . 建築物の構造内容

(1) 建築場所

鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町3953-2番地

(2) 工事種別

新築

増築

増改築

改築

(3) 構造種別

木造 (W)

補強コンクリートブロック造 (C B)

鉄骨造 (S)

鉄筋コンクリート造 (R C)

壁式鉄筋コンクリート造 (W R C)

鉄骨鉄筋コンクリート造 (S R C)

壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (W P R C)

プレキャスト鉄筋コンクリート造 (P R C)

(4) 階 数

地下 階

地上 4 階

塔屋 階

(5) 主要用途

エレベーター

(6) 屋上付属物

高 架 水 槽

k N

キュービクル

k N

広告塔

煙 突

(7) 特別な荷重

エレベータ 11 人乗 (マシンルームレス

ロープ式 油圧式)

リフト

k N

ホイスト

k N

倉庫積載床用

N / m²

受水槽

k N

(8) 付帯工事

門塙

塙壁

駐輪場

機械式駐車場

(9) 増築計画

有 ()

無 ()

(10) 構造計算ルート

X 方向

ルート 3

Y 方向

ルート 3

2 . 使用構造材料一覧表

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F c = N / mm ²	品質管理強度 F q = N / mm ²	スランプ cm	備考
土間コンクリート及び強てコンクリート	普通	18		15	
基礎・基礎梁・柱脚	普通	24		18	
細骨材の種類	砂	山砂	人工		
粗骨材の種類	砂利	砕石	人工		
水の区分	水道水	地下水	工業用水		
混和材料の種類	AE減水剤	高性能AE減水剤			
呼び強度を保証する材齢	28日	56日			

(2) コンクリートブロック (C B)

A 種	B 種	C 種	厚	1 0 0	1 2 0	1 5 0	1 9 0

(3) 鉄 筋

種 類	種 径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	S D 295 A	D 10 ~ D 16	重ね継手
	S D 295 B		
	S D 345	D 19 ~ D 22	
	S D 390		
	高強度せん断補強筋		
丸 鋼	S R 235		
溶接金鋼 (JIS G 3551)			

(4) 鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
S S 400	S N 400 B , C	S N 490 B	大梁、小梁
S T K R 400	S T K R 490		
B C R 295	B C P 235		柱
S M 490 A	S N 490 B	S N 490 C	通しダイヤフラム
S M 490 A	S N 490 B	S N 490 C	
S S C 400		隅縁	

(5) ボルト

○ 使用箇所の詳細については別途図示とする。

種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
高力ボルト			
普通 : F 1 0 T	S 1 0 T	認定品 (M 1 6、M 2 0、M 2 2、M 2 4)	
中ボルト		高力ボルトすべり係数試験	要 否
M 1 2		高力ボルト導入張力確認試験	要 否
アンカーボルト (別図による)			
頭付スタッドボルト			
= L =	mm	使用箇所 (柱 大梁 小梁)	
= L =	mm	使用箇所 (柱 大梁 小梁)	

(6) 屋根、床、壁

種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
A L C 版	壁厚 100	スライド構法	ボルト止め構法
折 版	H = mm 厚 = mm		ロッキング構法
デッキプレート	QL-99-50-1.2	厚 mm	
キーストンプレート	型式	厚	
特殊デッキプレート			
押出成形板			
フラットデッキ	型式	厚 mm	

3 . 地 盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

有 (敷地内 近隣)		無 (調査計画 有 無)					
調査項目	資料有り	調査計画	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験		標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験		物理探査		
試験堀 (支持層の確認)			平板載荷試験		液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験		P S 検層		

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

深 度	土 質	N 値	標準貫入試験	調査地番
0			1.0 2.0 3.0 4.0 5.0 6.0	鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町3953-2番地
1		21		位置図 地質調査報告書No14参照
2		29		
3		27		
4		34		
5		32		
6		30		
7		30		
8		30		
9		33		
10	シラス	37		
11				支持地盤、地層及び深さについてのコメント
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				孔内水位 孔口 - m
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				近隣データの調査地番と設計地番とは約 m の距離がある 備考
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4 . 地業工事

(1) 直接基礎

ベタ基礎	布基礎	独立基礎	試験堀	有 無
深さ	支持層・シラス層	長期許容支持力度 200 k N / m ²	載荷試験	有 無

(2) 杭基礎

支持層・ 層	材 料	施 工 法	備 考
杭 種	PHC (種、種、種)	打ち込み	認定第 号 年 月 日
	PHC (A 種 B 種 C 種)	埋込み	
RC PRC PHC H 鋼 鋼管 摩擦杭 PHC 節杭	鋼材 S S 400 S K K 400	工法	認定第 号 年 月 日
場所打ち コンクリート杭	コンクリート F c N / mm ² スランプ セメント量 kg / m ³ 鉄 筋 主筋 SD HOOP SD	オールケーシング リバースサーキュレーション アースドリル B H 深堀 手掘 機械堀	認定 第 号 年 月 日

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書

試験杭 (有 ・ 無) (打ち込み ・ 載荷 ・ 孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (k N)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5 . 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F c) が 3 6 N / m m² 以下に適用する。

(1) コンクリート

コンクリートは J I S 認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除き、公共建築協会編「公共建築工事標準仕様書 令和 4 年版」、J A S S 5 による。

セメントは、J I S R 5 2 1 0 の普通ポルトランドセメントを標準とする。

調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

フレッシュコンクリートの増化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。

構造物コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体 (J A S S T - 6 0 3) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。

また、打ち込み量が 1 5 0 m³ を超える場合は 1 5 0 m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。

一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた 3 台の運搬車からその必要本数採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1 回当り 6 本以上とし、そのうち 4 週用に 3 本を用いる。

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 2 5 以下の場合は 1 2 0 分以内、2 5 を超える場合は 9 0 分以内とする。

(2) 鉄 筋

鉄筋は J I S G 3 1 1 2 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、公共建築協会編「公共建築工事標準仕様書 令和 4 年版」、J A S S 5 による。

高強度せん断補強筋は、J I S G 3 1 3 7 に規定される D 種 1 号適合品とする。

鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) ~ (4) 」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2) 」による。

D 1 9 未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D 1 9 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (2 0 0 箇所を超えときは、2 0 0 箇所ごと) に 1 回行い、1 回の試験の箇所数は、超音波探傷試験の場合は 3 0 箇所、引張試験の場合は、3 本とする。

外観検査 有 無 引張試験 有 無 超音波探傷試験 有 無

柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、H 型 (タガ型) W 型 (溶接型) S 型 (スパイラル型) とする。

(3) 型 枠

材料 合板厚 1 2 mm を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、公共建築協会編「公共建築工事標準仕様書 令和 4 年版」、J A S S 5 による。

型枠存置期間

種類 部 位	せ き 板		支 柱		
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下	はり下	
セメントの種類 存置前平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメント A 種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメント A 種	早強ポルトランドセメント 混合セメント A 種
	15 以上	2 3	4 6	8 17	2 8
	5 以上	3 5	6 10	12 25	2 8
コンクリート (日)	0 以上	5 8	10 16	15 28	2 8
コンクリートの圧縮強度	5.0 N / mm ²		設計基準強度の 5 0 %		設計基準強度の 8 5 % 1 0 0 %

注) 1 片持り、庇、スパン 9.0 m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。

注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛りかえを行わないこと。

注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6 . 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

公共建築協会編「公共建築工事標準仕様書 令和 4 年版」

日本建築学会「J A S S 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」

鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書

認定工場 (大臣認定 M グレード) 工事規模に応じたグレード以上の認定工場

材料規格証明書または試験成績書

鋼材 高力ボルト 特殊ボルト 頭付スタッド

社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

現状検査 組立・開先検査 製品検査 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

日本建築学会「溶接工作規程、同解説」、
日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

外観及び表面欠陥の検査は原則として目視によりすべての溶接部に対して行う。

柱、梁のフランジ完全溶込み溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷検査による。

検査方法及び合否判定は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規程」による。

工場溶接に対し第三者機関による検査は下記及び右図による。(但し社内検査は 100 % 行う)

工場溶接における平均出良品質限界 (ロットの大きさ)

該 当	検査水準 AQL 検査限度	第1水準	第2水準	第3水準	第4水準	第5水準	第6水準
2.5%	60個	70個	80個	100個	130個	190個	
4.0%	70個	80個	90個	110個	150個	220個	

ロットの合否判定基準

該当	検査水準 AQL	第1合格	第1不合格	第2合格	第2不合格
2.5%	0	2	1	2	
4.0%	0	3	3	4	

注) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を 1 0 0 % 行うこと

高力ボルトは「J I S B 1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径 2 倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが 5 0 S 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するように注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。

締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、J I S K 5 6 7 4、2 回塗りを標準とする。

現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し 2 回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

7 . 設備関係 (令第 1 2 9 条の 2 の 4 の規定)

建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。

建築設備の支持構造物および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。

建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。

煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは 5 cm 以上とした鉄筋コンクリート造とすること。

設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。

設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。

エレベーターの駆動装置等は、構造物に安全に緊結されていること。

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。

床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1 / 3 以下とし管の間隔を管径の 3 倍以上かつ 5 cm 以上を原則とする。

8 . その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

必要に応じて記録写真を保管・保管すること。

意匠図との寸法等の相違は、工事監理者との協議により決定すること。

株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣 登録 第 354236 号
構造設計一級建築士 交付 第 10311 号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社 ixrea
一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎 1 号棟長寿命化改良その他本体設計

構造設計特記仕様

NO SCALE

S-01

鹿児島市建設局建築部建築課

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）記号

d・・・異形棒筋の呼び名に用いた数値 丸網では径 D・・・部材の成 R・・・直径
a・・・間隔 r・・・半径 c・・・中心線 Qo・・・部材間の内法距離 h o・・・部材間の内法高さ
S T・・・あばら筋 H O O P・・・帯筋 S・H O O P・・・補強帯筋 ...直径又は丸網

２．鉄筋加工、かぶり

（１）鉄筋末端部の折曲げ形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびし形梁のキャップタイにのみ用いる。 キャップタイ
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（*4d以上）	8d以上（*4d以上）	
折曲げ内法寸法 R は、	S R 235は3d以上、S D 295A、S D 295B、S D 345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			*片持スラブ上端筋の先端

（２）鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	S R 235、S D 295A S D 295B、S D 345	16 D16 以下 19 D19 以上	3d以上
	上記以外の鉄筋	S R 235、S D 295A S D 295B、S D 345	16 D16 以下 19 ~ 25 D19 ~ D25 28 ~ 32 D29 ~ D38	4d以上 6d以上 8d以上

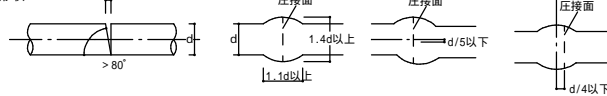
（３）鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L ₁)
		一般 (L ₂)	下端筋 (L ₃)		
			小梁	スラブ	
S R 235	21～36	35d フックつき	25d フックつき	150mm フックつき	35d フックつき
	18以下	45d フックつき			45d フックつき
S D 295A S D 295B S D 345	21～36	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき
	18以下	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

継手

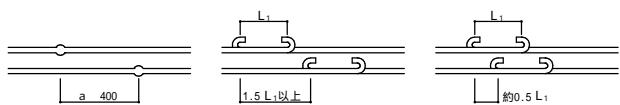
1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



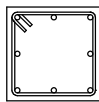
圧接継手

重ね継手（下図のいずれかとする）



（４）かぶり厚さ（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



かぶり厚さ

部位		設計かぶり厚さ最小かぶり厚さ (mm)		
土に接しない部分	屋根スラブ	屋 内	30	20
	床スラブ	屋 外	40 ⁽¹⁾	30(20)
	非耐力壁	屋 内	40	30
	柱	屋 外	50 ⁽¹⁾	40 ⁽¹⁾⁽³⁰⁾
	耐力壁	擁壁	50 ⁽¹⁾	40
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽¹⁾	
	基礎・擁壁	70	60 ⁽¹⁾	

- （注）(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承諾を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) () 内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

修正箇所は下線を引くこと

（５）鉄筋のあき

丸網では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



柱

梁

（６）鉄筋のフック（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

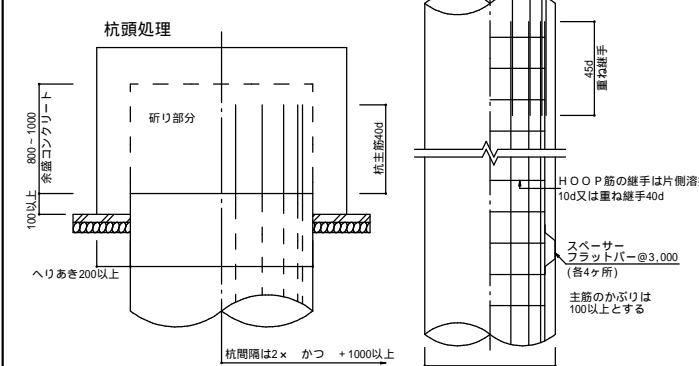
- a. 丸網 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

３．杭（地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。）

（１）P R C 杭、又はP H C 杭の全てに補強を行う

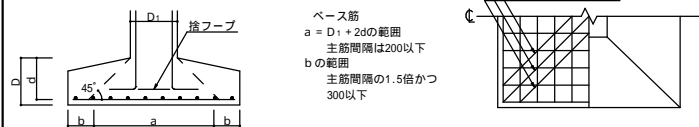
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
	但し Q ₀ の場合は工事監理者の指示による		
杭径	300、350、400	450、500、600	
補強筋	6 - D13	8 - D13	10 - D13
H O O P	D10 - @150		

（２）現場打ちコンクリート杭

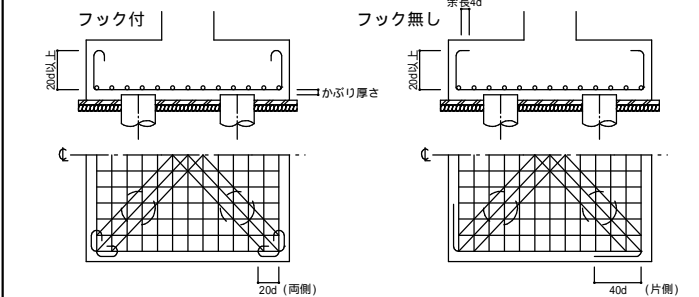


４．基礎

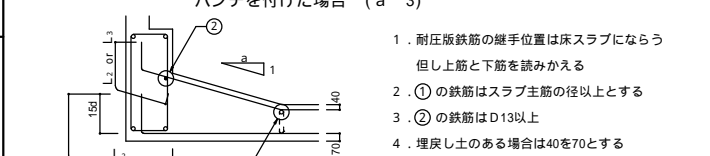
（１）直接基礎



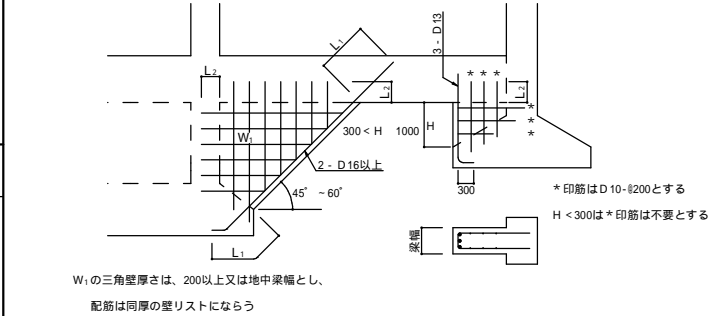
（２）杭基礎



（３）べた基礎



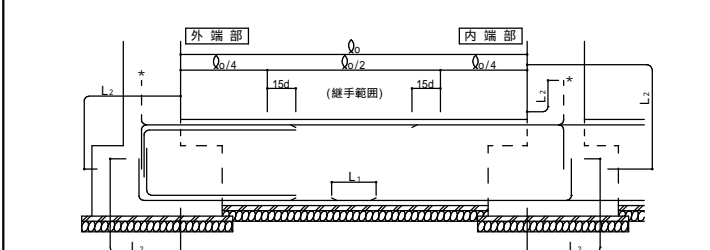
（４）基礎接合部の補強



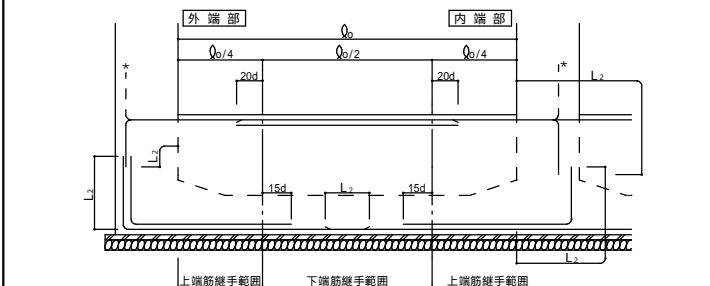
W₁の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう

５．地中梁

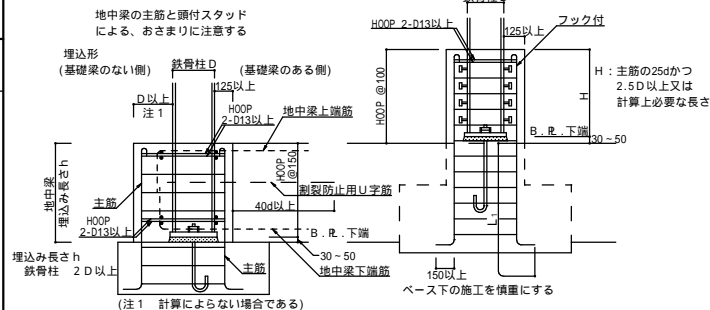
（１）独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）



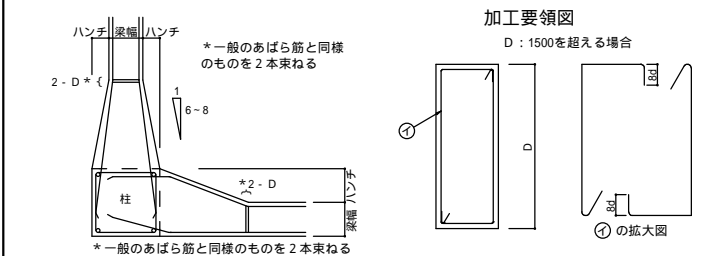
（２）布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）



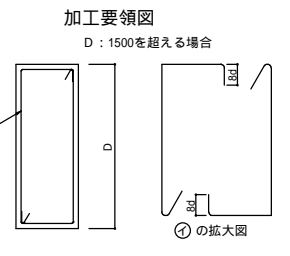
（３）小規模鉄骨造柱脚固定の配筋



（４）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

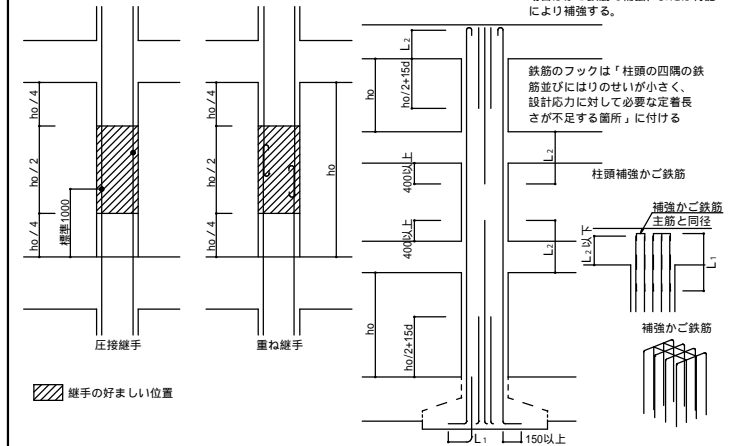


（５）せいの高い梁のあばら筋加工要領図

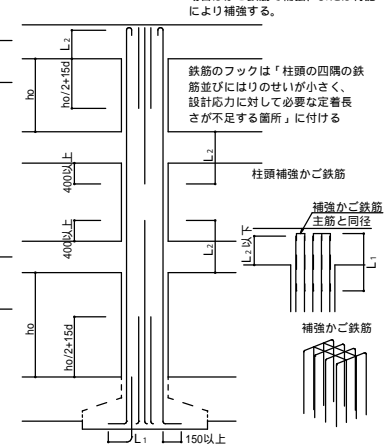


６．柱

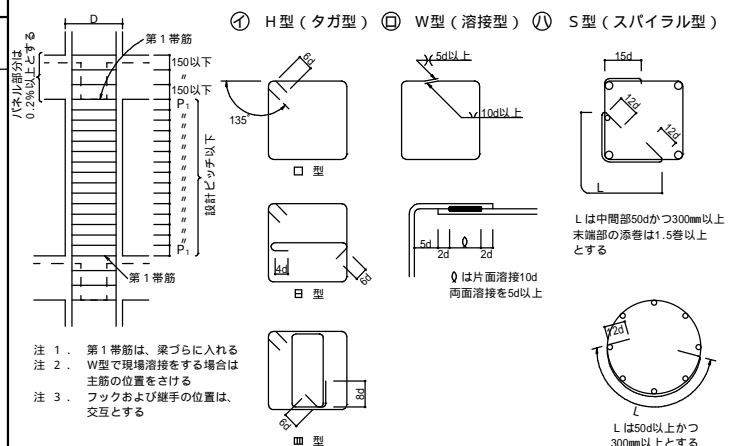
（１）柱主筋の継手



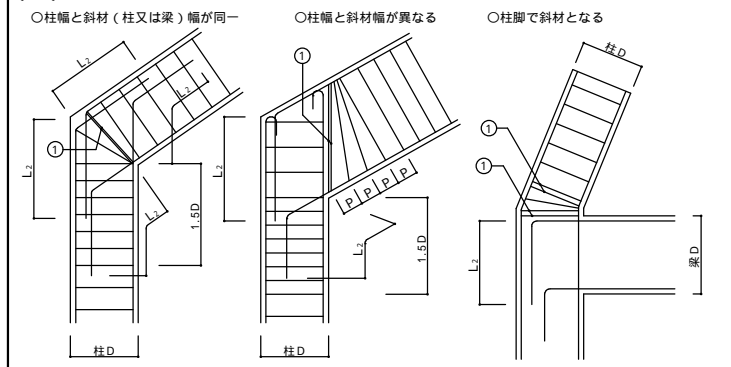
（２）柱主筋の定着



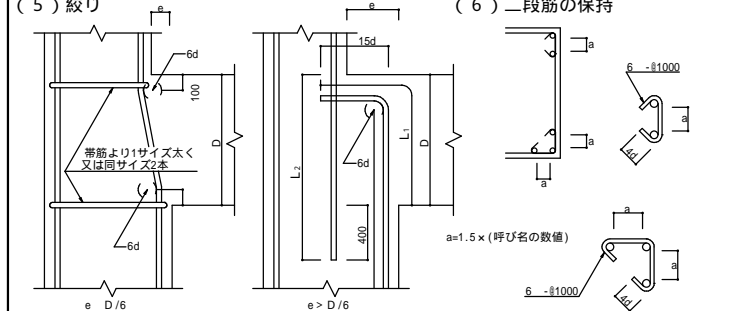
（３）帯筋



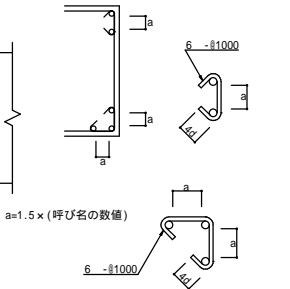
（４）斜め柱・斜め梁



（５）絞り



（６）二段筋の保持



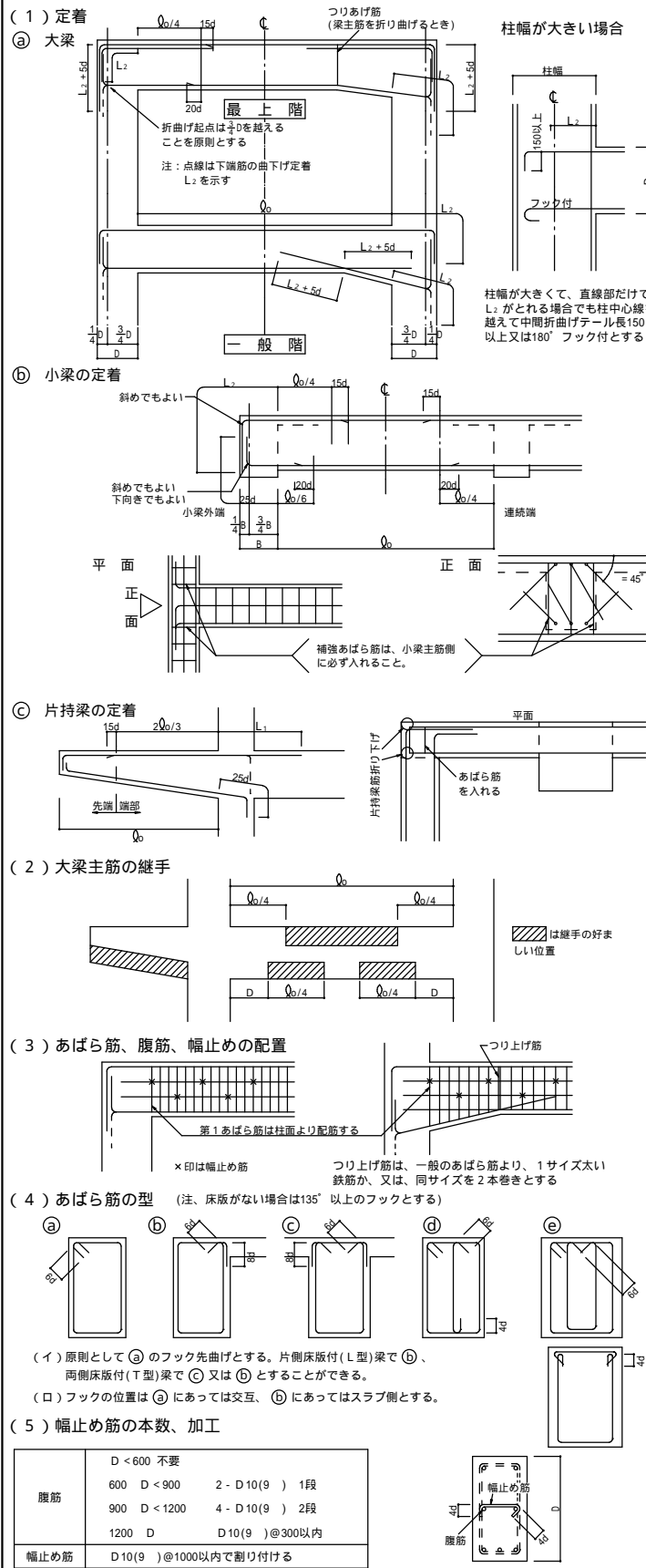
株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号	星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計
株式会社 ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司	鉄筋コンクリート構造 配筋標準図（１） NO SCALE S-02 鹿児島市建設局建築部建築課

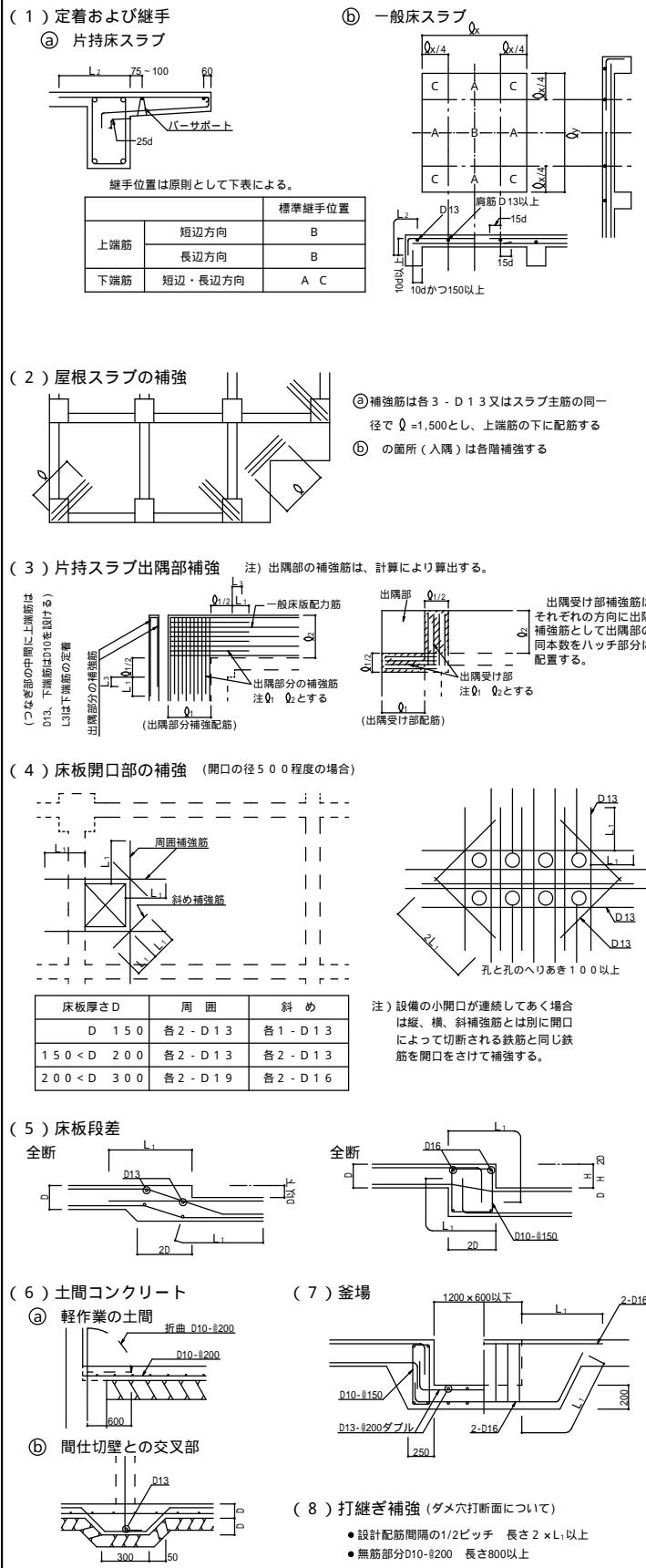
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

修正箇所は下線を引くこと
L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

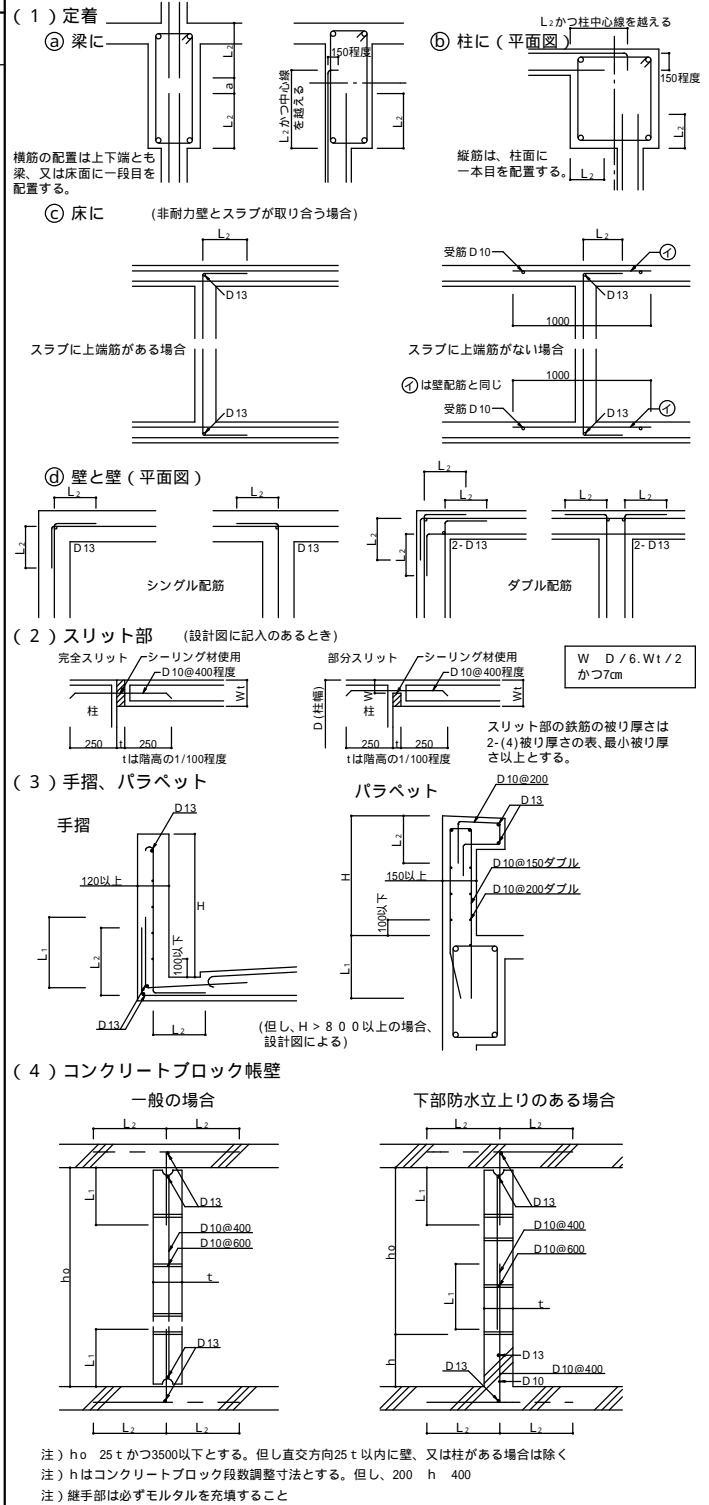
7. 大梁、小梁、片持梁



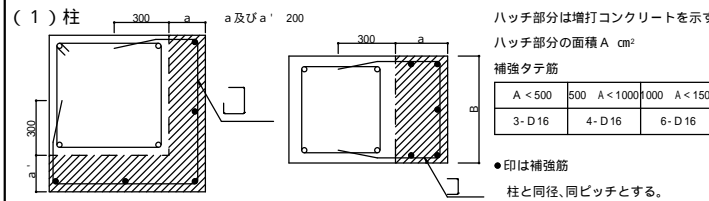
8. 床板



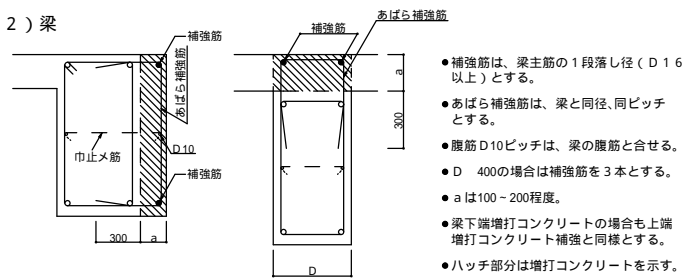
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強



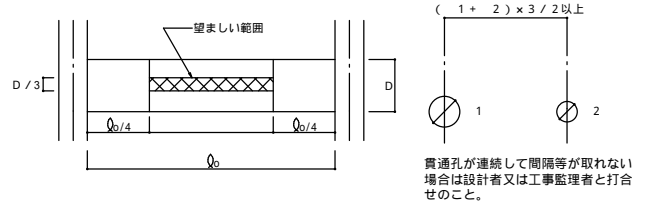
(2) 梁



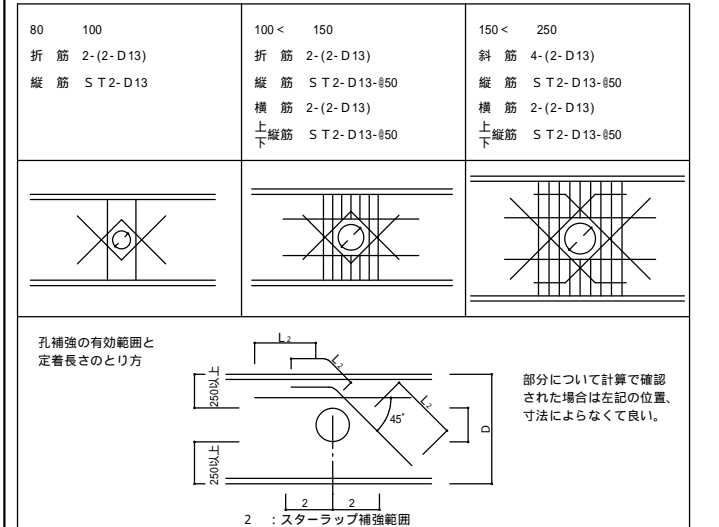
11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン l_0 /10以内かつ2D以内)は原則として避ける



(2) 鉄筋標準配筋



(3) 既製品

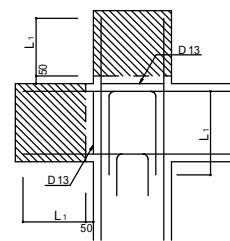
ウェブレ、ダイヤレン 等 日本建築センター評価取得品とする。

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

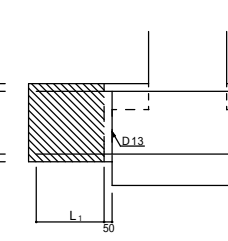
リング型 バイブ型 金網型 プレート型

12. 増築予定

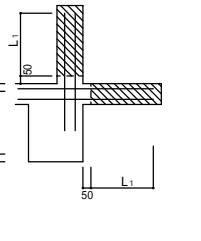
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



(3) 床版、壁



株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣 登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社 ixrea

一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計

鉄筋コンクリート構造
配筋標準図(2)

NO SCALE
S-03

鹿児島市建設局建築部建築課

鉄骨構造標準図(1)

修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- 構造設計仕様による
- 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

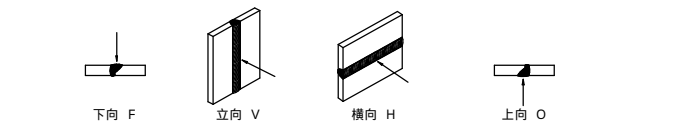
- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

- 本編めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合

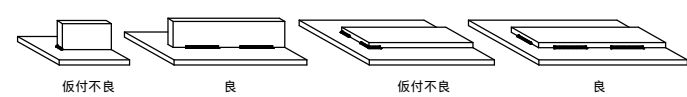
- 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
(ロ) アークエア・ガウジング機(直流)
(ハ) サブマージアーク溶接機一式
(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ヘ) 溶接棒乾燥機
- 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエア・ガウジング(AAG)
- 溶接姿勢



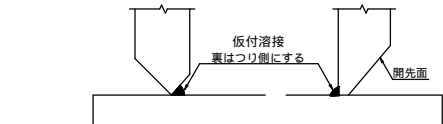
- 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

(イ) 仮付位置

組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(イ) エンドタブ

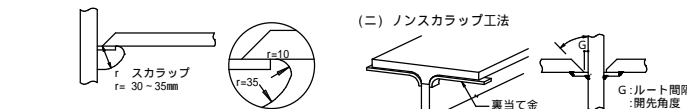
- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- エンドタブの材質は、母材と同質とする
- エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出し設計者又は工事監督者の承認を得る

(ロ) 裏当て金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

- スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアーランドとする

但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする



(ホ) 裏はつり

標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を履行し、部材に確認マークを付ける

- 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

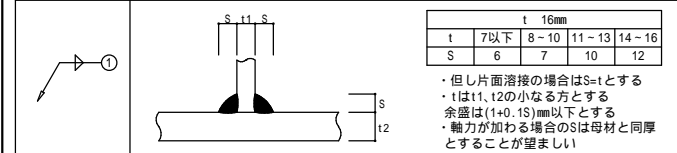
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

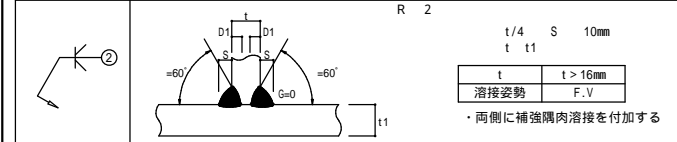
2. 溶接標準図

(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

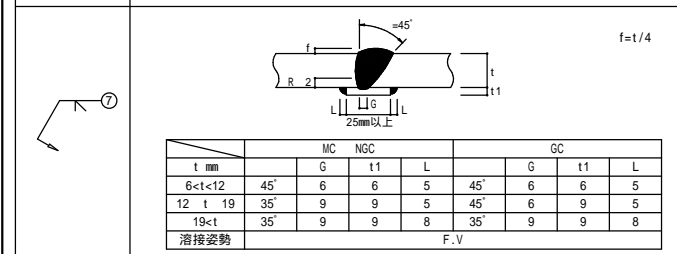
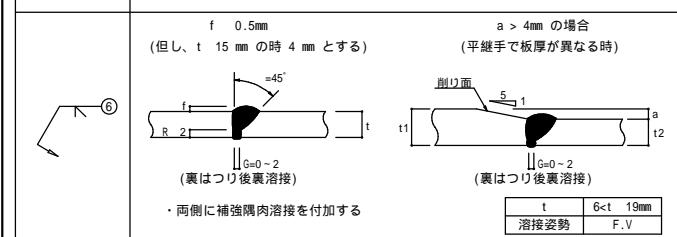
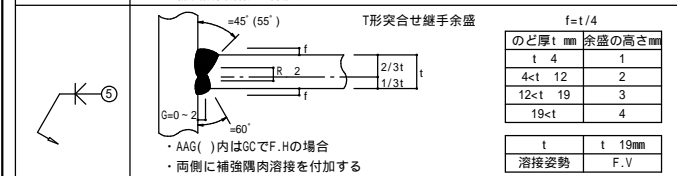
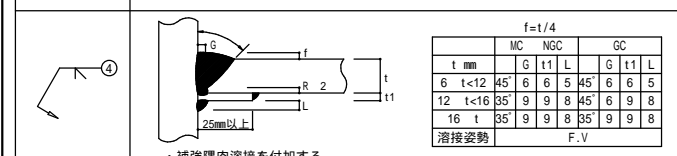
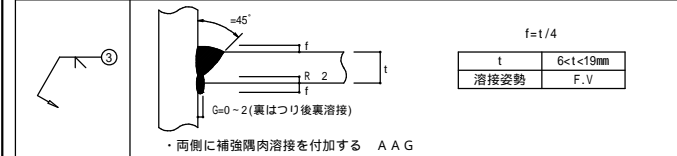
(1) 隅肉溶接



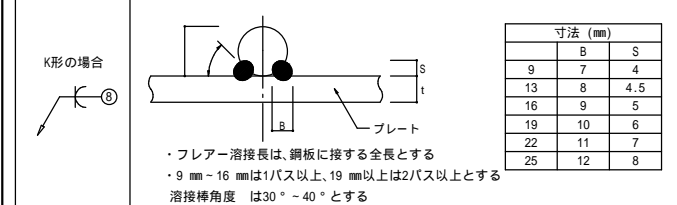
(2) 部分溶け込み溶接 (使用面に注意)



(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

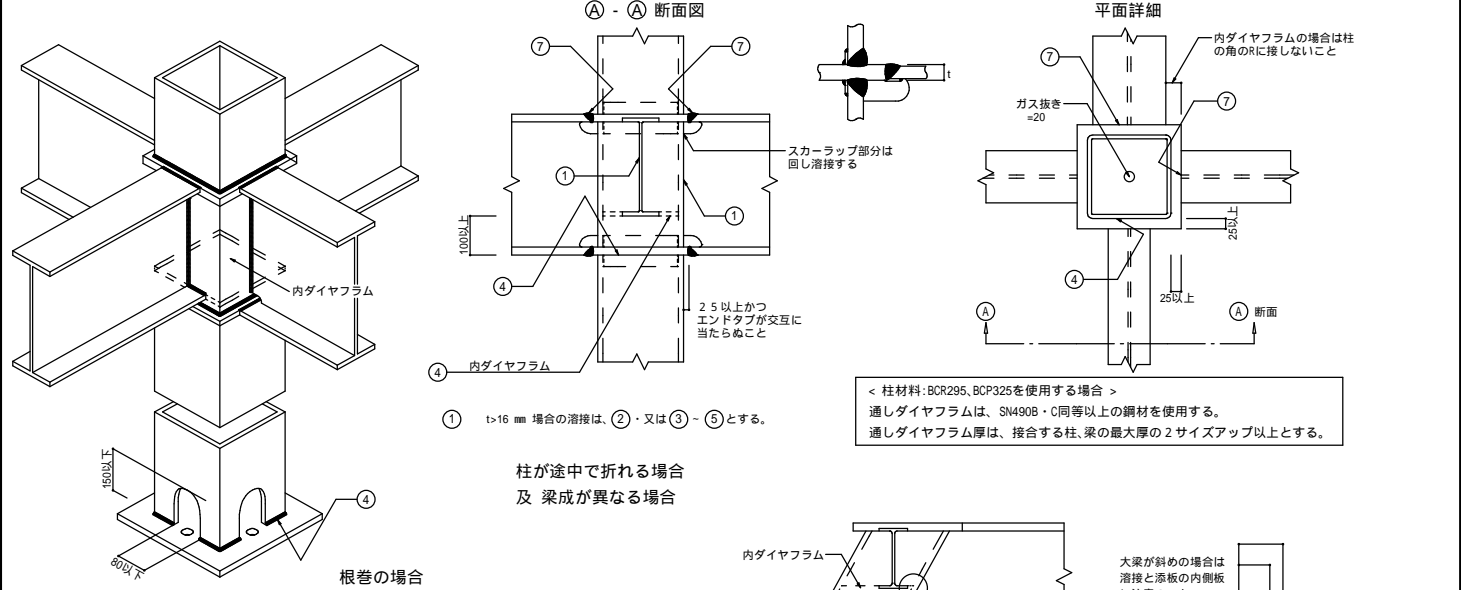


(4) フレー溶接



溶接記号番号を 中に記入のこと

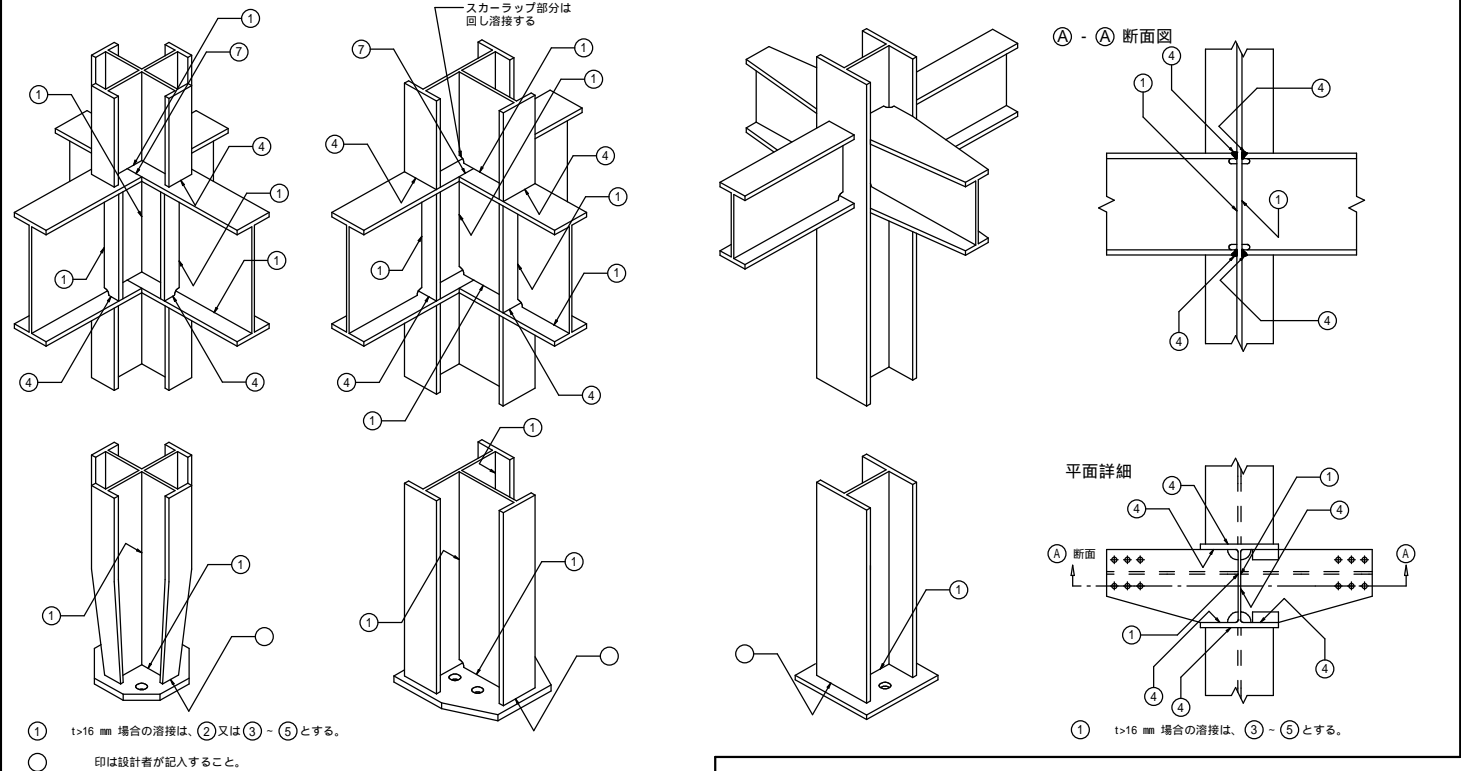
BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	バス間温度(℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214 YGI-11、15 YGI-18、19 YGA-50H、50P	40 以下	350 以下
490N級鋼	JIS Z 3212、3214 YGI-11、15 YGI-18、19 YGA-50H、50P	40 以下	350 以下

工 H 型



株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣 登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社ixrea

一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計

鉄骨構造標準図(1)

NO SCALE

S-04

鹿児島市建設局建築部建築課

Q L デッキ合成スラブ設計・施工標準

J F E 建材
株式会社

Q L デッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、
(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工規程-2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、Q L デッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設 計

材料 / デッキプレート [ISO 9001 認証取得]

デッキプレート種類		板厚(mm)	表 面 処 理
Q L デッキ Q L 99-50 Q L 99-75	端部加工	1.2	裏面防錆処理(一次塗装) Q L プライマー(P)
	イン加有	1.6	亜鉛めっき [Z12 Z27]
	無し		ZAM(高耐食溶融めっき鋼板) [K27 K35]
Q L セルラー G K X-50 G K X-75		1.2	亜鉛めっき Z 27 限定
		1.6	
材 質	J I S G 3 3 5 2 に定める S D P 1 T、S D P 2、S D P 2 G		

種 類	普通コンクリート	軽量コンクリート (1 種 2 種)
設 計 基 準 強 度	18 24	() N / m ²
厚さ(Q L デッキ山上)	60 70 80 85 90 95 100	() mm

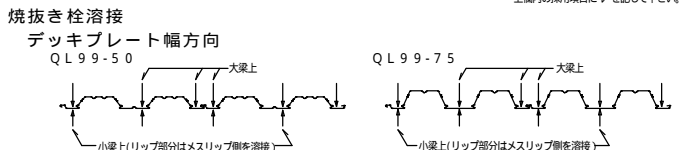
溶 接 金 網	J I S G 3 5 5 1	6-150×150	6-100×100
異 形 鉄 筋	J I S G 3 1 1 2、3 1 1 7	D 10-@200	()

接 合	焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
打込み紙	接合箇所は特記による	
頭付きスタッド	J I S B 1198	1 3 1 6 1 9 2 2 各長さ・ピッチは特記による
そ の 他		

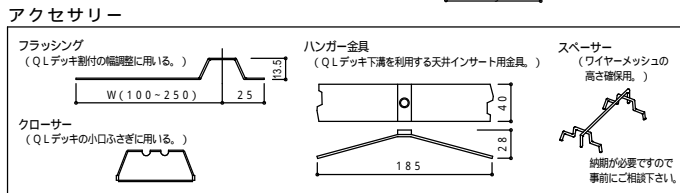
耐 火	1 時 間	2 時 間
連 続 支 持	F P 0 6 0 F L - 9 0 9 5	F P 1 2 0 F L - 9 1 0 7
単 純 支 持	F P 0 6 0 F L - 9 1 0 1	F P 1 2 0 F L - 9 1 1 3
そ の 他	()	()
指 定 な し	()	()

特 記	その他:
支 保 工 有 無	無

上欄内の採用項目に「」を記して下さい



デッキプレートスパン方向	「Q L デッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。
$G_x = \frac{1.5 Q_a}{Q_0} \times 1000 \text{ mm}$ かつ 600 mm 以下	
Q _a : 焼抜き栓溶接 1 個当たりの長期許容せん断力 (N)	
Q ₀ : 設計最大せん断力 (N/m)	
G _x : 焼抜き栓溶接ピッチ	
S 1	
G _x = (600) mm	
G _y = (200) mm	



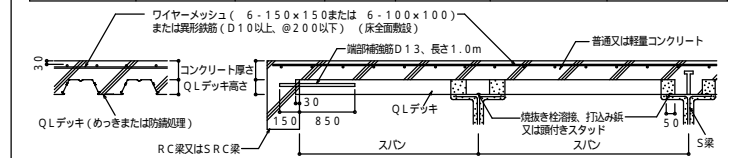
施 工 順 序	敷 込 み
出 入 敷込み止め溶接	鉄骨梁の場合 1) 出入し線に合わせて 1 枚目のデッキプレートに止め溶接した後、順次適切な枚数 (5 ~ 10 枚) ごとに仮止めの溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの端部が乗るように敷込む。
Q L デッキと梁との接合	1) 頭付きスタッド 2) 打込み紙 3) 焼抜き栓溶接
溶接金網敷込み	デッキプレート幅方向のかり代は、50mm以上あることを確認する。 (頭付きスタッドの場合は 30mm 以上)
コンクリート打設	3) デッキプレート長手方向の大梁のかり代は、50mm 以上あることを確認する。
検 査	R C 梁または S R C 梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に訂正する。 2) デッキプレートの梁型枠へのめ込み代が幅方向 10mm 以上、長手方向が 30mm であることを確認する。

耐 火 仕 様

【連続支持合成スラブ】

支 持 梁 : 鉄骨(S)梁 及び 大梁 : 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁 : 鉄骨(S)梁
コンクリート : 設計基準強度 18 N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート (1 種 2 種)

耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1 時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
床、2 時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	D10-@200	5,400 N/m ² 以下 注2)
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	5,400 N/m ² 以下 注2)



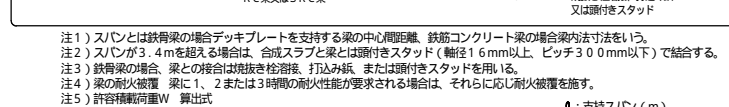
【単純支持合成スラブ】

支 持 梁 : 鉄骨(S)梁 コンクリート : 設計基準強度 18 N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート (1 種 2 種)
耐火補強筋 : D13 (デッキプレート各溝 @ 300)

耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1 時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
床、2 時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照

支 持 梁 : 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合 コンクリート : 設計基準強度 18 N/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋 : D13 (デッキプレート各溝 @ 300)

耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1 時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	6-150x150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
床、2 時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	6-100x100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	6-100x100	算出式 注5) B 参照



注 1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支える梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注 2) スパンが 3.4m を超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド (軸径 16mm) 以上、ピッチ 300mm 以下) で結合する。
注 3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み紙、または頭付きスタッドを用いる。
注 4) 梁の耐火補強 梁に 1、2 または 3 時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じた耐火補強を施す。
注 5) 許容積載荷重 W 算出式

許容積載荷重は、床にかかる全自重(仕上り荷重も含む)から床自重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

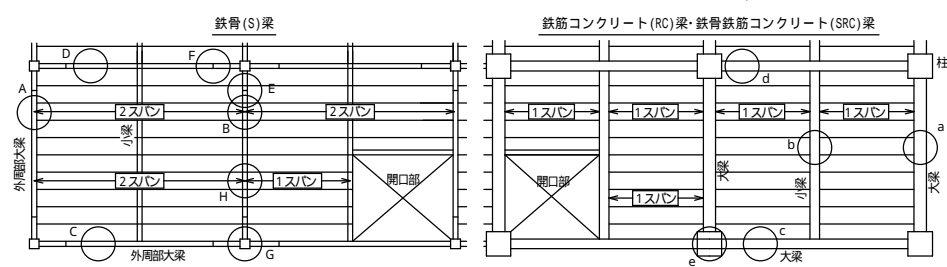
付帯条件 連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは 2 スパン以上になつて連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

デ ュ キ プ レ ー ト と 梁 と の 接 合

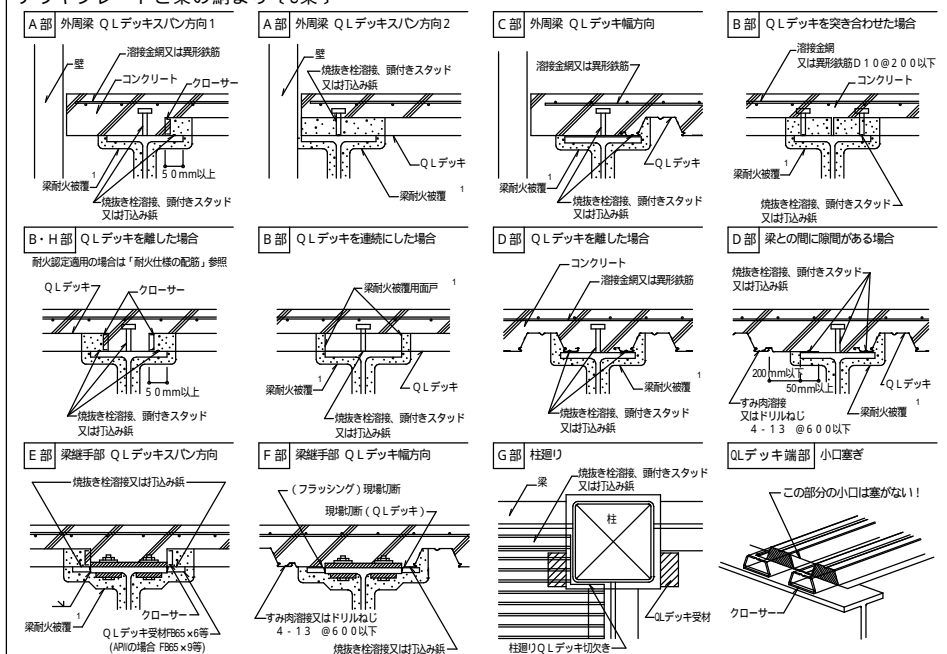
焼抜き栓溶接 [S P W] — アーク手溶接 —		
1) 頭付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。	2) 打込み紙 施工は、打込み紙製造業者の施工要領による。 施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。 (梁フランジの表面処理条件; 黒皮または一般錆止め塗装)	3) 焼抜き栓溶接 国土交通省告示第 326 号(平成 14 年 4 月 16 日制定)及び国土交通省告示第 606 号(平成 19 年 6 月 20 日改正)の 第 2 接合(ハ)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件; 黒皮または一般錆止め塗装)
自動焼抜き栓溶接 [A . P . W] — C O、アークスポット溶接 —		
(1) 一次側電源の必要容量: 仮設電力の場合 18 KVA 以上 3 相 200V 発電機の場合 35 KVA 以上 3 相 200V	(2) ワイヤの種類と直径 : YGW 11、12 1.2mm	(3) 標準溶接条件: 下表
溶接後の外観検査		
1) 溶接箇所の確認	2) 焼き切れ、余盛り不足の有無	3) 標準余盛り径 SPW; 18mm 以上 A.P.W.; 25mm ±3
不良部の補修	不良箇所を溶接金属を流し込む必要に応じて補修する。	
A.P.W. の場合: スラグ除去後、梁にデッキプレートを押着させて再溶接する。		
A.P.W. の場合: 重ね溶接して補修する。		
【そ の 他】		
(1) Q L デッキ相互の接合状況 (2) 溶接金網の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況		

標 準 納 ま り

図中 1 は、梁に 1、2 または 3 時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 2 は Q L デッキ耐火認定を適用する場合に必要。

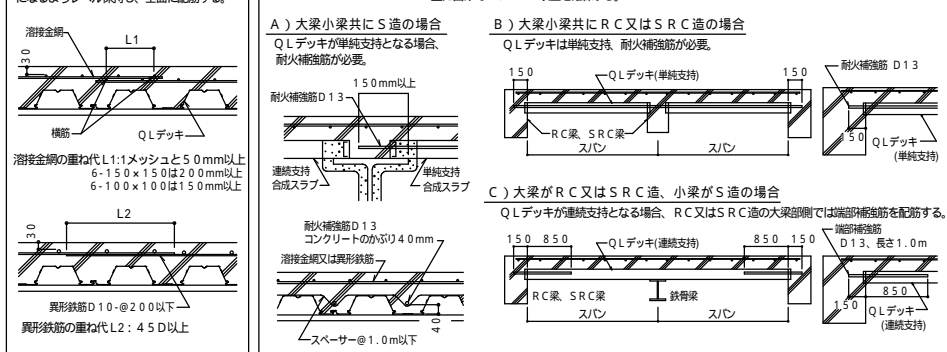


デ ュ キ プ レ ー ト と 梁 の 納 め り (S 梁)



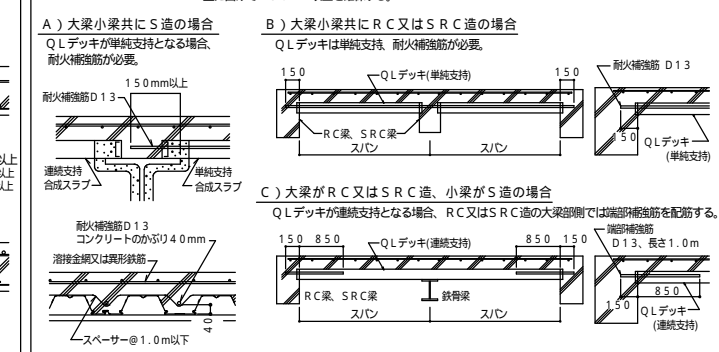
ス ラ ブ の 配 筋

コンクリート表面よりのかり厚さが 30mm になるようレベル保持し、全面に配筋する。

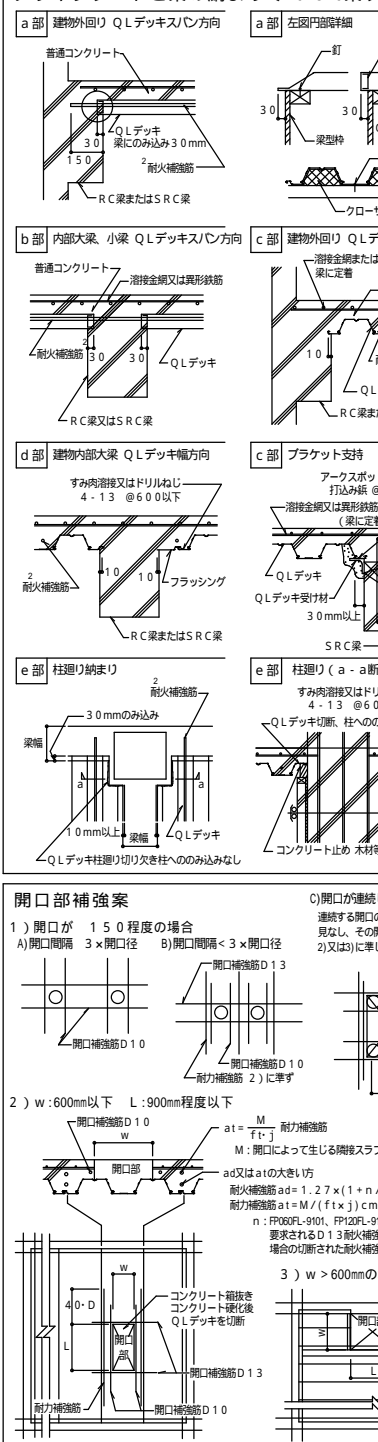


耐 火 仕 様 の 配 筋

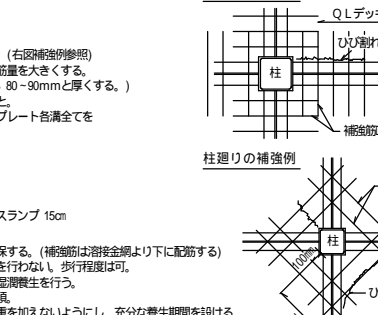
・ Q L デッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋は J A S S 5 鉄筋コンクリート工事による。
・ 耐火補強筋: 端部補強筋が必要な場合、Q L デッキの各溝中央部に 1 かぶり 4.0mm で配筋する。
・ 耐火補強筋: 端部補強筋なし、梁へ 15.0mm 以上定着させる。梁上で定着が 15.0mm とでない場合は、L 型に曲げて 15.0mm 以上を確保する。



デ ュ キ プ レ ー ト と 梁 の 納 め り (R C、S R C 梁)



(参考) ひび割れ拡大防止のための留意事項

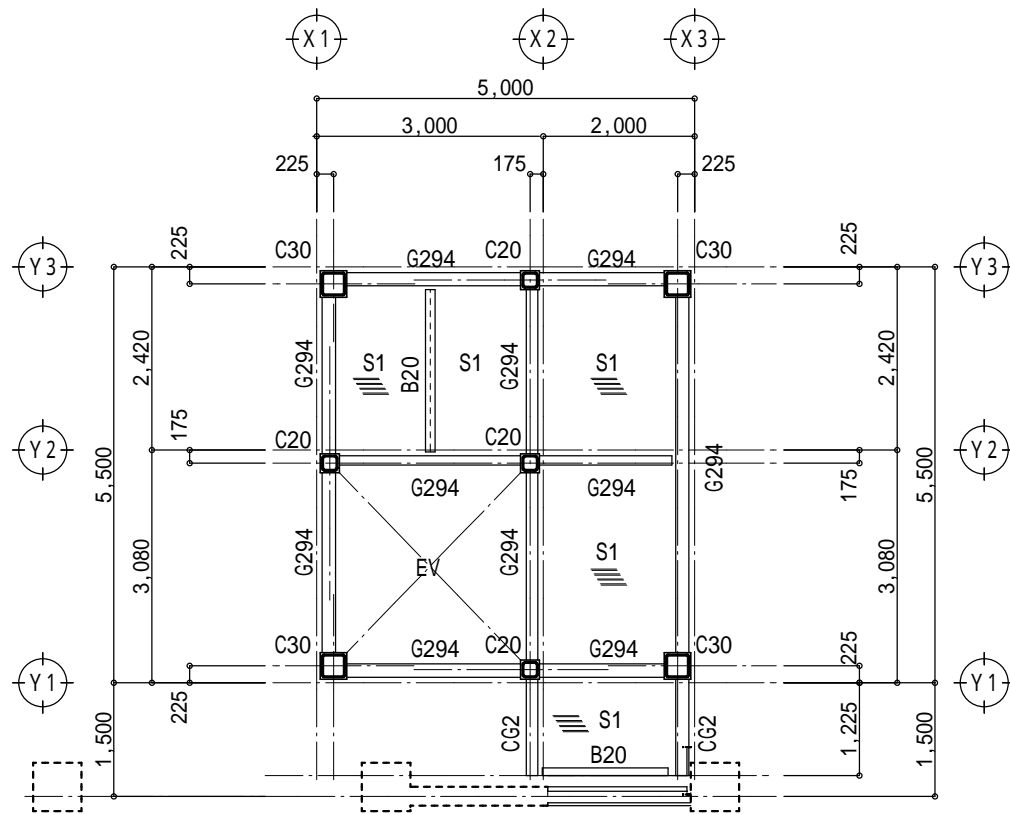


施 工 順 序	敷 込 み
出 入 敷込み止め溶接	鉄骨梁の場合 1) 出入し線に合わせて 1 枚目のデッキプレートに止め溶接した後、順次適切な枚数 (5 ~ 10 枚) ごとに仮止めの溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの端部が乗るように敷込む。
Q L デッキと梁との接合	1) 頭付きスタッド 2) 打込み紙 3) 焼抜き栓溶接
溶接金網敷込み	デッキプレート幅方向のかり代は、50mm以上あることを確認する。 (頭付きスタッドの場合は 30mm 以上)
コンクリート打設	3) デッキプレート長手方向の大梁のかり代は、50mm 以上あることを確認する。
検 査	R C 梁または S R C 梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に訂正する。 2) デッキプレートの梁型枠へのめ込み代が幅方向 10mm 以上、長手方向が 30mm であることを確認する。

焼抜き栓溶接 [S P W] — アーク手溶接 —		
1) 頭付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。	2) 打込み紙 施工は、打込み紙製造業者の施工要領による。 施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。 (梁フランジの表面処理条件; 黒皮または一般錆止め塗装)	3) 焼抜き栓溶接 国土交通省告示第 326 号(平成 14 年 4 月 16 日制定)及び国土交通省告示第 606 号(平成 19 年 6 月 20 日改正)の 第 2 接合(ハ)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件; 黒皮または一般錆止め塗装)
自動焼抜き栓溶接 [A . P . W] — C O、アークスポット溶接 —		
(1) 一次側電源の必要容量: 仮設電力の場合 18 KVA 以上 3 相 200V 発電機の場合 35 KVA 以上 3 相 200V	(2) ワイヤの種類と直径 : YGW 11、12 1.2mm	(3) 標準溶接条件: 下表
溶接後の外観検査		
1) 溶接箇所の確認	2) 焼き切れ、余盛り不足の有無	3) 標準余盛り径 SPW; 18mm 以上 A.P.W.; 25mm ±3
不良部の補修	不良箇所を溶接金属を流し込む必要に応じて補修する。	
A.P.W. の場合: スラグ除去後、梁にデッキプレートを押着させて再溶接する。		
A.P.W. の場合: 重ね溶接して補修する。		
【そ の 他】		
(1) Q L デッキ相互の接合状況 (2) 溶接金網の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況		

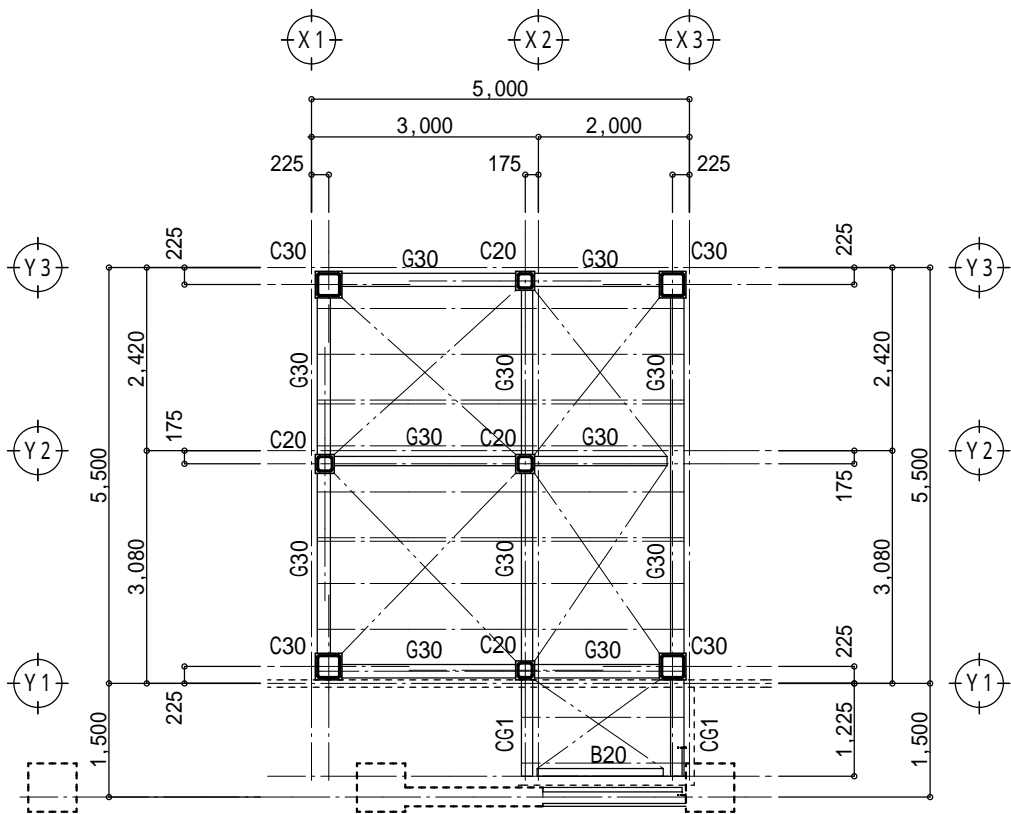
焼抜き栓溶接 [S P W] 及び自動焼抜き栓溶接 [A . P . W]		
事前検査 S P W : 適正な溶接を行うため下記(1)または(2)の方法で電流値をチェックする。 1) 焼付けの試験 2) 溶接棒の消費長さによる確認 — 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約 3mm に保持し、1.0mm 程度の円を描いて 10 秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが 4.5 ~ 5.3mm であること。 A . P . W : 試し溶接を行って溶接径を確認する。	溶接後の外観検査 1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切れ、余盛り不足の有無 3) 標準余盛り径 SPW; 18mm 以上 A.P.W.; 25mm ±3 不良部の補修 S P W の場合: スラグ除去後、梁にデッキプレートを押着させて再溶接する。 不良箇所を溶接金属を流し込む必要に応じて補修する。 A . P . W の場合: 重ね溶接して補修する。	【そ の 他】 (1) Q L デッキ相互の接合状況 (2) 溶接金網の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

1～3階柱壁2～4階梁床伏図（見上げ図） S = 1：100



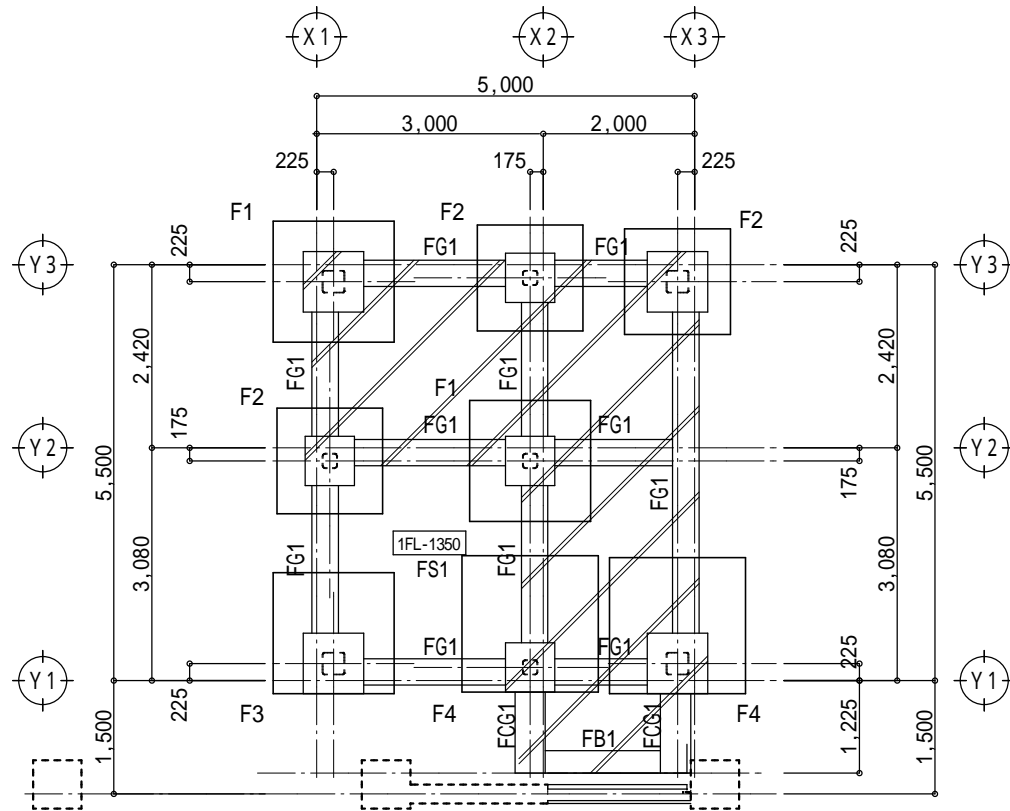
特記外なき限り下記に依る。
1. デッキプレ - ト方向を示す。

屋根伏図 S = 1：100



特記外なき限り下記に依る。
1. 母屋：C-100×50×20×2.3@606
2. 母屋：2C-100×50×20×2.3@1818
3. 屋根ブレースR B L 1を示す

基礎・地中梁伏図 S = 1：100



特記外なき限り下記に依る。
1. 部分は、DS1（土間コンクリート）を示す。

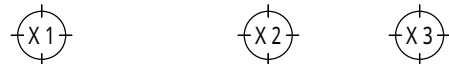
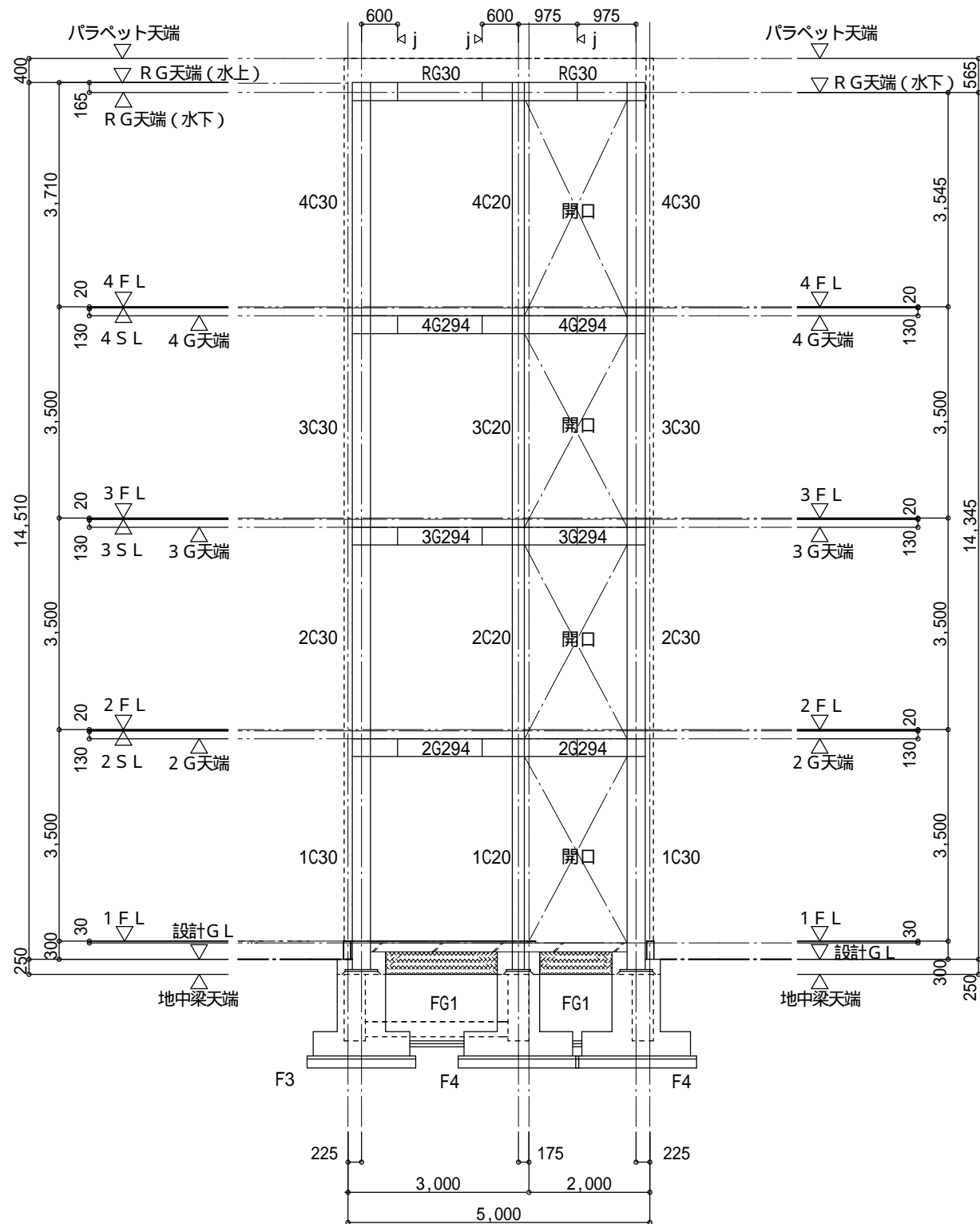
基礎工事に先立ち、設計図書に記載された根入れ深さ以上の床掘りを行い、基礎底盤位置が支持層（シラス層）の深さに確実に到達し貫入したことを確認するため、その状況を監督職員に報告し、承認を得ること。地盤の状況によっては監督職員との協議により、根入れ深さ等の基礎仕様を変更する場合もある。

基礎底盤付近では手掘り・すき取りを行い支持層を確認すること。また、当該箇所に地均しなどのために盛土・埋戻し等絶対に行わないようにすること。

地盤の許容支持力度

$q_a（長期）= 200 \text{ kN/m}^2$

株式会社 中村建築事務所 中村 至純 一級建築士 大臣 登録 第354236号 構造設計一級建築士 交付 第10311号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計	
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司		伏図 A1=1: 50 A3=1:100	S-07
鹿児島市建設局建築部建築課			



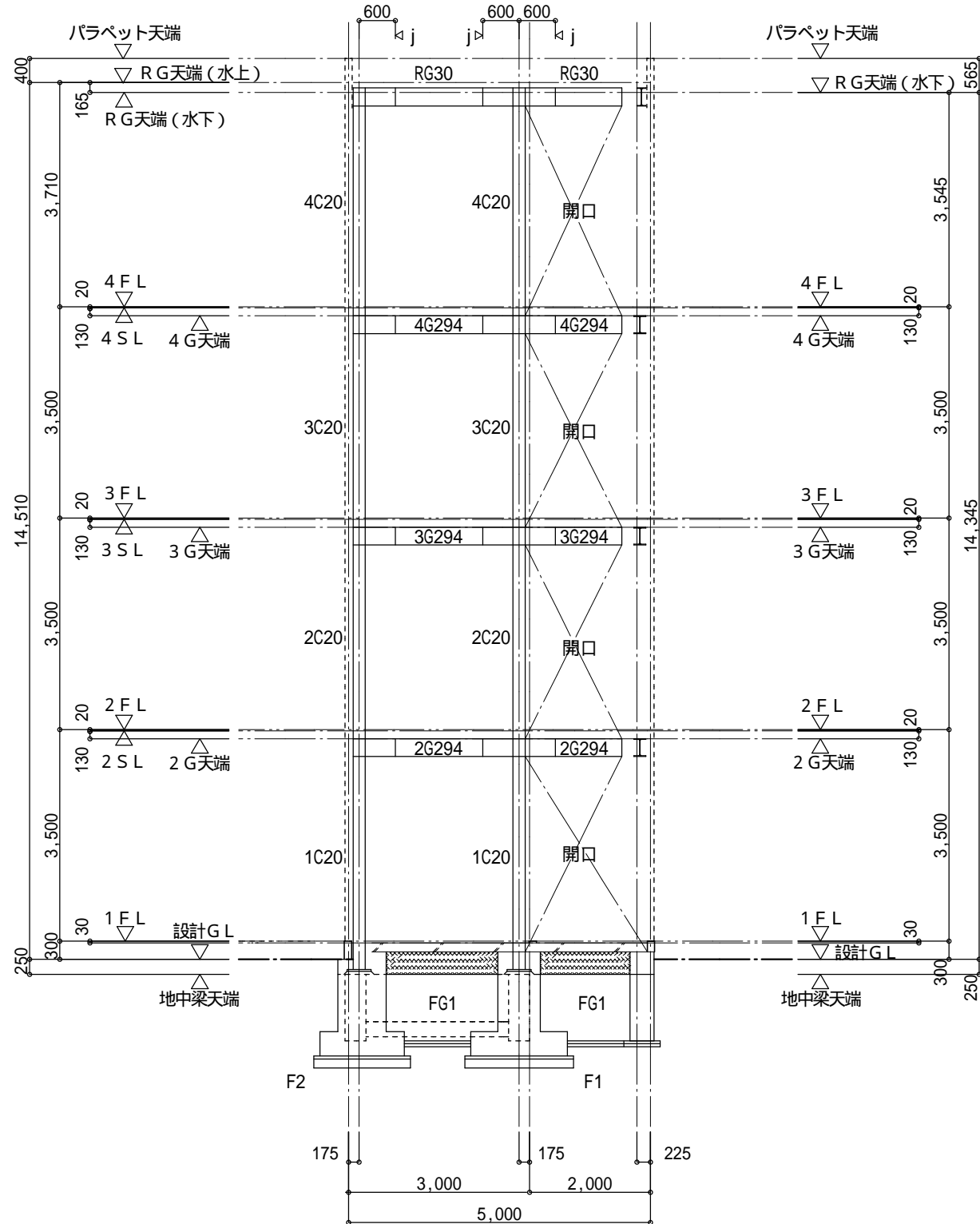
Y 1 通り軸組図 S = 1 : 1 0 0

部分は、地中梁増打範囲を示す

地中梁増打補強配筋要領は特記による

j は梁ジョイント位置を示す

特記なき外壁はALC100とする



Y 2 通り軸組図 S = 1 : 1 0 0

部分は、地中梁増打範囲を示す

地中梁増打補強配筋要領は特記による

j は梁ジョイント位置を示す

特記なき外壁はALC100とする

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号

株式会社ixrea

一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計

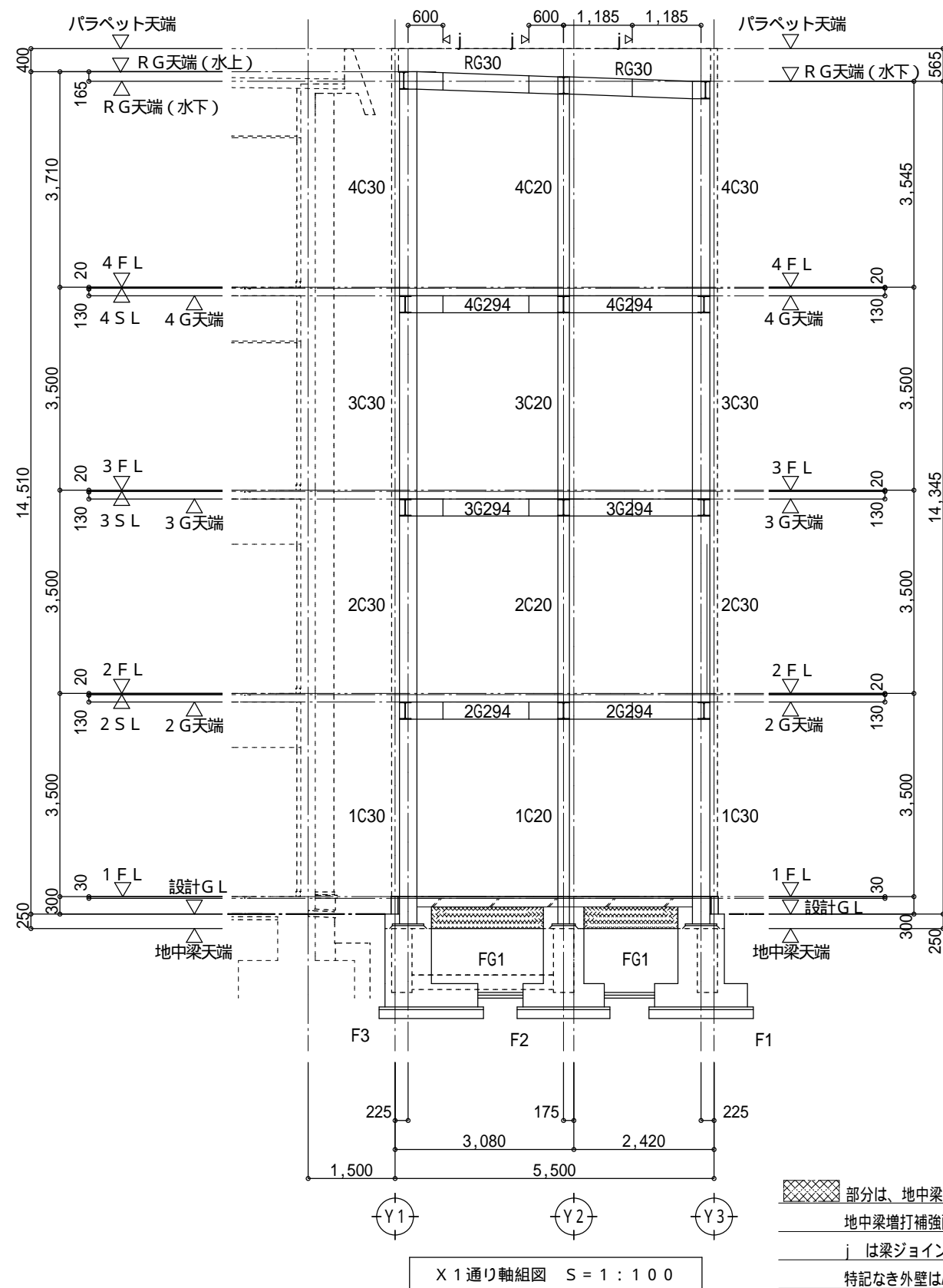
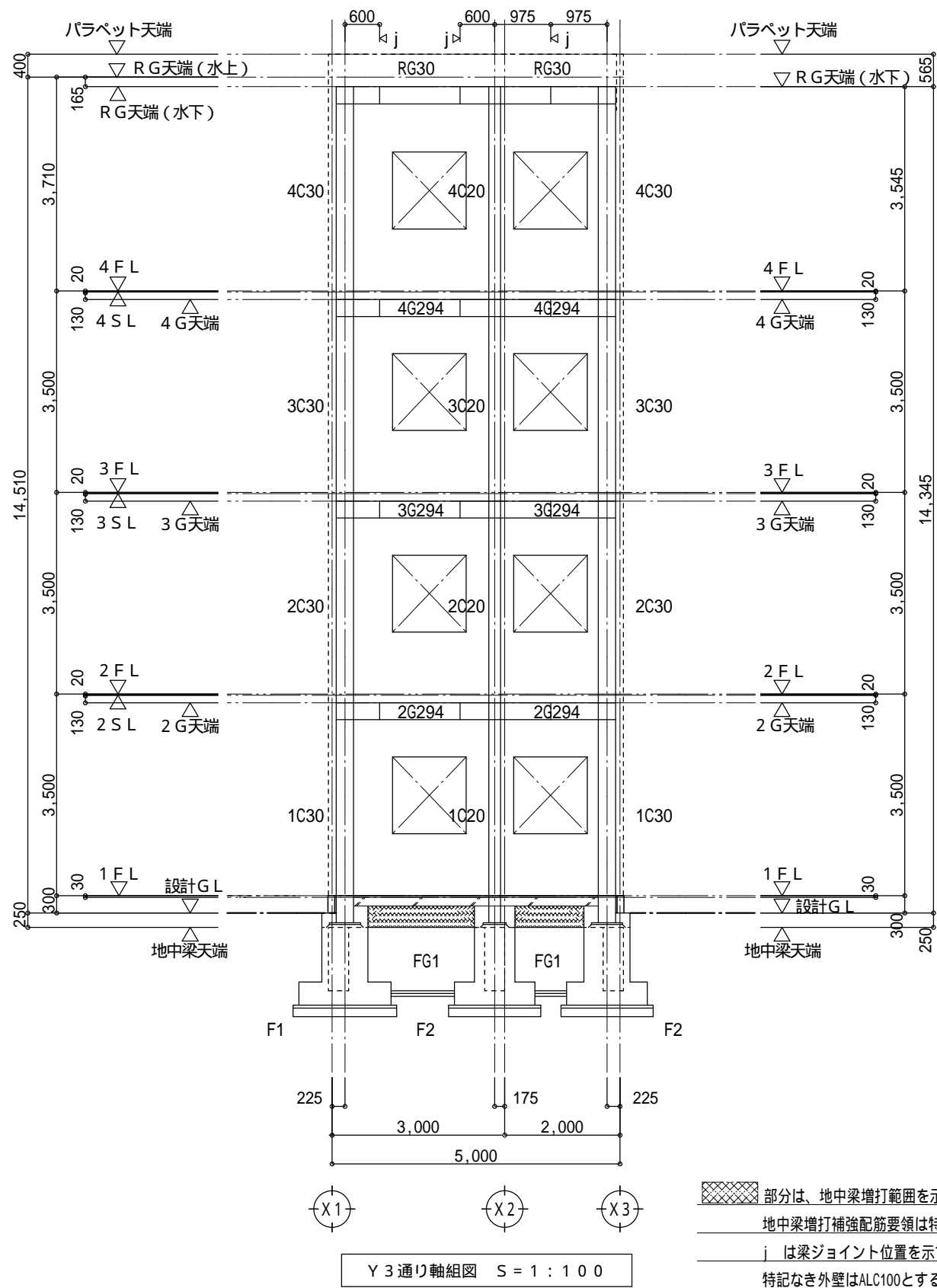
軸組図 - 1

鹿児島市建設局建築部建築課

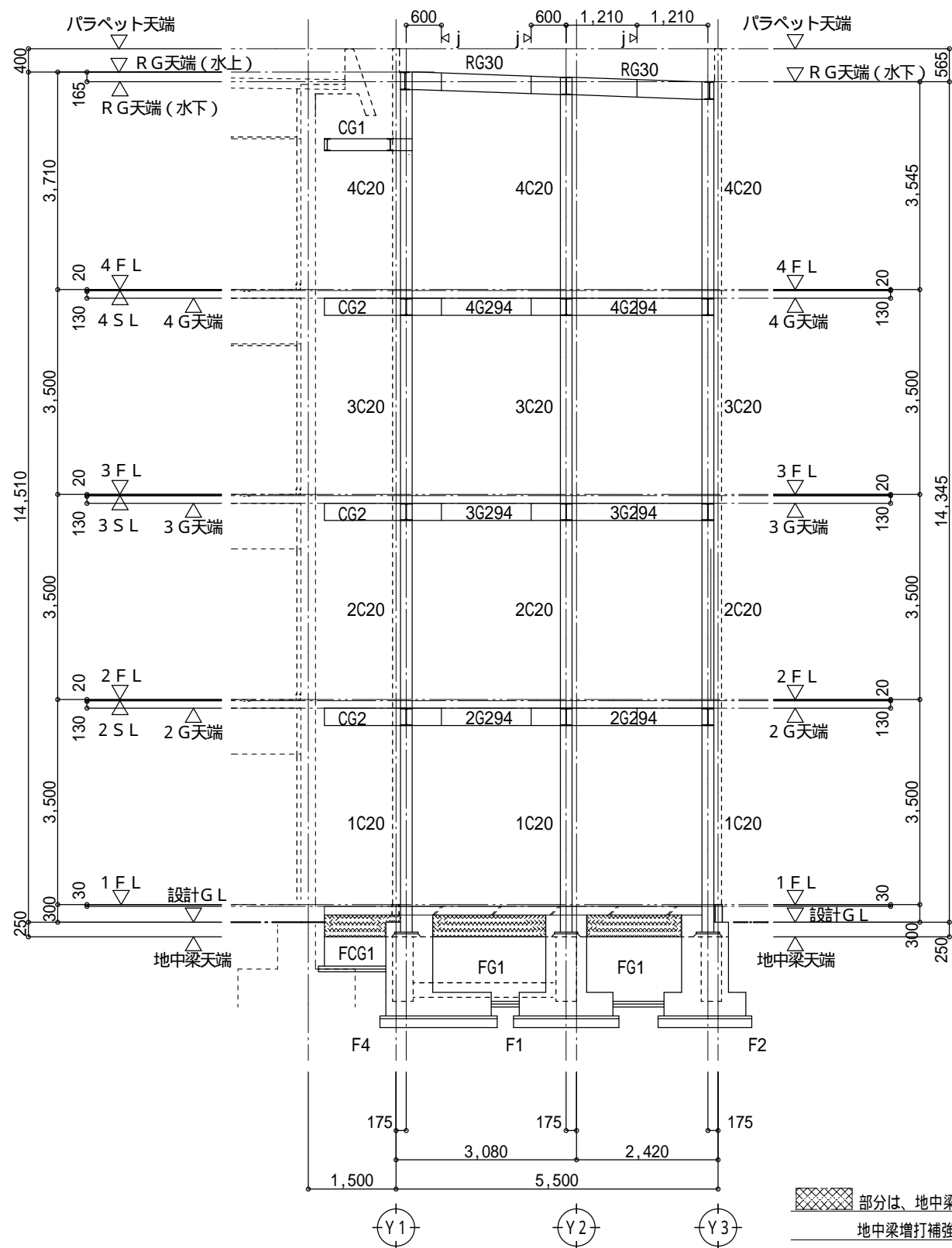
A1=1: 50
A3=1: 100

S-08

株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣 登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

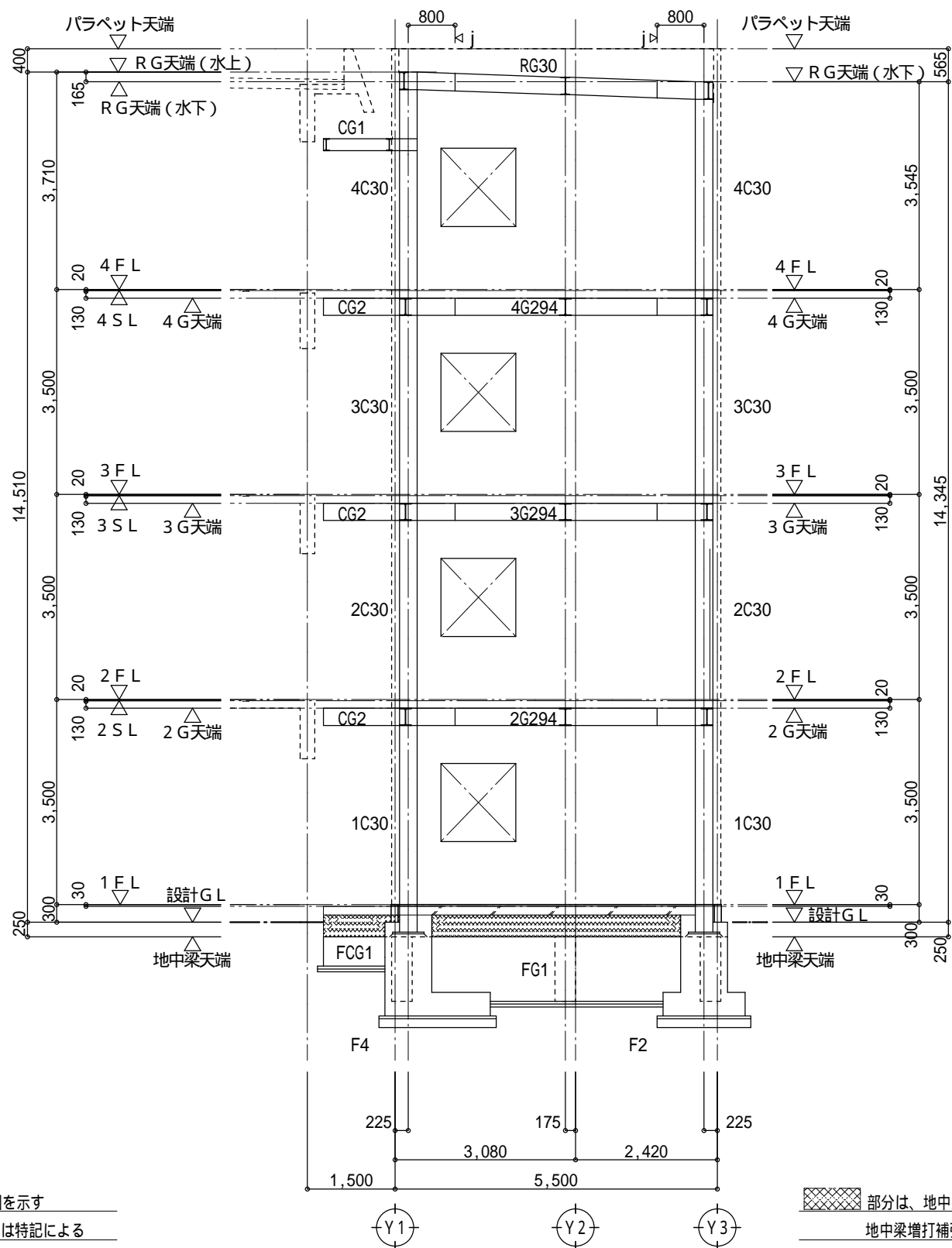


部分は、地中梁増打範囲を示す
地中梁増打補強配筋要領は特記による
j は梁ジョイント位置を示す
特記なき外壁はALC100とする



X 2通り軸組図 S = 1 : 1 0 0

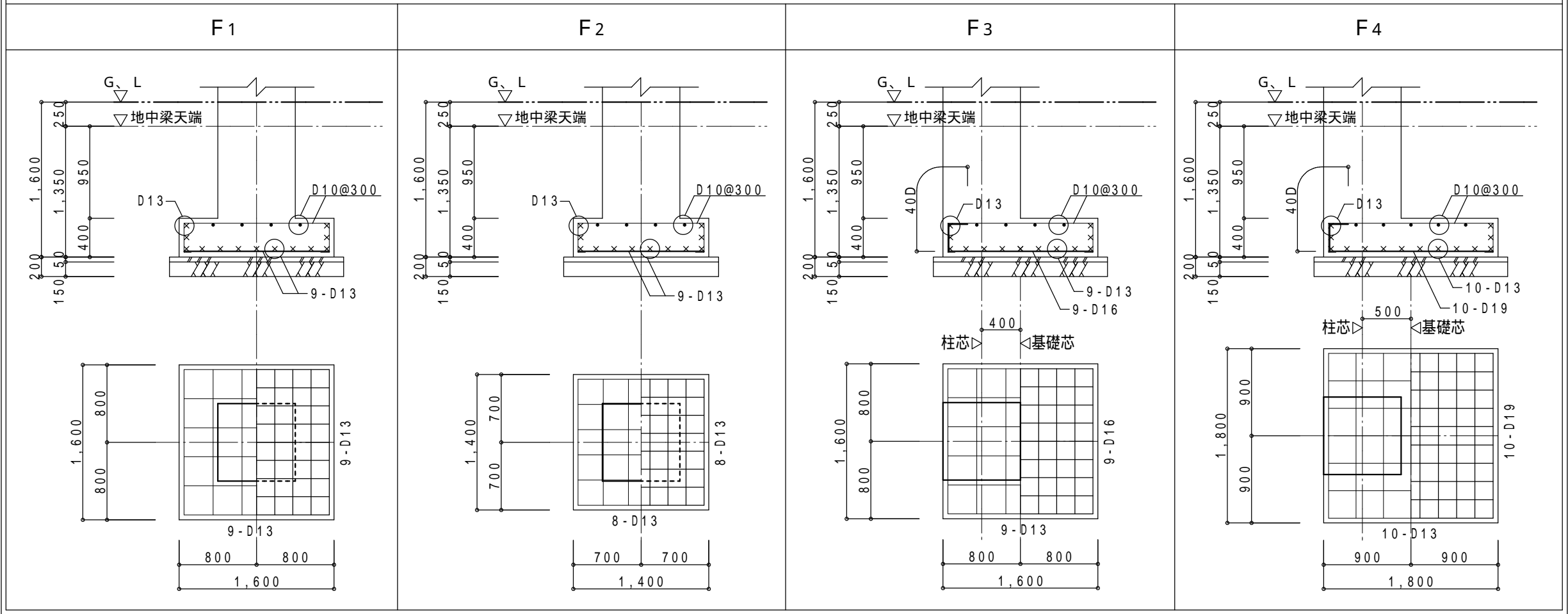
部分は、地中梁増打範囲を示す
地中梁増打補強配筋要領は特記による
j は梁ジョイント位置を示す
特記なき外壁はALC100とする



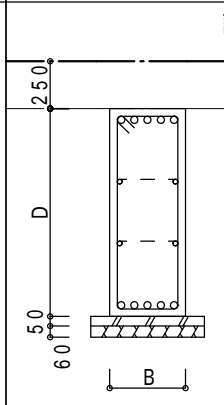
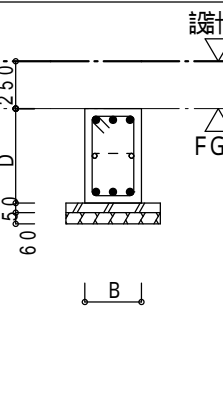
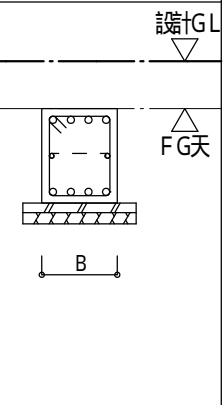
X 3通り軸組図 S = 1 : 1 0 0

部分は、地中梁増打範囲を示す
地中梁増打補強配筋要領は特記による
j は梁ジョイント位置を示す
特記なき外壁はALC100とする

基礎リスト図 S = 1 : 5 0

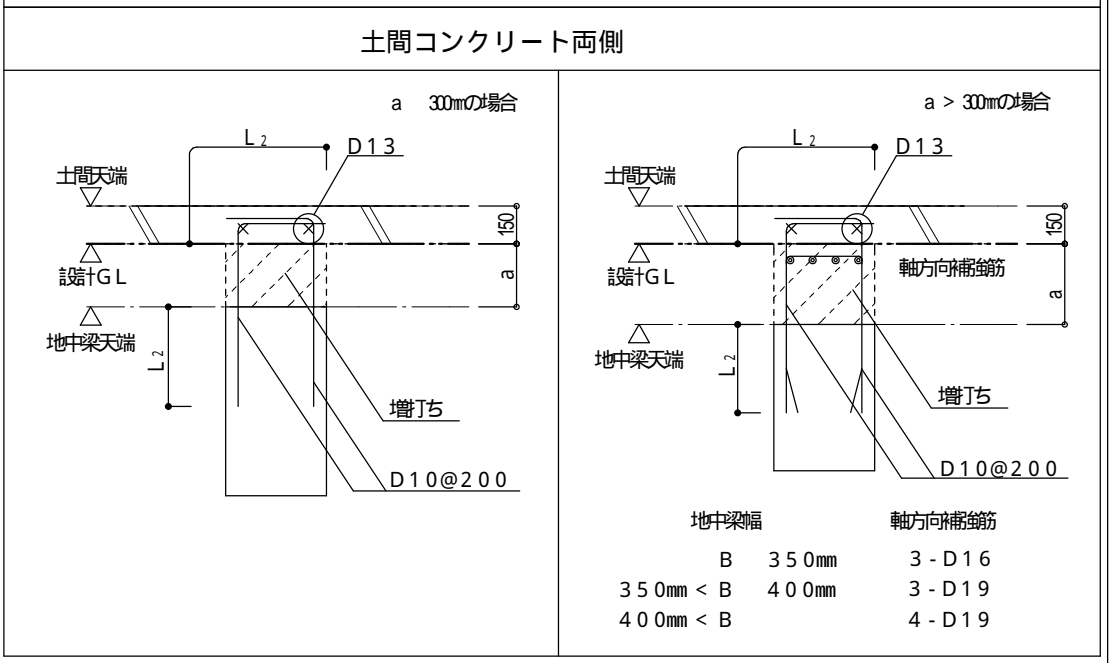


地中梁・地中小梁リスト図 S = 1 : 4 0

符号	FG1	FB1	FCG1
位置	全断面	全断面	全断面
B × D	400 × 1100	300 × 500	400 × 500
断面			
上端筋	5 - D22	3 - D19	4 - D22
腹筋	4 - D10	2 - D10	2 - D10
下端筋	5 - D22	3 - D19	4 - D22
STP	□ - D13@200	□ - D10@200	□ - D13@200

幅止め筋 ◀→ は、D10@1000とする。

R C 腰壁配筋詳細図及び地中梁増打補強筋要領 S = 1 : 3 0

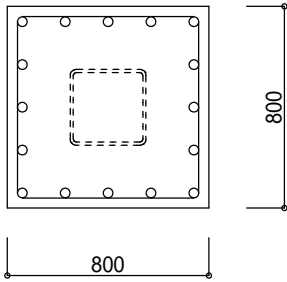
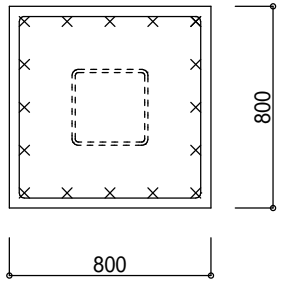
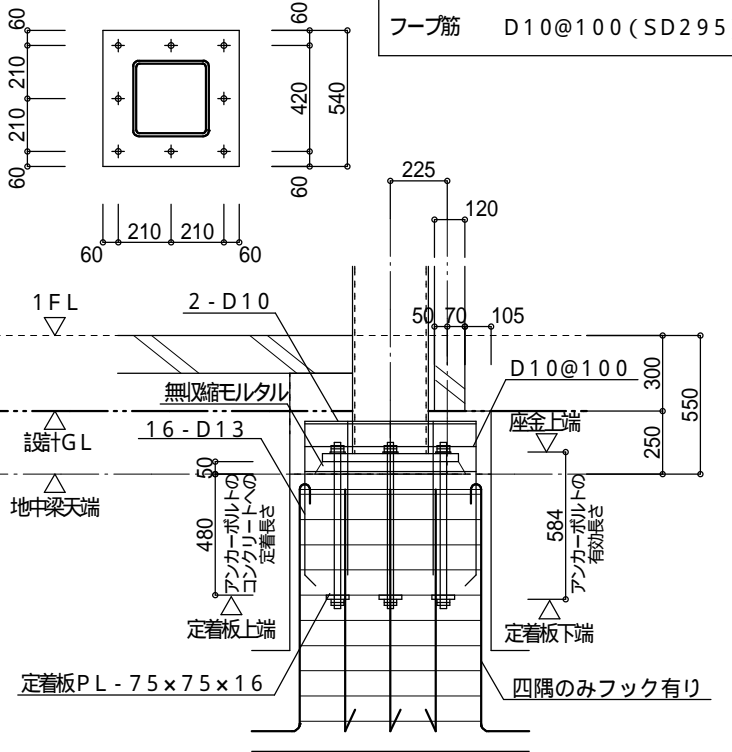
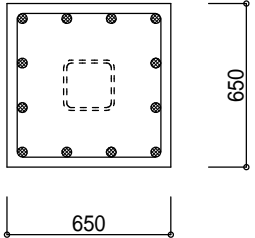
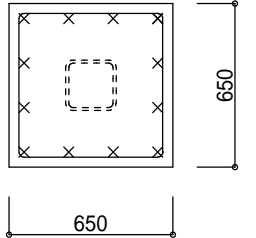
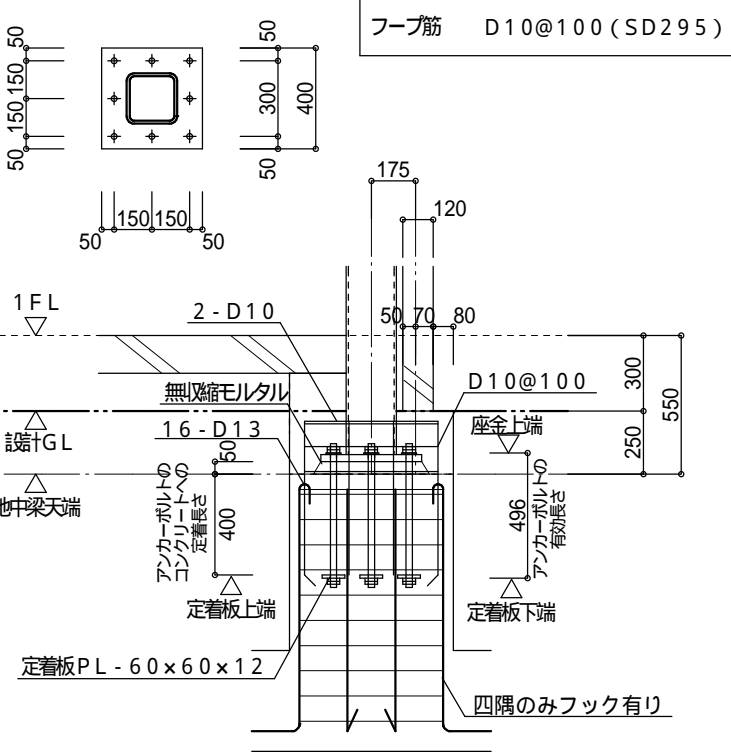


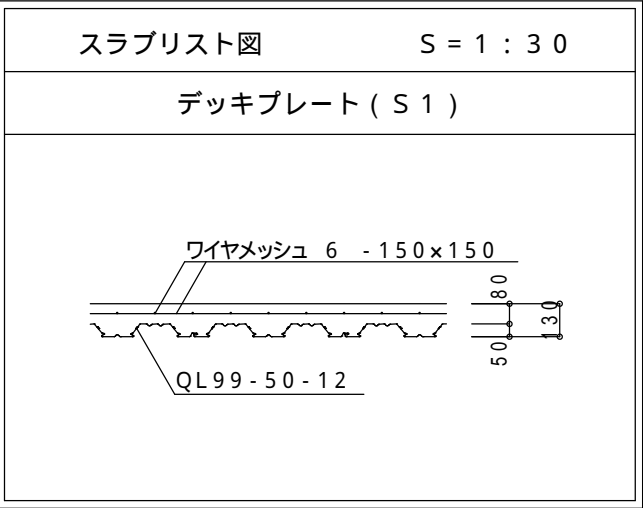
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号
株式会社 ixrea
一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計
基礎地中梁リスト図
鹿児島市建設局建築部建築課

株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

A1=1:25
A2=1:50
A3=1:50
A4=1:50
A5=1:50
A6=1:50
A7=1:50
A8=1:50
A9=1:50
A10=1:50
A11=1:50
A12=1:50
A13=1:50
A14=1:50
A15=1:50
A16=1:50
A17=1:50
A18=1:50
A19=1:50
A20=1:50
A21=1:50
A22=1:50
A23=1:50
A24=1:50
A25=1:50
A26=1:50
A27=1:50
A28=1:50
A29=1:50
A30=1:50
A31=1:50
A32=1:50
A33=1:50
A34=1:50
A35=1:50
A36=1:50
A37=1:50
A38=1:50
A39=1:50
A40=1:50
A41=1:50
A42=1:50
A43=1:50
A44=1:50
A45=1:50
A46=1:50
A47=1:50
A48=1:50
A49=1:50
A50=1:50
A51=1:50
A52=1:50
A53=1:50
A54=1:50
A55=1:50
A56=1:50
A57=1:50
A58=1:50
A59=1:50
A60=1:50
A61=1:50
A62=1:50
A63=1:50
A64=1:50
A65=1:50
A66=1:50
A67=1:50
A68=1:50
A69=1:50
A70=1:50
A71=1:50
A72=1:50
A73=1:50
A74=1:50
A75=1:50
A76=1:50
A77=1:50
A78=1:50
A79=1:50
A80=1:50
A81=1:50
A82=1:50
A83=1:50
A84=1:50
A85=1:50
A86=1:50
A87=1:50
A88=1:50
A89=1:50
A90=1:50
A91=1:50
A92=1:50
A93=1:50
A94=1:50
A95=1:50
A96=1:50
A97=1:50
A98=1:50
A99=1:50
A100=1:50
A101=1:50
A102=1:50
A103=1:50
A104=1:50
A105=1:50
A106=1:50
A107=1:50
A108=1:50
A109=1:50
A110=1:50
A111=1:50
A112=1:50
A113=1:50
A114=1:50
A115=1:50
A116=1:50
A117=1:50
A118=1:50
A119=1:50
A120=1:50
A121=1:50
A122=1:50
A123=1:50
A124=1:50
A125=1:50
A126=1:50
A127=1:50
A128=1:50
A129=1:50
A130=1:50
A131=1:50
A132=1:50
A133=1:50
A134=1:50
A135=1:50
A136=1:50
A137=1:50
A138=1:50
A139=1:50
A140=1:50
A141=1:50
A142=1:50
A143=1:50
A144=1:50
A145=1:50
A146=1:50
A147=1:50
A148=1:50
A149=1:50
A150=1:50
A151=1:50
A152=1:50
A153=1:50
A154=1:50
A155=1:50
A156=1:50
A157=1:50
A158=1:50
A159=1:50
A160=1:50
A161=1:50
A162=1:50
A163=1:50
A164=1:50
A165=1:50
A166=1:50
A167=1:50
A168=1:50
A169=1:50
A170=1:50
A171=1:50
A172=1:50
A173=1:50
A174=1:50
A175=1:50
A176=1:50
A177=1:50
A178=1:50
A179=1:50
A180=1:50
A181=1:50
A182=1:50
A183=1:50
A184=1:50
A185=1:50
A186=1:50
A187=1:50
A188=1:50
A189=1:50
A190=1:50
A191=1:50
A192=1:50
A193=1:50
A194=1:50
A195=1:50
A196=1:50
A197=1:50
A198=1:50
A199=1:50
A200=1:50
A201=1:50
A202=1:50
A203=1:50
A204=1:50
A205=1:50
A206=1:50
A207=1:50
A208=1:50
A209=1:50
A210=1:50
A211=1:50
A212=1:50
A213=1:50
A214=1:50
A215=1:50
A216=1:50
A217=1:50
A218=1:50
A219=1:50
A220=1:50
A221=1:50
A222=1:50
A223=1:50
A224=1:50
A225=1:50
A226=1:50
A227=1:50
A228=1:50
A229=1:50
A230=1:50
A231=1:50
A232=1:50
A233=1:50
A234=1:50
A235=1:50
A236=1:50
A237=1:50
A238=1:50
A239=1:50
A240=1:50
A241=1:50
A242=1:50
A243=1:50
A244=1:50
A245=1:50
A246=1:50
A247=1:50
A248=1:50
A249=1:50
A250=1:50
A251=1:50
A252=1:50
A253=1:50
A254=1:50
A255=1:50
A256=1:50
A257=1:50
A258=1:50
A259=1:50
A260=1:50
A261=1:50
A262=1:50
A263=1:50
A264=1:50
A265=1:50
A266=1:50
A267=1:50
A268=1:50
A269=1:50
A270=1:50
A271=1:50
A272=1:50
A273=1:50
A274=1:50
A275=1:50
A276=1:50
A277=1:50
A278=1:50
A279=1:50
A280=1:50
A281=1:50
A282=1:50
A283=1:50
A284=1:50
A285=1:50
A286=1:50
A287=1:50
A288=1:50
A289=1:50
A290=1:50
A291=1:50
A292=1:50
A293=1:50
A294=1:50
A295=1:50
A296=1:50
A297=1:50
A298=1:50
A299=1:50
A300=1:50
A301=1:50
A302=1:50
A303=1:50
A304=1:50
A305=1:50
A306=1:50
A307=1:50
A308=1:50
A309=1:50
A310=1:50
A311=1:50
A312=1:50
A313=1:50
A314=1:50
A315=1:50
A316=1:50
A317=1:50
A318=1:50
A319=1:50
A320=1:50
A321=1:50
A322=1:50
A323=1:50
A324=1:50
A325=1:50
A326=1:50
A327=1:50
A328=1:50
A329=1:50
A330=1:50
A331=1:50
A332=1:50
A333=1:50
A334=1:50
A335=1:50
A336=1:50
A337=1:50
A338=1:50
A339=1:50
A340=1:50
A341=1:50
A342=1:50
A343=1:50
A344=1:50
A345=1:50
A346=1:50
A347=1:50
A348=1:50
A349=1:50
A350=1:50
A351=1:50
A352=1:50
A353=1:50
A354=1:50
A355=1:50
A356=1:50
A357=1:50
A358=1:50
A359=1:50
A360=1:50
A361=1:50
A362=1:50
A363=1:50
A364=1:50
A365=1:50
A366=1:50
A367=1:50
A368=1:50
A369=1:50
A370=1:50
A371=1:50
A372=1:50
A373=1:50
A374=1:50
A375=1:50
A376=1:50
A377=1:50
A378=1:50
A379=1:50
A380=1:50
A381=1:50
A382=1:50
A383=1:50
A384=1:50
A385=1:50
A386=1:50
A387=1:50
A388=1:50
A389=1:50
A390=1:50
A391=1:50
A392=1:50
A393=1:50
A394=1:50
A395=1:50
A396=1:50
A397=1:50
A398=1:50
A399=1:50
A400=1:50
A401=1:50
A402=1:50
A403=1:50
A404=1:50
A405=1:50
A406=1:50
A407=1:50
A408=1:50
A409=1:50
A410=1:50
A411=1:50
A412=1:50
A413=1:50
A414=1:50
A415=1:50
A416=1:50
A417=1:50
A418=1:50
A419=1:50
A420=1:50
A421=1:50
A422=1:50
A423=1:50
A424=1:50
A425=1:50
A426=1:50
A427=1:50
A428=1:50
A429=1:50
A430=1:50
A431=1:50
A432=1:50
A433=1:50
A434=1:50
A435=1:50
A436=1:50
A437=1:50
A438=1:50
A439=1:50
A440=1:50
A441=1:50
A442=1:50
A443=1:50
A444=1:50
A445=1:50
A446=1:50
A447=1:50
A448=1:50
A449=1:50
A450=1:50
A451=1:50
A452=1:50
A453=1:50
A454=1:50
A455=1:50
A456=1:50
A457=1:50
A458=1:50
A459=1:50
A460=1:50
A461=1:50
A462=1:50
A463=1:50
A464=1:50
A465=1:50
A466=1:50
A467=1:50
A468=1:50
A469=1:50
A470=1:50
A471=1:50
A472=1:50
A473=1:50
A474=1:50
A475=1:50
A476=1:50
A477=1:50
A478=1:50
A479=1:50
A480=1:50
A481=1:50
A482=1:50
A483=1:50
A484=1:50
A485=1:50
A486=1:50
A487=1:50
A488=1:50
A489=1:50
A490=1:50
A491=1:50
A492=1:50
A493=1:50
A494=1:50
A495=1:50
A496=1:50
A497=1:50
A498=1:50
A499=1:50
A500=1:50
A501=1:50
A502=1:50
A503=1:50
A504=1:50
A505=1:50
A506=1:50
A507=1:50
A508=1:50
A509=1:50
A510=1:50
A511=1:50
A512=1:50
A513=1:50
A514=1:50
A515=1:50
A516=1:50
A517=1:50
A518=1:50
A519=1:50
A520=1:50
A521=1:50
A522=1:50
A523=1:50
A524=1:50
A525=1:50
A526=1:50
A527=1:50
A528=1:50
A529=1:50
A530=1:50
A531=1:50
A532=1:50
A533=1:50
A534=1:50
A535=1:50
A536=1:50
A537=1:50
A538=1:50
A539=1:50
A540=1:50
A541=1:50
A542=1:50
A543=1:50
A544=1:50
A545=1:50
A546=1:50
A547=1:50
A548=1:50
A549=1:50
A550=1:50
A551=1:50
A552=1:50
A553=1:50
A554=1:50
A555=1:50
A556=1:50
A557=1:50
A558=1:50
A559=1:50
A560=1:50
A561=1:50
A562=1:50
A563=1:50
A564=1:50
A565=1:50
A566=1:50
A567=1:50
A568=1:50
A569=1:50
A570=1:50
A571=1:50
A572=1:50
A573=1:50
A574=1:50
A575=1:50
A576=1:50
A577=1:50
A578=1:50
A579=1:50
A580=1:50
A581=1:50
A582=1:50
A583=1:50
A584=1:50
A585=1:50
A586=1:50
A587=1:50
A588=1:50
A589=1:50
A590=1:50
A591=1:50
A592=1:50
A593=1:50
A594=1:50
A595=1:50
A596=1:50
A597=1:50
A598=1:50
A599=1:50
A600=1:50
A601=1:50
A602=1:50
A603=1:50
A604=1:50
A605=1:50
A606=1:50
A607=1:50
A608=1:50
A609=1:50
A610=1:50
A611=1:50
A612=1:50
A613=1:50
A614=1:50
A615=1:50
A616=1:50
A617=1:50
A618=1:50
A619=1:50
A620=1:50
A621=1:50
A622=1:50
A623=1:50
A624=1:50
A625=1:50
A626=1:50
A627=1:50
A628=1:50
A629=1:50
A630=1:50
A631=1:50
A632=1:50
A633=1:50
A634=1:50
A635=1:50
A636=1:50
A637=1:50
A638=1:50
A639=1:50
A640=1:50
A641=1:50
A642=1:50
A643=1:50
A644=1:50
A645=1:50
A646=1:50
A647=1:50
A648=1:50
A649=1:50
A650=1:50
A651=1:50
A652=1:50
A653=1:50
A654=1:50
A655=1:50
A656=1:50
A657=1:50
A658=1:50
A659=1:50
A660=1:50
A661=1:50
A662=1:50
A663=1:50
A664=1:50
A665=1:50
A666=1:50
A667=1:50
A668=1:50
A669=1:50
A670=1:50
A671=1:50
A672=1:50
A673=1:50
A674=1:50
A675=1:50
A676=1:50
A677=1:50
A678=1:50
A679=1:50
A680=1:50
A681=1:50
A682=1:50
A683=1:50
A684=1:50
A685=1:50
A686=1:50
A687=1:50
A688=1:50
A689=1:50
A690=1:50
A691=1:50
A692=1:50
A693=1:50
A694=1:50
A695=1:50
A696=1:50
A697=1:50
A698=1:50
A699=1:50
A700=1:50
A701=1:50
A702=1:50
A703=1:50
A704=1:50
A705=1:50
A706=1:50
A707=1:50
A708=1:50
A709=1:50
A710=1:50
A711=1:50
A712=1:50
A713=1:50
A714=1:50
A715=1:50
A716=1:50
A717=1:50
A718=1:50
A719=1:50
A720=1:50
A721=1:50
A722=1:50
A723=1:50
A724=1:50
A725=1:50
A726=1:50
A727=1:50
A728=1:50
A729=1:50
A730=1:50
A731=1:50
A732=1:50
A733=1:50
A734=1:50
A735=1:50
A736=1:50
A737=1:50
A738=1:50
A739=1:50
A740=1:50
A741=1:50
A742=1:50
A743=1:50
A744=1:50
A745=1:50
A746=1:50
A747=1:50
A748=1:50
A749=1:50
A750=1:50
A751=1:50
A752=1:50
A753=1:50
A754=1:50
A755=1:50
A756=1:50
A757=1:50
A758=1:50
A759=1:50
A760=1:50
A761=1:50
A762=1:50
A763=1:50
A764=1:50
A765=1:50
A766=1:50
A767=1:50
A768=1:50
A769=1:50
A770=1:50
A771=1:50
A772=1:50
A773=1:50
A774=1:50
A775=1:50
A776=1:50
A777=1:50
A778=1:50
A779=1:50
A780=1:50
A781=1:50
A782=1:50
A783=1:50
A784=1:50
A785=1:50
A786=1:50
A787=1:50
A788=1:50
A789=1:50
A790=1:50
A791=1:50
A792=1:50
A793=1:50
A794=1:50
A795=1:50
A796=1:50
A797=1:50
A798=1:50
A799=1:50
A800=1:50
A801=1:50
A802=1:50
A803=1:50
A804=1:50
A805=1:50
A806=1:50
A807=1:50
A808=1:50
A809=1:50
A810=1:50
A811=1:50
A812=1:50
A813=1:50
A814=1:50
A815=1:50
A816=1:50
A817=1:50
A818=1:50
A819=1:50
A820=1:50
A821=1:50
A822=1:50
A823=1:50
A824=1:50
A825=1:50
A826=1:50
A827=1:50
A828=1:50
A829=1:50
A830=1:50
A831=1:50
A832=1:50
A833=1:50
A834=1:50
A835=1:50
A836=1:50
A837=1:50
A838=1:50
A839=1:50
A840=1:50
A841=1:50
A842=1:50
A843=1:50
A844=1:50
A845=1:50
A846=1:50
A847=1:50
A848=1:50
A849=1:50
A850=1:50
A851=1:50
A852=1:50
A853=1:50
A854=1:50
A855=1:50
A856=1:50
A857=1:50
A858=1:50
A859=1:50
A860=1:50
A861=1:50
A862=1:50
A863=1:50
A864=1:50
A865=1:50
A866=1:50
A867=1:50
A868=1:50
A869=1:50
A870=1:50
A871=1:50
A872=1:50
A873=1:50
A874=1:50
A875=1:50
A876=1:50
A877=1:50
A878=1:50
A879=1:50
A880=1:50
A881=1:50
A882=1:50
A883=1:50
A884=1:50
A885=1:50
A886=1:50
A887=1:50
A888=1:50
A889=1:50
A890=1:50
A891=1:50
A892=1:50
A893=1:50
A894=1:50
A895=1:50
A896=1:50
A897=1:50
A898=1:50
A899=1:50
A900=1:50
A901=1:50
A902=1:50
A903=1:50
A904=1:50
A905=1:50
A906=1:50
A907=1:50
A908=1:50
A909=1:50
A910=1:50
A911=1:50
A912=1:50
A913=1:50
A914=1:50
A915=1:50
A916=1:50
A917=1:50
A918=1:50
A919=1:50
A920=1:50
A921=1:50
A922=1:50
A923=1:50
A924=1:50
A925=1:50
A926=1:50
A927=1:50
A928=1:50
A929=1:50
A930=1:50
A931=1:50
A932=1:50
A933=1:50
A934=1:50
A935=1:50
A936=1:50
A937=1:50
A938=1:50
A939=1:50
A940=1:50
A941=1:50
A942=1:50
A943=1:50
A944=1:50
A945=1:50
A946=1:50
A947=1:50
A948=1:50
A949=1:50
A950=1:50
A951=1:50
A952=1:50
A953=1:50
A954=1:50
A955=1:50
A956=1:50
A957=1:50
A958=1:50
A959=1:50
A960=1:50
A961=1:50
A962=1:50
A963=1:50
A964=1:50
A965=1:50
A966=1:50
A967=1:50
A968=1:50
A969=1:50
A970=1:50
A971=1:50
A972=1:50
A973=1:50
A974=1:50
A975=1:50
A976=1:50
A977=1:50
A978=1:50
A979=1:50
A980=1:50
A981=1:50
A982=1:50
A983=1:50
A984=1:50
A985=1:50
A986=1:50
A987=1:50
A988=1:50
A989=1:50
A990=1:50
A991=1:50
A992=1:50
A993=1:50
A994=1:50
A995=1:50
A996=1:50
A997=1:50
A998=1:50
A999=1:

柱脚リスト図 S = 1 : 3 0		
符号	C 30	C 20
B × D	800×800	650×650
鋼材寸法	- 300×300×16.0	- 200×200×12.0
断面	<div>地中梁天端以深</div>  <div>地中梁天端～設計GL部分</div>  <div>ひび割れ防止筋 16 - D13 (SD295)</div> <div>フープ筋 D10@100 (SD295)</div> <div>断面</div> 	<div>地中梁天端以深</div>  <div>地中梁天端～設計GL部分</div>  <div>ひび割れ防止筋 12 - D13 (SD295)</div> <div>フープ筋 D10@100 (SD295)</div> <div>断面</div> 
主筋	16 - D22 (SD345)	12 - D19 (SD345)
HOOP	D13@100 (SD295A)	D13@100 (SD295A)
ベースプレート	B . PL - 32×540×540 (SN490C)	B . PL - 28×400×400 (SN490C)
アンカーボルト	8 - M24 (ABR490)、L=480	8 - M20 (ABR490)、L=400
	ダブルナット	ダブルナット



鉄骨大梁リスト表		
符号	G294	G30
鋼材寸法	H-294×200×8×12	H-300×150×6.5×9
継手	GJ1 ,BJ4	GJ2 ,BJ5

特記なき限り、大梁端部の材種はSN400B、大梁中央部の材種はSN400BまたはSS400とする。

鉄骨大梁継手リスト図 S = 1 : 3 0			
符号		GJ1	GJ2
鋼材寸法		H-294×200× 8.0×12.0	H-300×150× 6.5× 9.0
断面			
フランジ	SPL (外側)	2R - 9×200×410	2R - 9×150×290
	SPL (内側)	4R - 9× 80×410	4R - 9× 60×290
	HTB	24-M20	16-M20
ウェブ	SPL	2R - 9×200×170	2R - 6×200×170
	HTB	6-M20	4-M20

(特記なき限り、HTBはF10Tとし、添板の材種はSN400Bとする。)

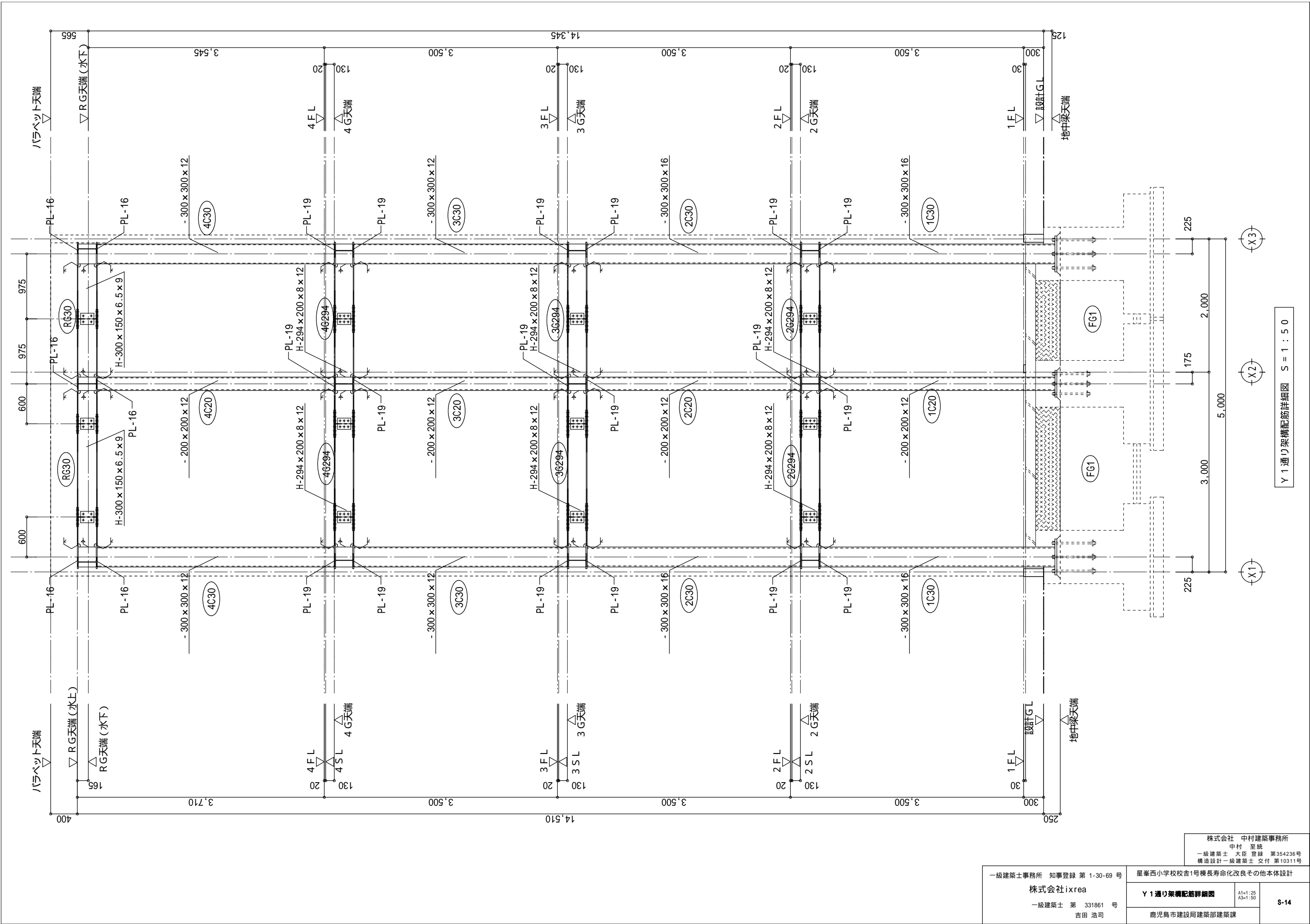
鉄骨小梁等リスト表			
符号	鋼材寸法	材種	仕口
B20	H-200×100× 5.5× 8.0	SS400	BJ1
cG1	H-300×150× 6.5× 9.0	SN400B	剛接合・GJ2
cG2	H-294×200× 8.0×12.0	SN400B	剛接合・GJ1
RBL1	M20 (ターンバックル付きJIS規格適合ブレース)	SNR400B	BJ2
母屋	C-100× 50× 20× 2.3 (@606)	SSC400	BJ3
	2C-100× 50× 20× 2.3 (@1818)	SSC400	

鉄骨柱リスト表		
・特記なき限り、柱の材種は、BCR295とする。 ・特記なき限り、通しダイヤフラムの材種は、SN490C 内ダイヤフラムの材質はSN490Bとする。		
符号	C30	C20
4 階	-300×300×12.0	-200×200×12.0
3 階	-300×300×12.0	-200×200×12.0
2 階	-300×300×16.0	-200×200×12.0
1 階	-300×300×16.0	-200×200×12.0

鉄骨小梁等仕口リスト図 S = 1 : 3 0 (特記なき限り、HTBはF10Tとし、ガセットプレートの材質はSS400とする。)			
符号	BJ1	BJ2	BJ3
鋼材寸法	H-200×100× 5.5× 8.0	M20 (ターンバックル付きJIS規格適合ブレース)	C-100×50× 20.0×2.3 2C-100×50× 20.0×2.3
断面			
ウェブ	G.IP	R - 6	R - 9
	HTB	2-M16	1-M20
符号	BJ4	BJ5	
鋼材寸法	H-294×200× 8.0×12.0	H-300×150× 6.5× 9.0	
断面			
ウェブ	G.IP	R - 9	
	HTB	3-M20	

スラブリスト表					
符号	厚さ	符号	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)	備考
DS1	150	上端筋	D10@200 (シングル)	D10@200 (シングル)	土間コンクリート Fc = 18 N / mm ²
		下端筋			
FS1	250	上端筋	D13@200	D13@200	EV耐圧版 Fc = 24 N / mm ²
		下端筋	D13@200	D13@200	

株式会社 中村建築事務所 中村 至純 一級建築士 大臣 登録 第354236号 構造設計一級建築士 交付 第10311号		星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計	
一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号 株式会社ixrea 一級建築士 第 331861 号 吉田 浩司		鉄骨大梁継手リスト図 鉄骨小梁等仕口リスト図	A1=1:15 A3=1:30 S-13
鹿児島市建設局建築部建築課			



Y 1 通り架構配筋詳細図 S = 1 : 5 0

株式会社 中村建築事務所
中村 至純
一級建築士 大臣 登録 第354236号
構造設計一級建築士 交付 第10311号

一級建築士事務所 知事登録 第 1-30-69 号
株式会社 ixrea
一級建築士 第 331861 号
吉田 浩司

星峯西小学校校舎1号棟長寿命化改良その他本体設計
Y 1 通り架構配筋詳細図
A1=1:25
A3=1:50
S-14
鹿児島市建設局建築部建築課